

令和4年度
事業所における
がん検診等実態調査

報告書

令和4年11月

山口県

目 次

第一章 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査設計	1
3 回収結果	4
4 用語の定義	4
5 調査報告書の読み方及び注意事項	4
第二章 結果の分析〔事業所〕	5
1 事業所の概要について	5
(1) 企業の常用雇用者数	5
(2) 健康保険の種類	5
(3) 保健事業の専門スタッフ数（常勤・非常勤あわせて1人以上配置している割合）	6
(4) 安全衛生管理体制（1人以上配置している割合）	6
2 常用雇用者への「がん検診」の実施状況等について	7
(1) がん検診実施の有無、対象年齢、検診の間隔、新型コロナによるがん検診実施への影響	7
(2) がん検診の受診率	10
(3) がん検診の実施方法、検診費用の自己負担の状況	16
(4) がん検診の実施場所及び時間帯	17
(5) 常用雇用者以外の従業員や、常用雇用者が扶養している配偶者へのがん検診実施の有無	19
(6) 胃・大腸・肺・乳・子宮以外のがん検診実施の有無	20
3 がん検診実施後の対応について	21
(1) 常用雇用者のがん検診結果の把握	21
(2) 個人のがん検診の結果の把握の方法	21
(3) 要精密検査該当者への対応状況	22
(4) 精密検査の受診勧奨等の実施方法	22
(5) 個人ごとの結果を把握していない理由	23
(6) 常用雇用者のがん検診精密検査結果の把握	23
4 がん検診の受診者を増やす取組について	24
(1) がん検診の受診者を増やす取組の実施有無	24
(2) 実施している取組および受診者の増加に最も効果的だと考える取組	24
(3) がん検診受診者の増加の取組のほか、実施している取組	26
(4) がん検診受診者の増加の取組を実施していない理由	27
(5) 今後の取組の実施にあたって、行政に期待すること	28
(6) 貴事業所以外で実施しているがん検診受診の促進状況	29
(7) がん検診を実施していない理由	30
5 がん検診に関する県や市町村への要望について	31
6 「がん治療と仕事の両立支援」に関する取組について	32
(1) がんが発見された従業員が仕事と治療を両立できるための制度等	32
(2) がん治療中の従業員の有無	32
(3) がん治療中の従業員の就労について、本人と相談のうえで業務内容を決めているか	33
(4) 主治医の意見書等の提出を求めているか	33

第三章 調査結果の分析 [従業員]	34
1 がんに対する印象・認識について.....	34
(1) がんの印象	34
(2) がんをこわいと思う理由.....	35
2 あなたの「がん検診」の受診状況について.....	36
(1) 過去のがん検診受診の有無.....	36
(2) がん検診を受けた理由.....	38
(3) がん検診を受けた理由 そのうち最も大きな理由.....	40
(4) がん検診を受けなかった理由.....	40
(5) がん検診を受けなかった理由 そのうち最も大きな理由.....	42
(6) がん検診を受けた機会.....	43
(7) がん検診を受けた場所.....	44
(8) がん検診を受けたいと思うきっかけ.....	45
3 がん検診の受診を勧める情報について.....	47
(1) がん検診の受診を勧める情報を見聞きした経験.....	47
(2) がん検診の受診を勧める情報をどこで見聞きしたか.....	48
(3) がん検診の受診を勧める情報を見聞きした後の受診意向.....	49
(4) 県のがん対策の取組について.....	50
4 国が推奨するがん検診について.....	51
5 仕事と治療の両立について.....	52
(1) 職場はがんの治療や検査をしながら働き続けられる環境か.....	52
(2) がんの治療や検査をしながら働き続けることを難しくさせている最も大きな理由.....	53
(3) 働く意欲のあるがん患者が働き続けるようにするために必要だと思う取組.....	54
6 回答者属性	55
(1) 性別	55
(2) 年齢	55
(3) お住まいの市町	55
(4) 今の健康状態	56
(5) 周囲でがんにかかった人.....	56
(6) 仕事の業種	56
(7) 仕事の雇用形態	57
(8) 同居している人	57
(9) 同居人のがん検診受診の有無.....	57
第四章 調査結果 主要集計表	58
(1) 事業所	58
(2) 従業員	66
第五章 資料 [調査票]	71

第一章 調査の概要

1 調査目的

第4期山口県がん対策推進計画の策定に向け、本県のがん検診受診状況の全容を把握し、より実効性のある受診率向上の対策の立案に活用するため、事業所でのがん検診実施状況や、従業員のがん検診受診状況等の実態調査を実施し、基礎資料とすることを目的とする。

2 調査設計

- (1) 調査地域 山口県全域
- (2) 調査対象 【事業所向け調査】日本標準産業分類による、農業・林業、漁業、鉱業・採石業・砂利採取業、建設業、製造業、電気・ガス供給・水道業、情報通信業、運輸業・郵便業、卸売業・小売業、金融業・保険業、不動産業・物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊業・飲食サービス業、生活関連サービス業・娯楽業、教育・学習支援業、医療・福祉、複合サービス事業、サービス業（他に分類されないもの）に該当する事業所で、従業員規模10人以上の民営事業所
【従業員向け調査】抽出した事業所の従業員
- (3) 事業所数 【事業所向け調査】2,000事業所
【従業員向け調査】4,000人
- (4) 調査時期 令和4年8月22日～9月9日（15日間）
- (5) 調査方法 郵送法
- (6) 調査内容 【事業所向け調査】
・ 貴事業所の概要について
・ 貴事業所でのがん検診実施後の対応について
・ 貴事業所でのがん検診の受診者を増やす取組について
・ がん検診に関する県や市町への要望について
・ 貴事業所の「がん治療と仕事の両立支援」に関する取組について
・ 属性質問8問
【従業員向け調査】
・ がんに対する印象・認識について
・ あなたの「がん検診」の受診状況について
・ がん検診の受診を勧める情報について
・ 仕事と治療の両立について
・ 属性質問13問

(7) 抽出方法 東京商工リサーチが保有するデータベースから「事業所数 10 人以上の企業」をサンプルフレームとして抽出した。抽出事業所の産業分類別（大分類）及び従業者規模別の構成比については、『平成 28 年経済センサス - 活動調査』をベースとした。

(8) 標本設計 標本は層化抽出とした。層化標準は産業、事業所規模とした。
産業（18 区分）、事業所規模（7 区分）別に、「平成 28 年経済センサス（活動調査）」のデータから構成比を算出し、標本事業所を決定した。
なお、産業及び規模別事業所数、抽出率、抽出事業所数は表 1～3 のとおりである。

$$S_i = \sqrt{\frac{N_i - n_i}{N_i - 1} \times \frac{P(1-p)}{N_i}}$$

S_i = 目標精度（比率の標準誤差）

N_i = 母集団事業所数

n_i = 標本事業所数

P = 特定の属性を持つ事業所の割合（50%）

表 1 産業及び規模別事業所数

	農業,林業	漁業	鉱業・採石業・砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業・小売業
合計	61	6	11	1,118	632	8	47	347	706
10～29人	45	5	6	949	345	5	15	187	509
30～49人	11	1	4	100	125	2	10	63	92
50～99人	4	0	1	47	82	0	14	59	63
100～299人	1	0	0	20	65	0	7	30	31
300人以上	0	0	0	2	15	1	1	8	11

	金融・保険業	不動産業・物品賃貸業	学術研究, 専門・技術サービス業	宿泊業・飲食サービス業	生活関連サービス業, 娯楽業	教育, 学習支援業	医療・福祉	複合サービス事業	サービス業	計
合計	27	97	96	92	99	92	495	29	546	4,509
10～29人	13	63	62	59	64	52	195	12	430	3,016
30～49人	3	15	20	17	16	16	76	9	60	640
50～99人	2	12	10	11	12	9	102	2	28	458
100～299人	6	7	3	5	5	12	86	4	20	302
300人以上	3	0	1	0	2	3	36	2	8	93

表2 抽出事業所数

	農業,林業	漁業	鉱業・採石業・砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業・小売業
合計	33	4	3	248	272	4	20	143	472
10~29人	27	4	2	216	166	3	14	90	384
30~49人	4	0	1	20	35	1	3	26	50
50~99人	2	0	0	9	32	0	2	18	28
100~299人	0	0	0	3	23	0	1	7	7
300人以上	0	0	0	0	16	0	0	2	3

	金融・保険業	不動産業・物品賃貸業	学術研究, 専門・技術サービス業	宿泊業・飲食サービス業	生活関連サービス業, 娯楽業	教育, 学習支援業	医療・福祉	複合サービス事業	サービス業	計
合計	36	30	43	92	77	49	311	12	151	2,000
10~29人	14	25	32	58	59	35	175	7	110	1,421
30~49人	3	3	6	18	11	7	45	1	15	249
50~99人	2	1	5	11	5	4	35	2	16	172
100~299人	6	1	0	5	2	3	37	1	9	105
300人以上	11	0	0	0	0	0	19	1	1	53

表3 抽出率

	農業,林業	漁業	鉱業・採石業・砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業・小売業
10~29人	1.67	1.25	3.00	4.39	2.08	1.67	1.07	2.08	1.33
30~49人	2.75	-	4.00	5.00	3.57	2.00	3.33	2.42	1.84
50~99人	2.00	-	-	5.22	2.56	-	7.00	3.28	2.25
100~299人	-	-	-	6.67	2.83	-	7.00	4.29	4.43
300人以上	-	-	-	-	0.94	-	-	4.00	3.67

	金融・保険業	不動産業・物品賃貸業	学術研究, 専門・技術サービス業	宿泊業・飲食サービス業	生活関連サービス業, 娯楽業	教育, 学習支援業	医療・福祉	複合サービス事業	サービス業
10~29人	0.93	2.52	1.94	1.02	1.08	1.49	1.11	1.71	3.91
30~49人	1.00	5.00	3.33	0.94	1.45	2.29	1.69	9.00	4.00
50~99人	1.00	12.00	2.00	1.00	2.40	2.25	2.91	1.00	1.75
100~299人	1.00	7.00	-	1.00	2.50	4.00	2.32	4.00	2.22
300人以上	0.27	-	-	-	-	-	1.89	2.00	8.00

3 回収結果

調査名	発送数	回収数	回収率
【事業所向け調査】 職域におけるがん検診等に関する調査	2,000	860	43.0%
【従業員向け調査】 従業員のがん検診の受診状況等に関する調査	4,000	1,694	42.4%

4 用語の定義

今回の調査における「がん検診」とは、がん検診として実施したものに加え、人間ドックのメニューの一部として実施しているもの、定期健康診断等において胸部X線検査や胃X線検査等を実施したものを指す。

5 調査報告書の読み方及び注意事項

- (1) 調査結果の構成比はすべて百分比(%)で表しており、その質問の回答者総数を基数として、小数点第2位以下を四捨五入して算出している。なお、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。
- (2) 複数回答形式の場合、構成比の合計は通常100%を超える。
- (3) 集計表は全体が回答者数、質問項目は回答率(%)で示している。
- (4) グラフ中の「n」(net)とは、その質問への回答者数を表す。
- (5) 標本数(n)が5未満の項目についてはコメントをしない。

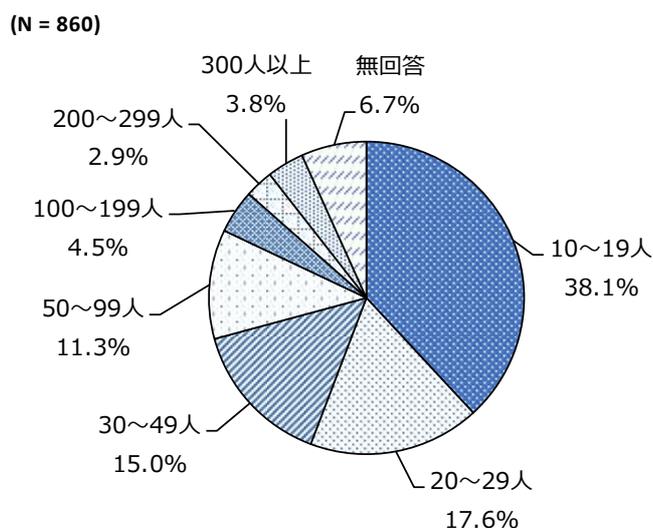
第二章 結果の分析 [事業所]

1 事業所の概要について

(1) 企業の常用雇用者数

「10～19人」が38.1%で最多となっている。

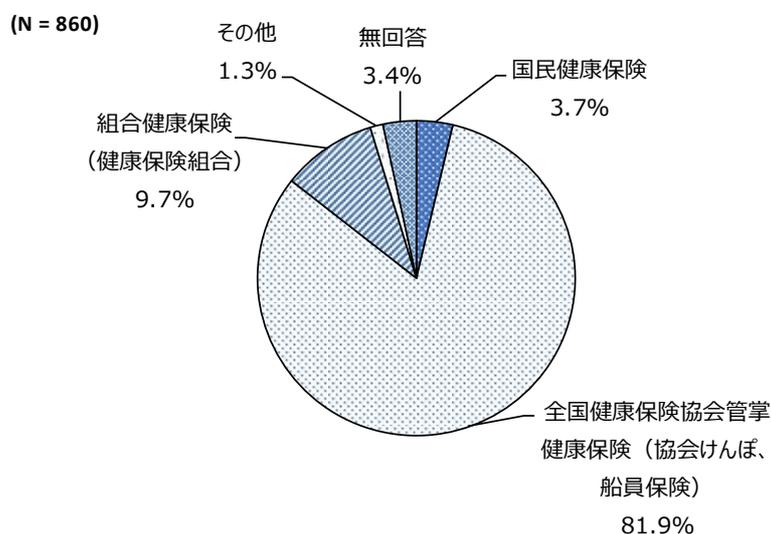
【全体】「10～19人」が38.1%と最も高く、次いで「20～29人」が17.6%、「30～49人」が15.0%となっている。



(2) 健康保険の種類

「全国健康保険協会管掌健康保険（協会けんぽ、船員保険）」が81.9%で最多となっている。

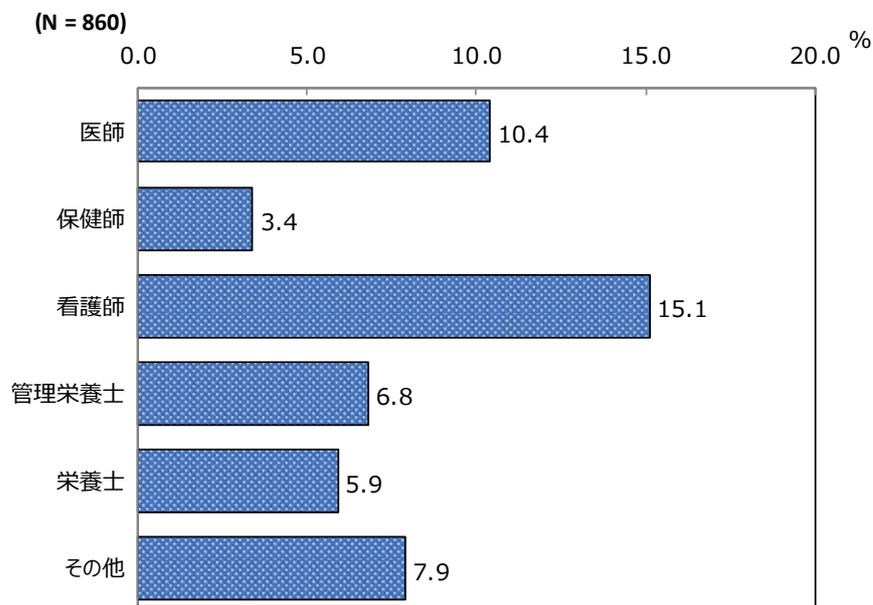
【全体】「全国健康保険協会管掌健康保険（協会けんぽ、船員保険）」が81.9%と最も高く、次いで「組合健康保険（健康保険組合）」が9.7%、「国民健康保険」が3.7%となっている。



(3) 保健事業の専門スタッフ数（常勤・非常勤あわせて1人以上配置している割合）

「看護師」が15.1%と最も高く、次いで「医師」が10.4%となっている。

【全体】「看護師」が15.1%と最も高く、次いで「医師」が10.4%となっている。
 その他の専門スタッフとして、「薬剤師」、「准看護師」、「歯科衛生士」などがあつた。

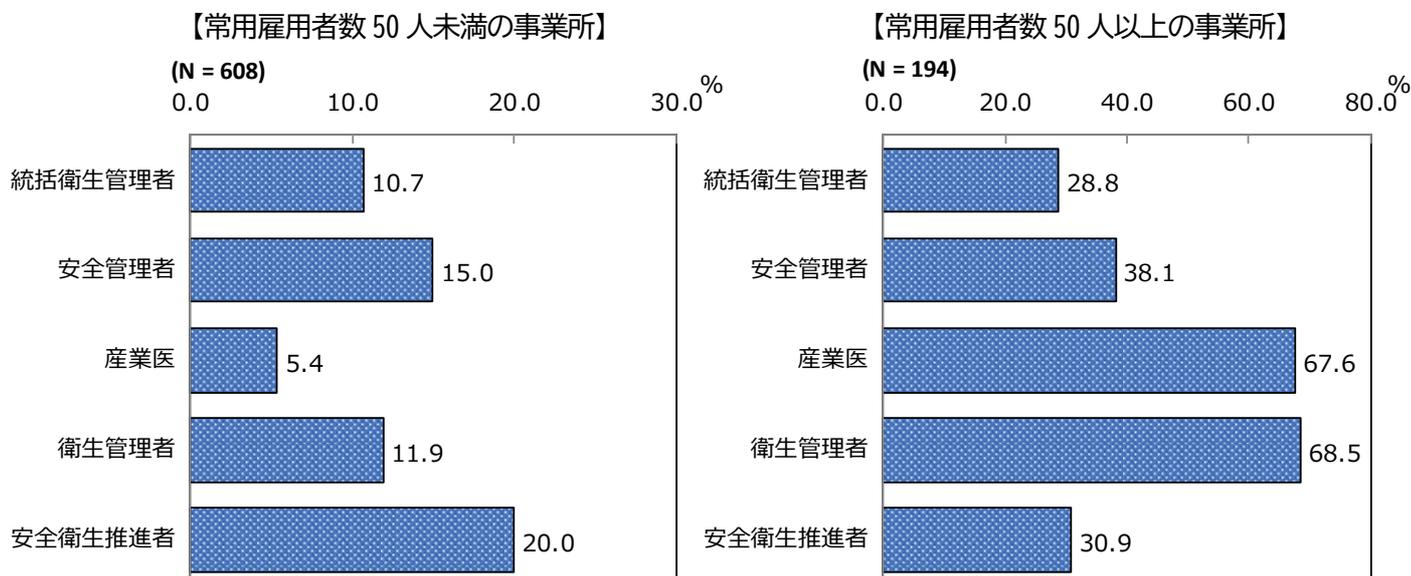


(4) 安全衛生管理体制（1人以上配置している割合）

常用雇用者数50人未満の事業所では、「安全衛生推進者」が20.0%と最も高くなっている。
 常用雇用者数50人以上の事業所では、「衛生管理者」が68.5%と最も高くなっている。

【常用雇用者数50人未満の事業所】「安全衛生推進者」が20.0%と最も高く、次いで「安全管理者」が15.0%となっている。

【常用雇用者数50人以上の事業所】「衛生管理者」が68.5%と最も高く、次いで「産業医」が67.6%となっている。



2 常用雇用者への「がん検診」の実施状況等について

(1) がん検診実施の有無、対象年齢、検診の間隔、新型コロナによるがん検診実施への影響

実施しているのは、「肺がん検診（胸部X線検査）」が79.3%で最も高く、次いで「大腸がん検診（便潜血検査）」が68.8%、「胃がん検診（胃X線検査）」が59.5%となっている。

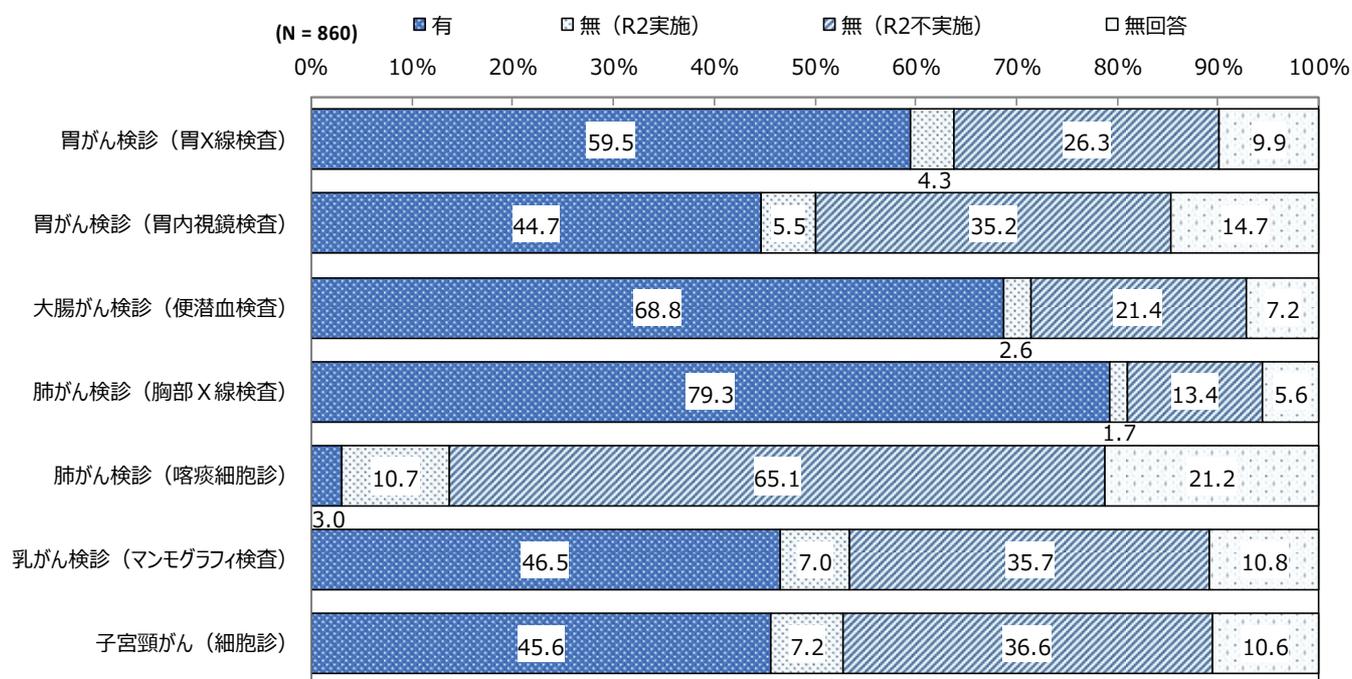
対象年齢がある事業所が、ほとんどの検診項目で6割を超え、その年齢は35歳以上が多くなっている。

検診の間隔では、毎年実施しているという回答は「胃がん検診（胃X線検査）」、「大腸がん検診（便潜血検査）」、「肺がん検診（胸部X線検査）」で9割を超えた。

新型コロナによるがん検診実施への影響では、「肺がん検診（喀痰細胞診）」での規模縮小が86.0%となった。

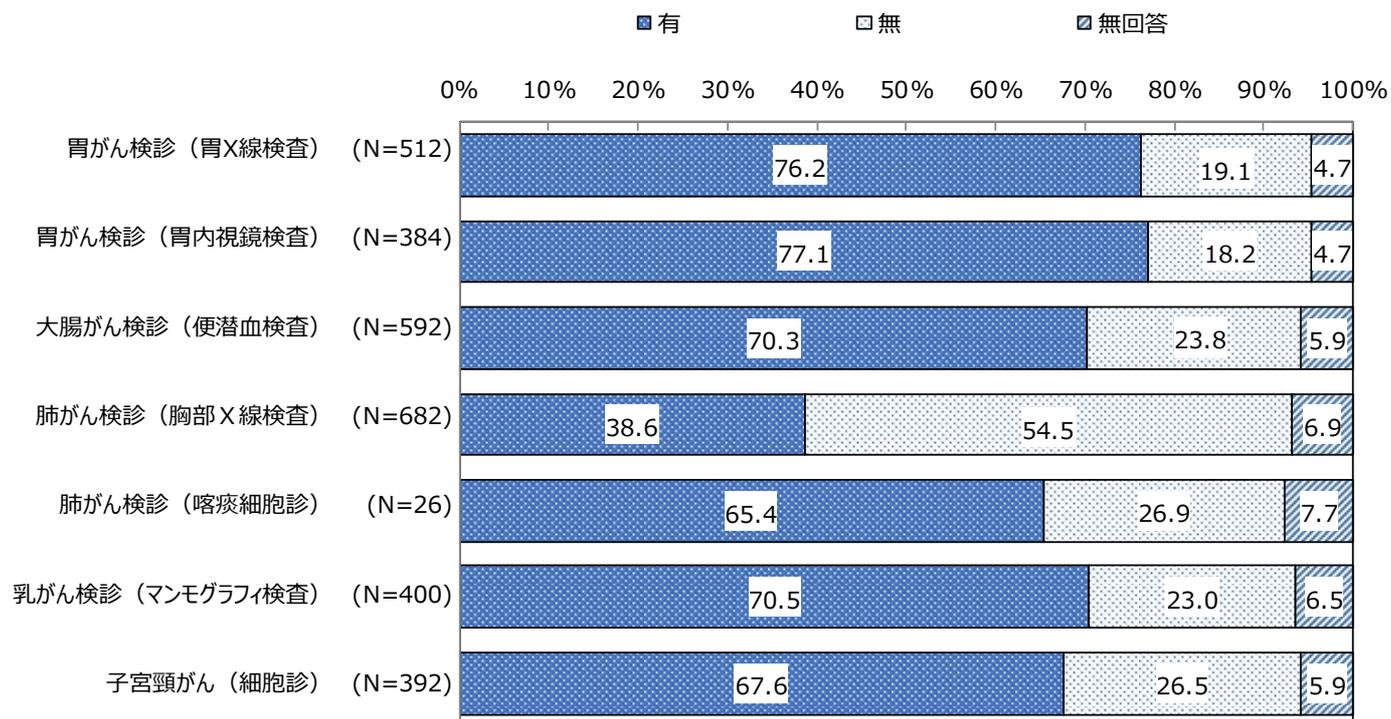
実施の有無

【全体】実施しているのは、「肺がん検診（胸部X線検査）」が79.3%と最も高く、次いで「大腸がん検診（便潜血検査）」が68.8%、「胃がん検診（胃X線検査）」が59.5%となっている。



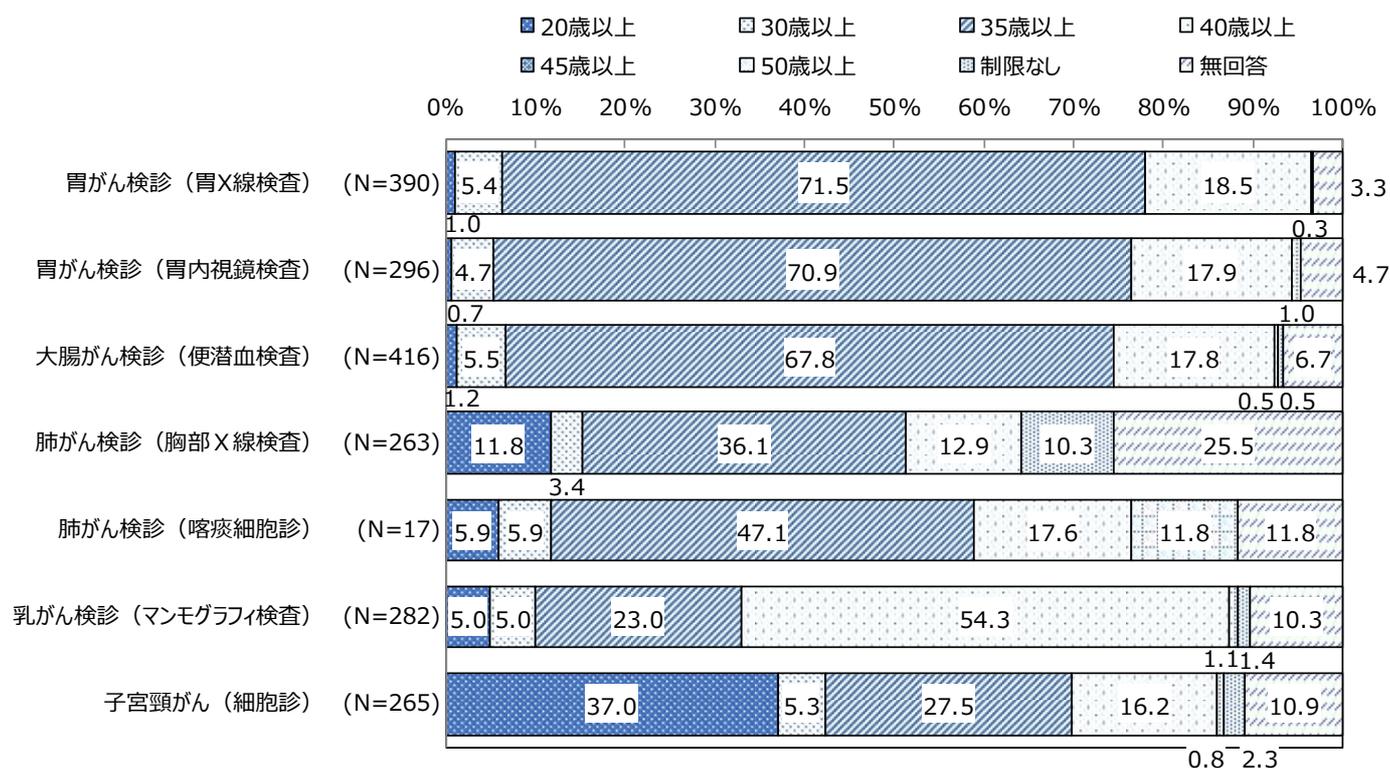
対象年齢の有無

【全体】「肺がん検診（胸部X線検査）」を除いた検診で「有」が6割を超え、「肺がん検診（胸部X線検査）」では「無」が54.5%となっている。



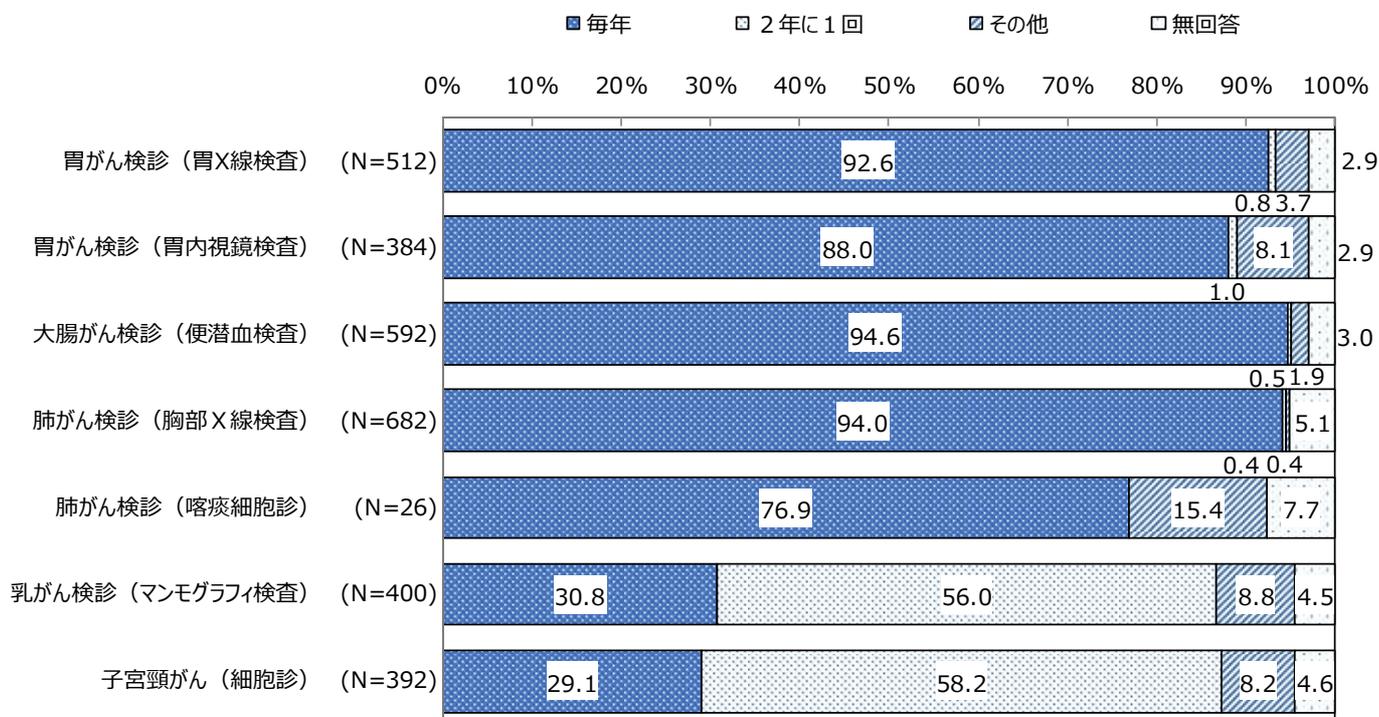
対象年齢

【全体】対象年齢が「有」と回答した具体的な年齢については、「乳がん検診（マンモグラフィ検査）」と「子宮頸がん（細胞診）」を除いた検診では「35歳以上」が最も高く、「乳がん検診（マンモグラフィ検査）」では「40歳以上」が54.3%、「子宮頸がん（細胞診）」は「20歳以上」が37.0%となっている。



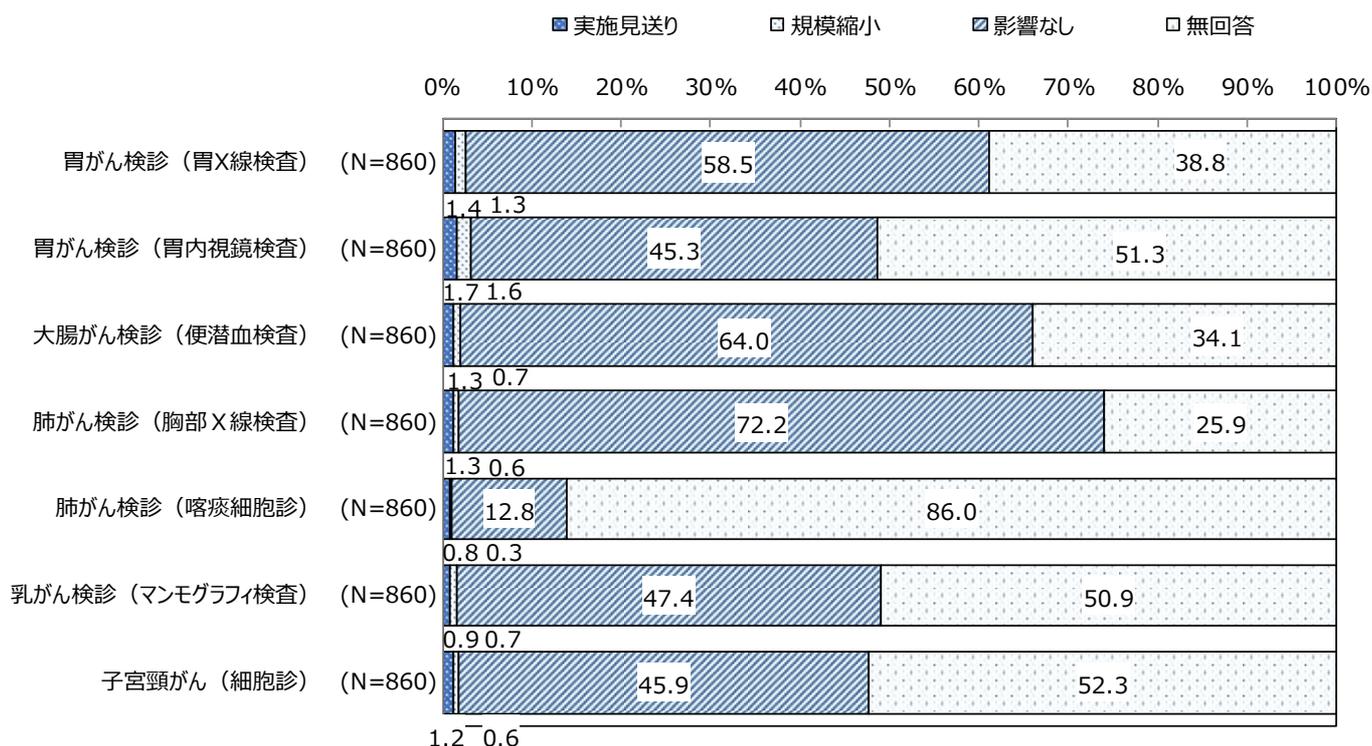
検診の間隔

【全体】「乳がん検診（マンモグラフィ検査）」と「子宮頸がん（細胞診）」を除いた検診では「毎年」が最も高く、「胃がん検診（胃X線検査）」では92.6%、「胃がん検診（胃内視鏡検査）」では、88.0%、「大腸がん検診（便潜血検査）」では、94.6%、「肺がん検診（胸部X線検査）」では、94.0%、「肺がん検診（喀痰細胞診）」では76.9%となっている。「乳がん検診（マンモグラフィ検査）」と「子宮頸がん（細胞診）」では「2年に1回」が最も高く、「乳がん検診（マンモグラフィ検査）」では56.0%、「子宮頸がん（細胞診）」では58.2%となっている。



新型コロナによるがん検診実施への影響

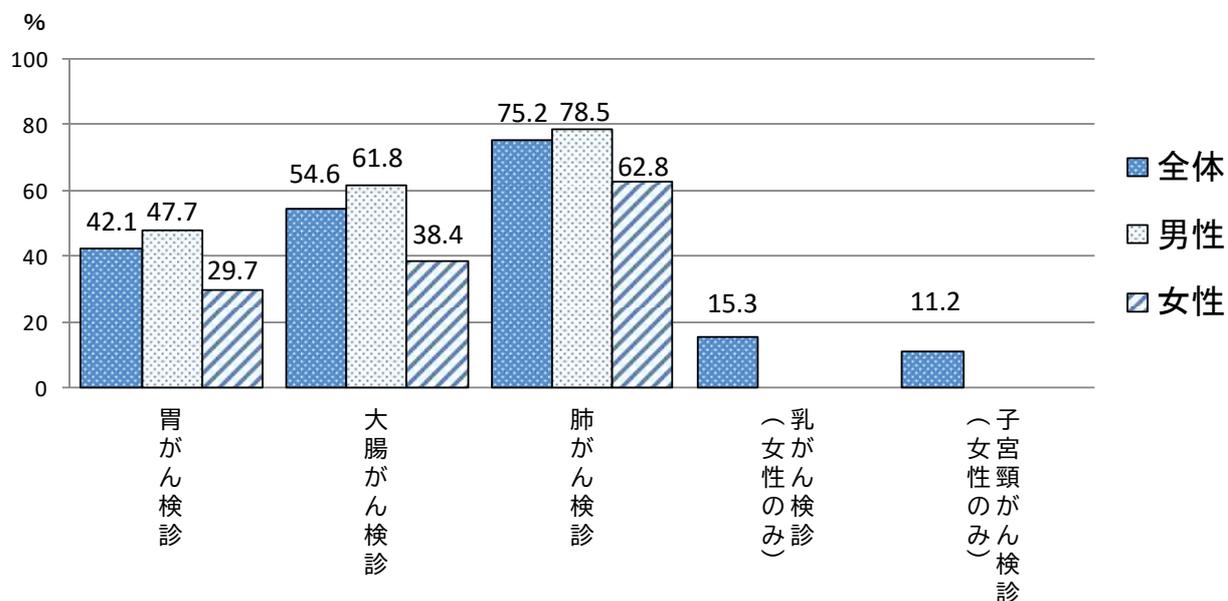
【全体】「肺がん検診（喀痰細胞診）」を除いた検診で「影響なし」が4割を超えている。「実施見送り」および「規模縮小」はいずれの検診でもわずかとなっている。



(2) がん検診の受診率

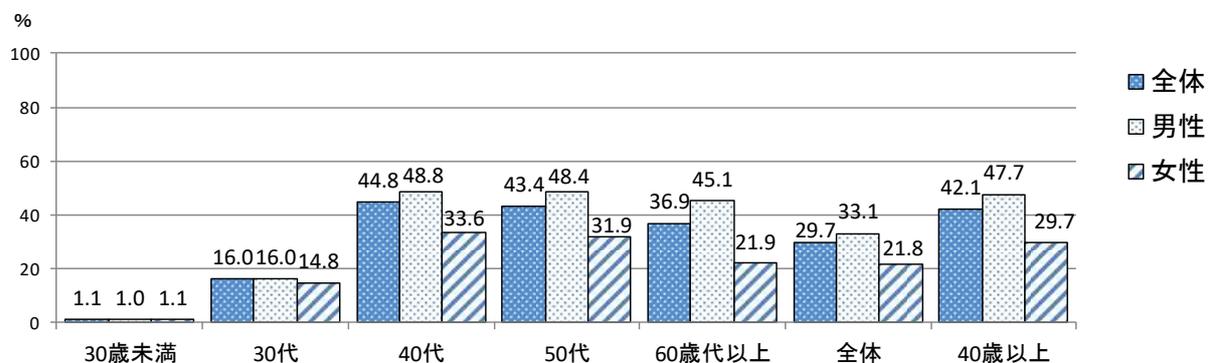
①部位別がん検診受診率（40歳以上、ただし、子宮頸がん検診は全年齢）

※乳がん検診・子宮頸がんは女性のみ

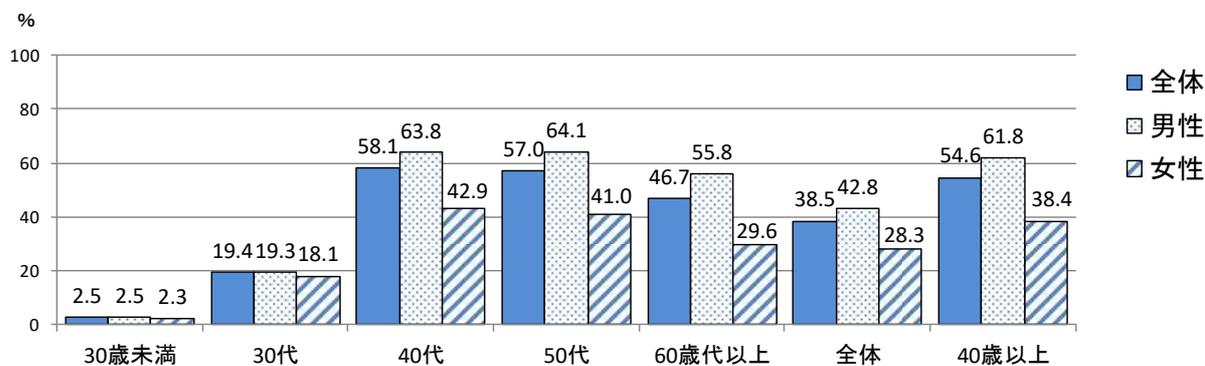


②部位別年代別の受診率

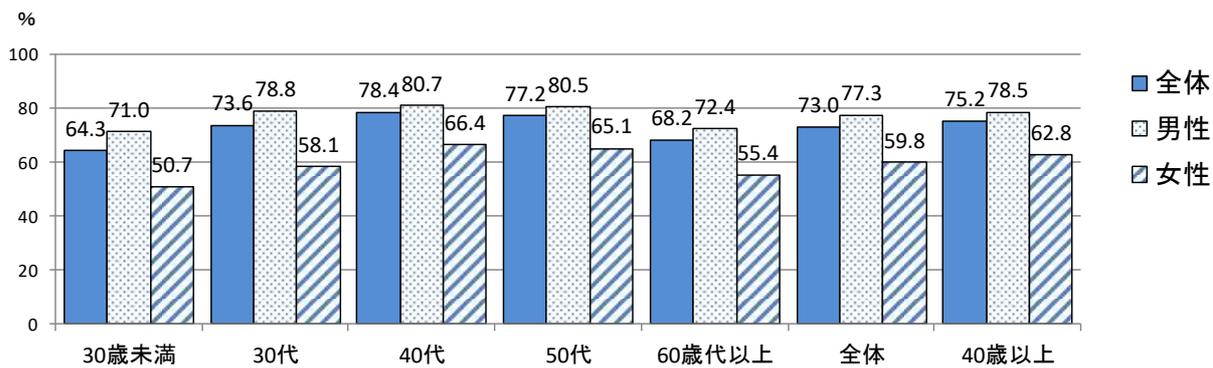
胃がん



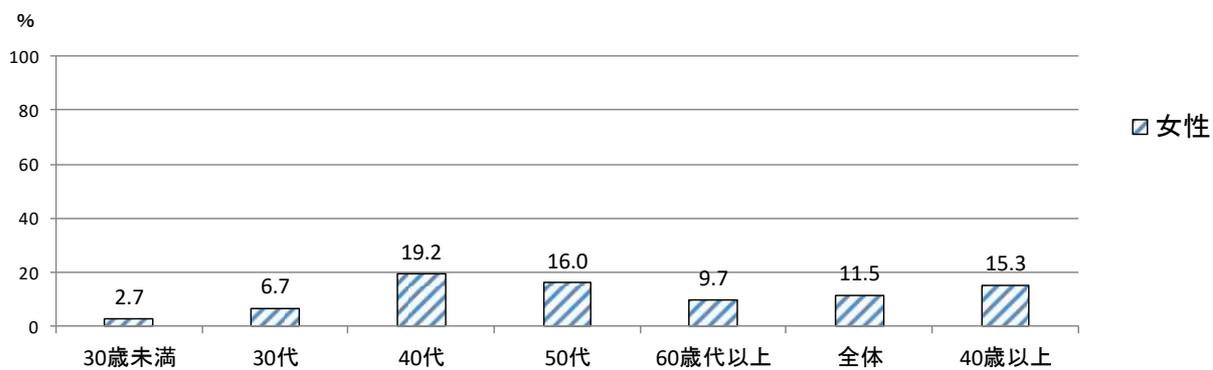
大腸がん



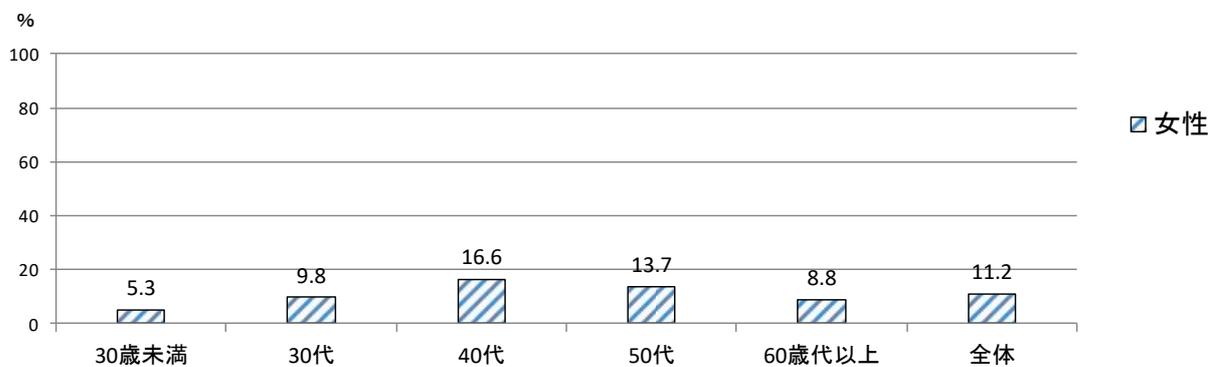
肺がん



乳がん検診

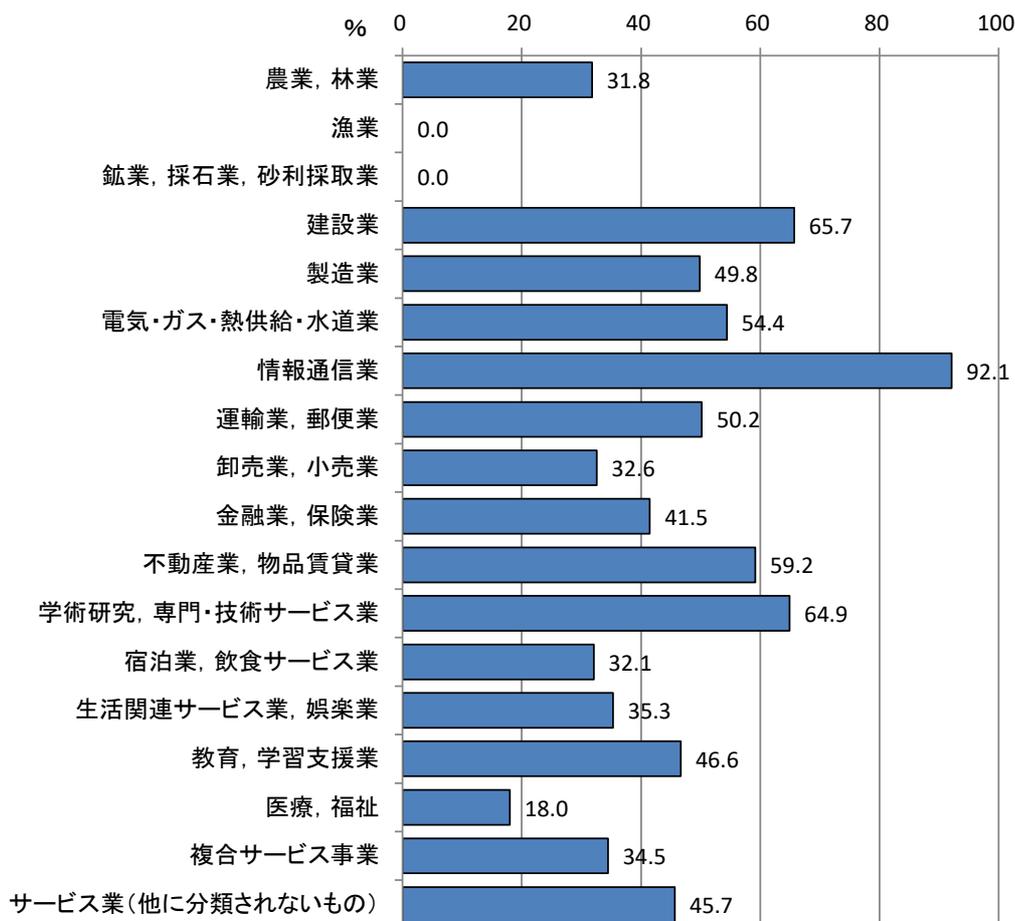


子宮頸がん

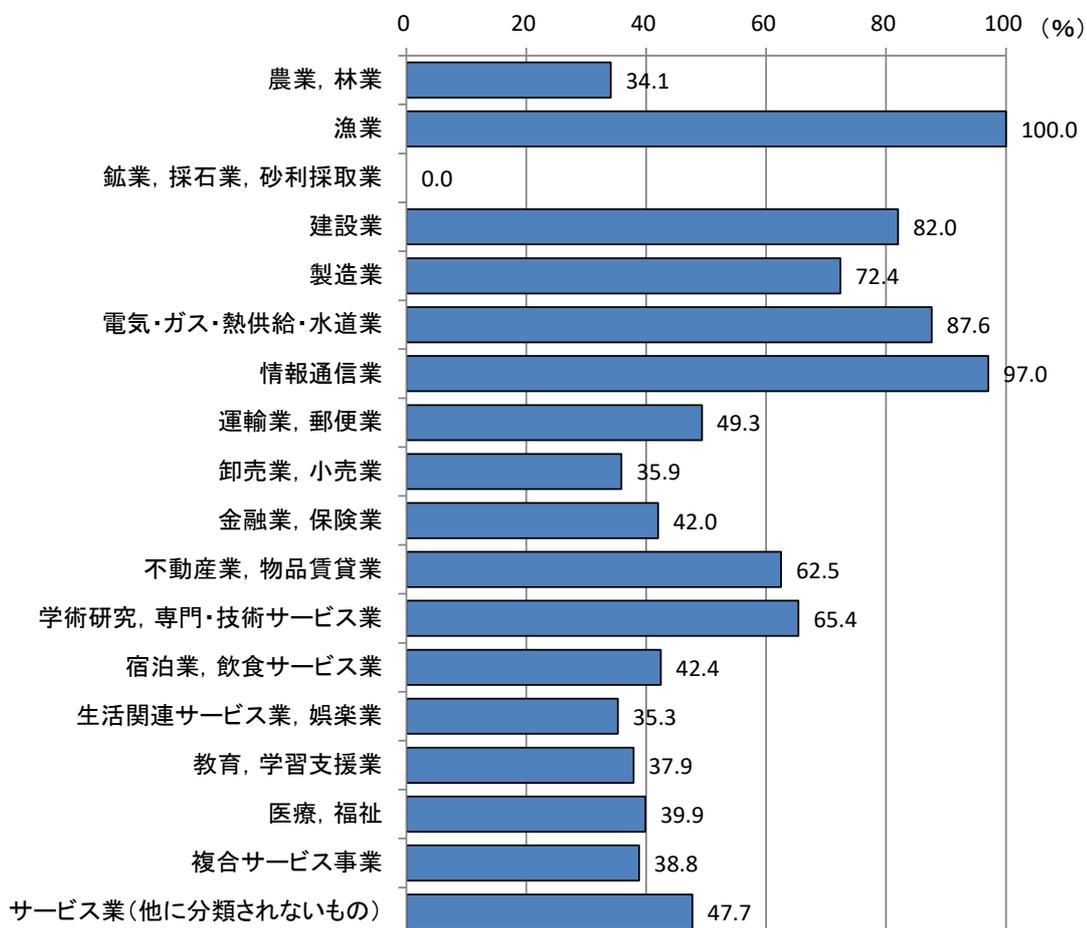


③部位別業種別のがん検診受診率（40歳以上、ただし、子宮頸がん検診は全年齢）

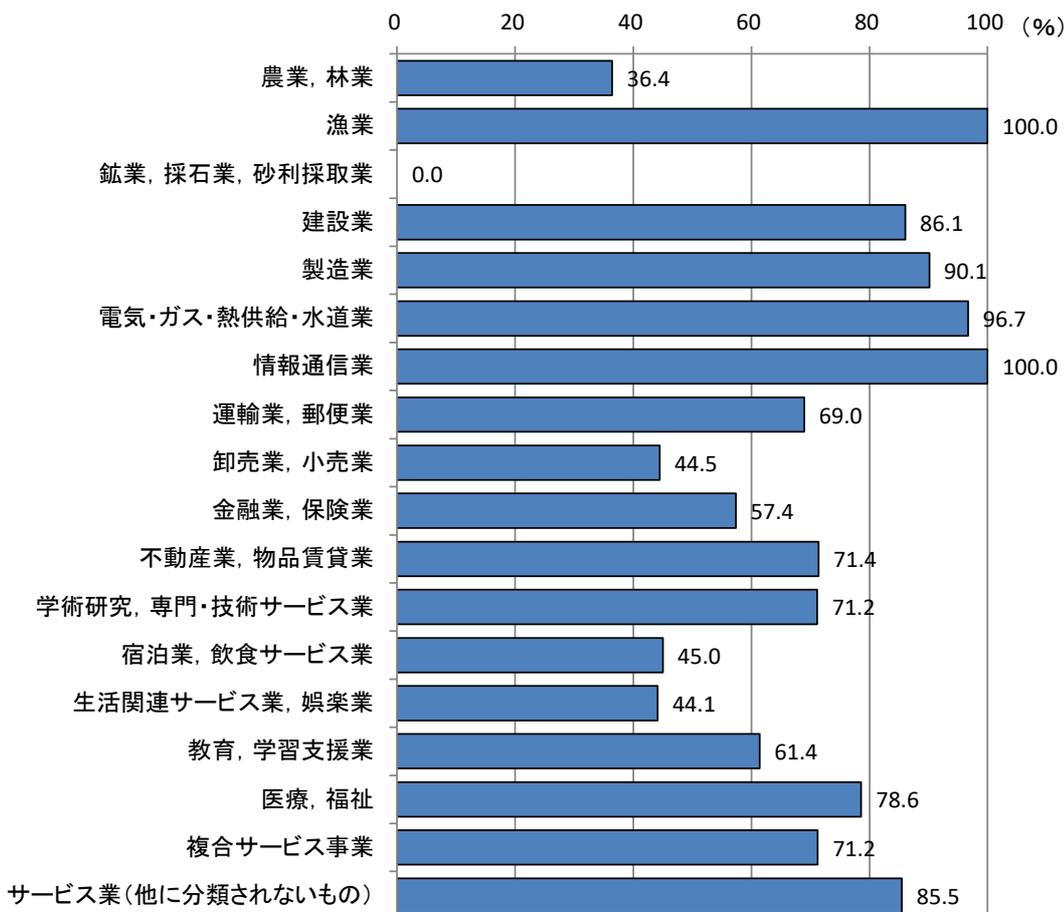
胃がん



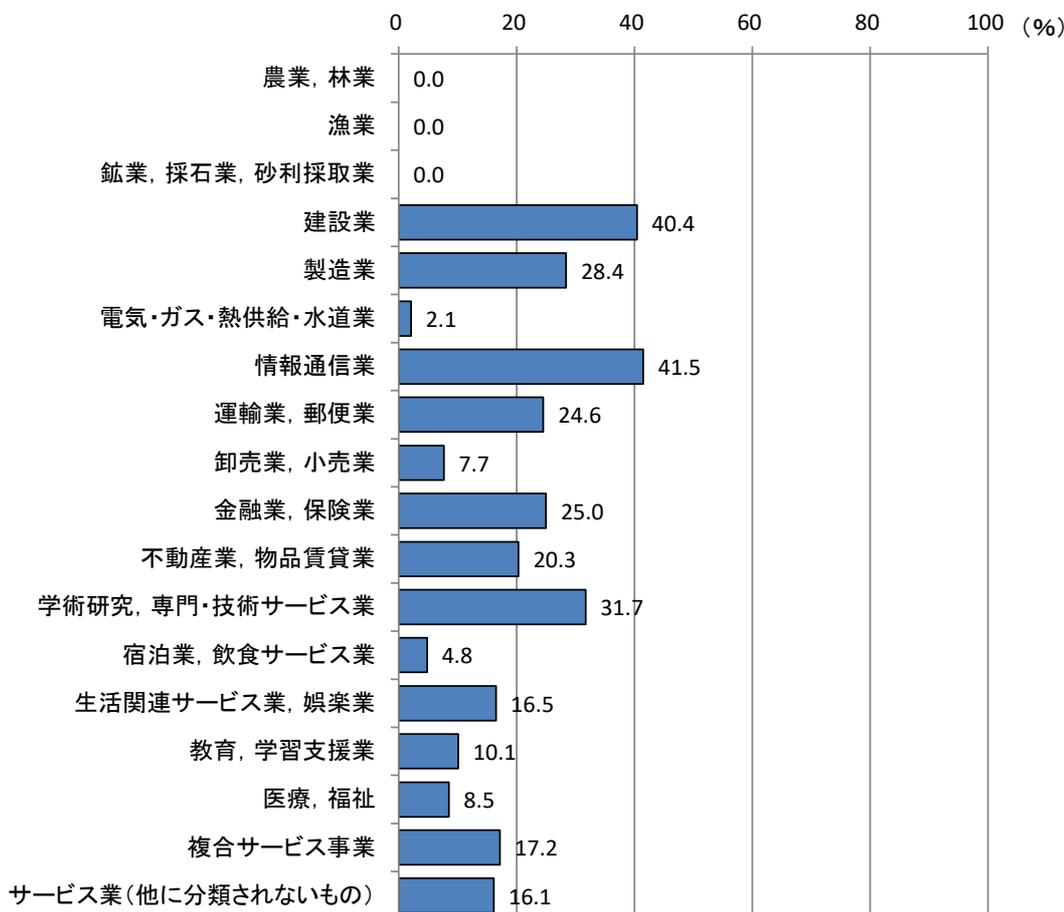
大腸がん



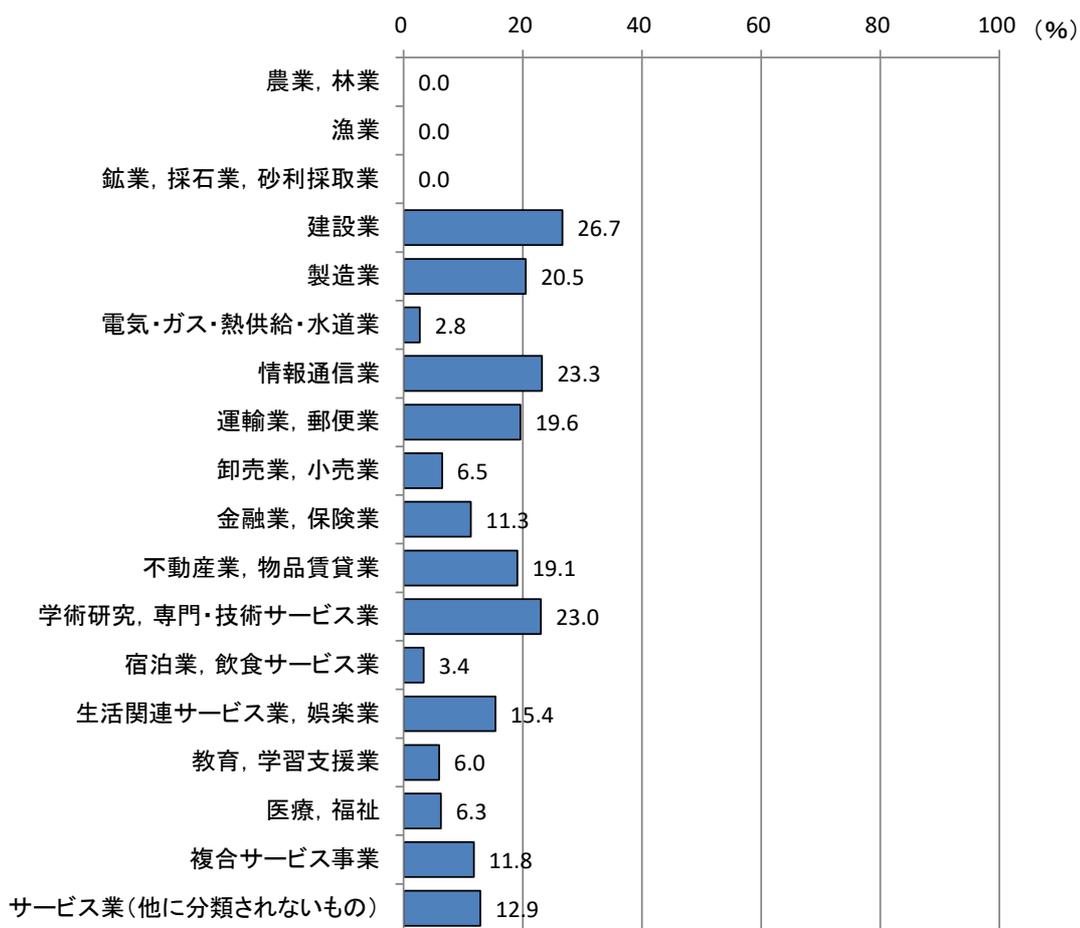
肺がん



乳がん検診

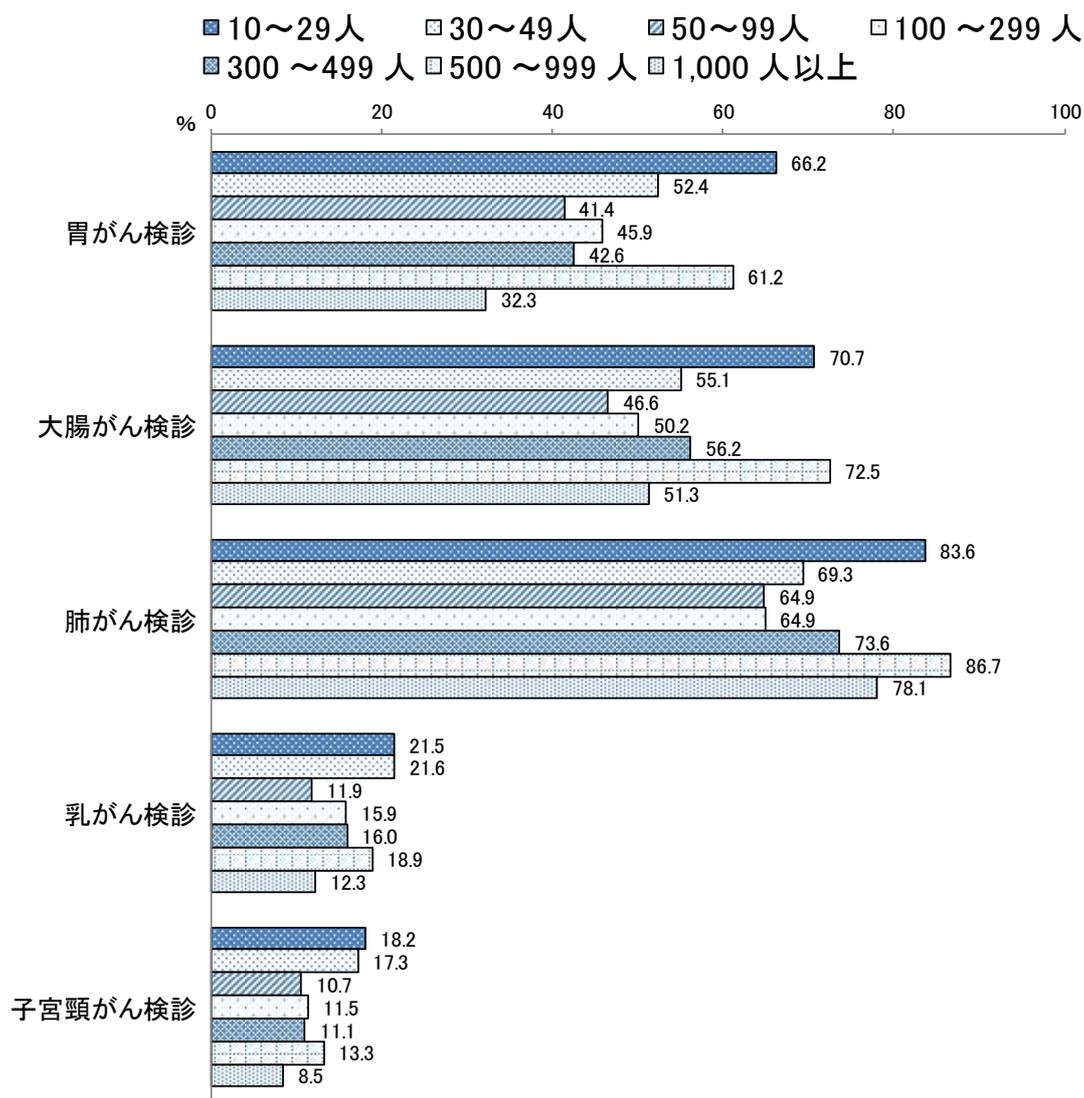


子宮頸がん



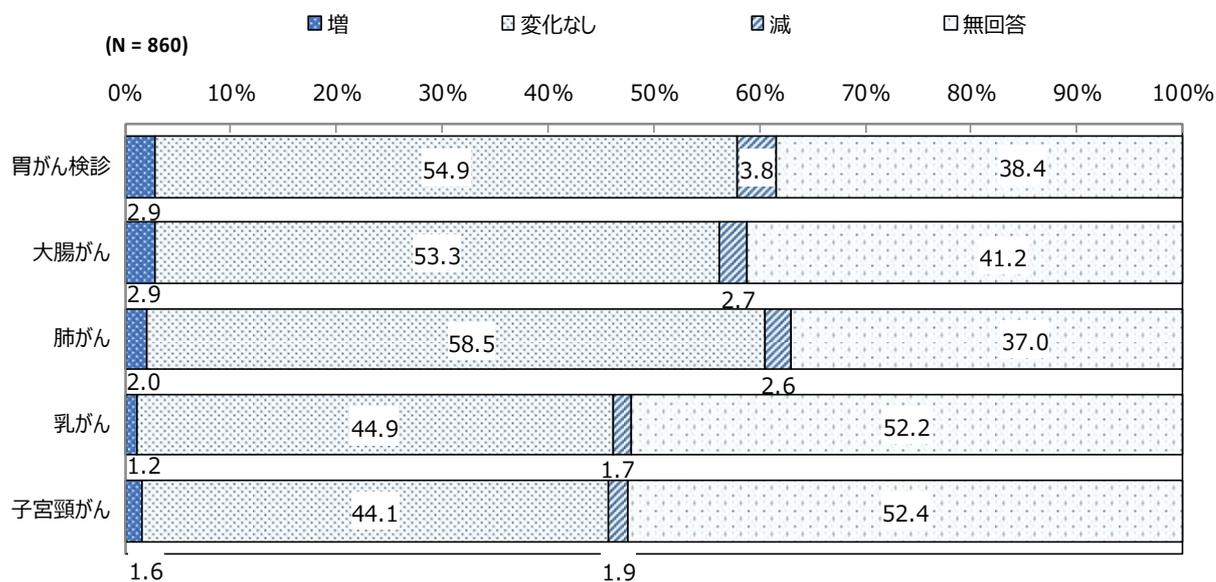
④部位別事業所規模別のがん検診受診率

※乳がん検診・子宮頸がんは女性のみ



⑤新型コロナ感染拡大以前（R元年度）からの受診者数の増減

【全体】いずれの検診も、「変化なし」が最も高く、「増」や「減」と回答した割合はわずかとなっている。

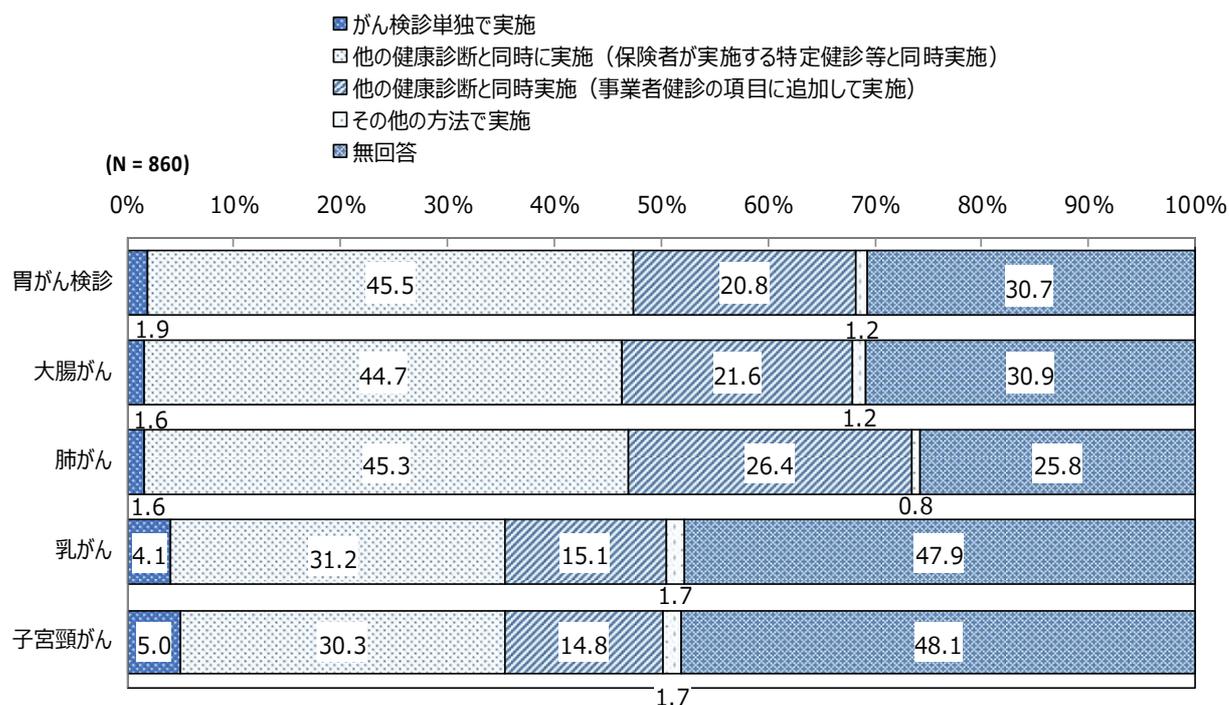


(3) がん検診の実施方法、検診費用の自己負担の状況

実施方法では、「乳がん」と「子宮頸がん」を除き「他の健康診断と同時に実施」が6割半ばを超えており、「保険者が実施する特定健診等と同時に実施」と「事業者健診の項目に追加して実施」で二極化している。検診費用の自己負担の状況では、いずれの検診も「自己負担なし」が最も高くなっている。

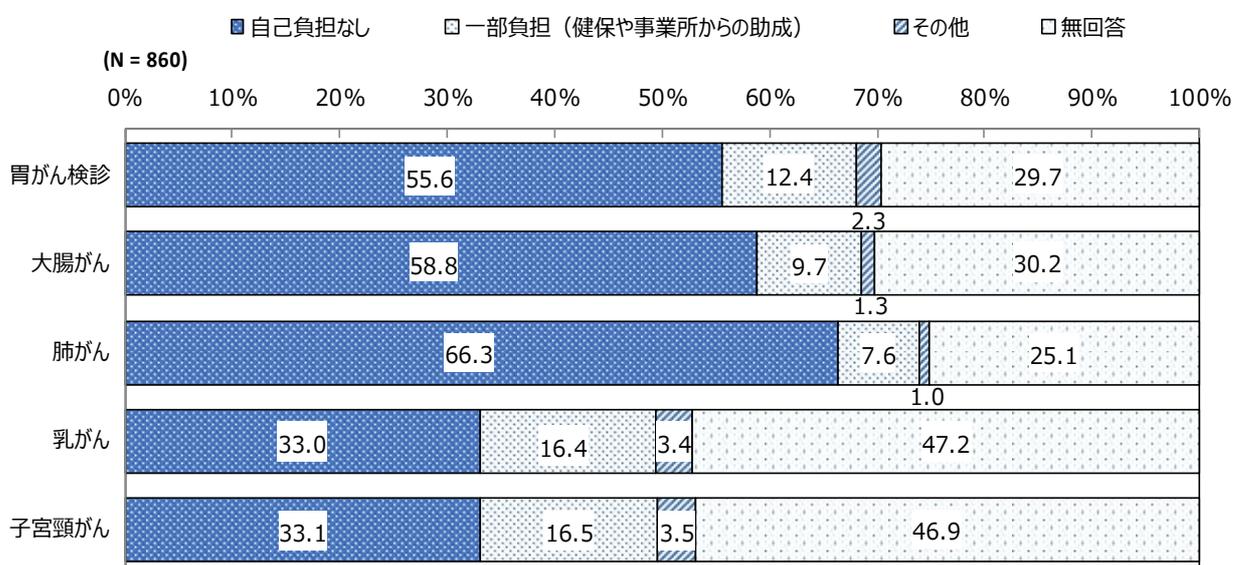
実施方法

【全体】いずれの検診でも「他の健康診断と同時に実施（保険者が実施する特定健診等と同時に実施）」が最も高く、次いで「他の健康診断と同時に実施（事業者健診の項目に追加して実施）」が高くなっている。



検診費用の自己負担の状況

【全体】いずれの検診でも、「自己負担なし」が最も高く、次いで「一部負担（健保や事業所からの助成）」が高くなっている。「自己負担なし」が最も高い検診は、「肺がん」で66.3%、次いで「大腸がん」が58.8%、「胃がん」が55.6%と続いた。「子宮頸がん」と「乳がん」は3割台となっている。

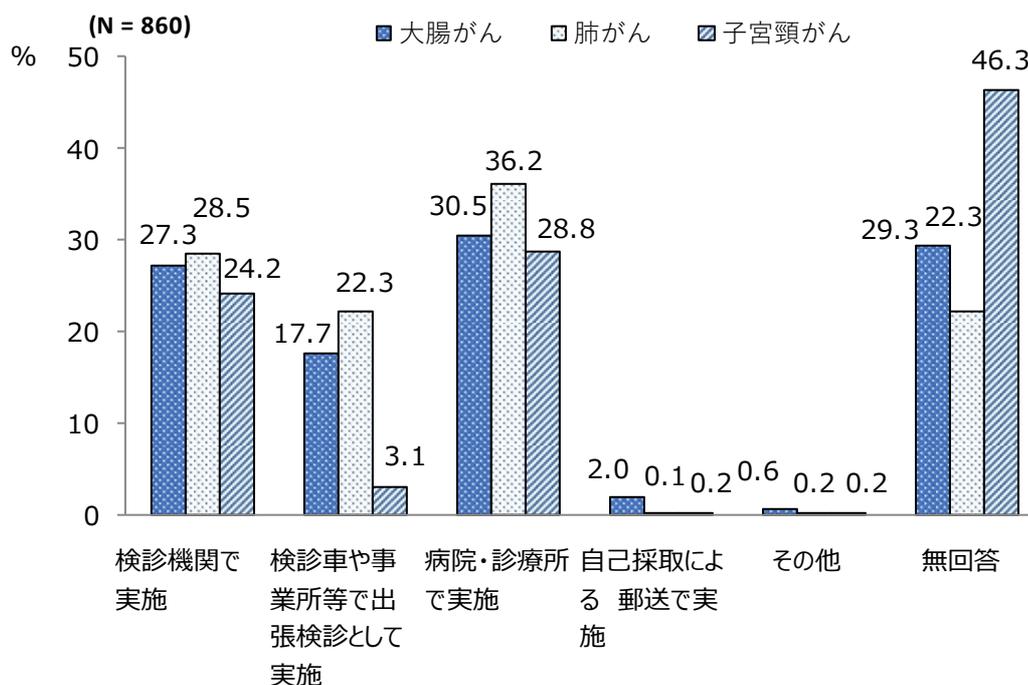
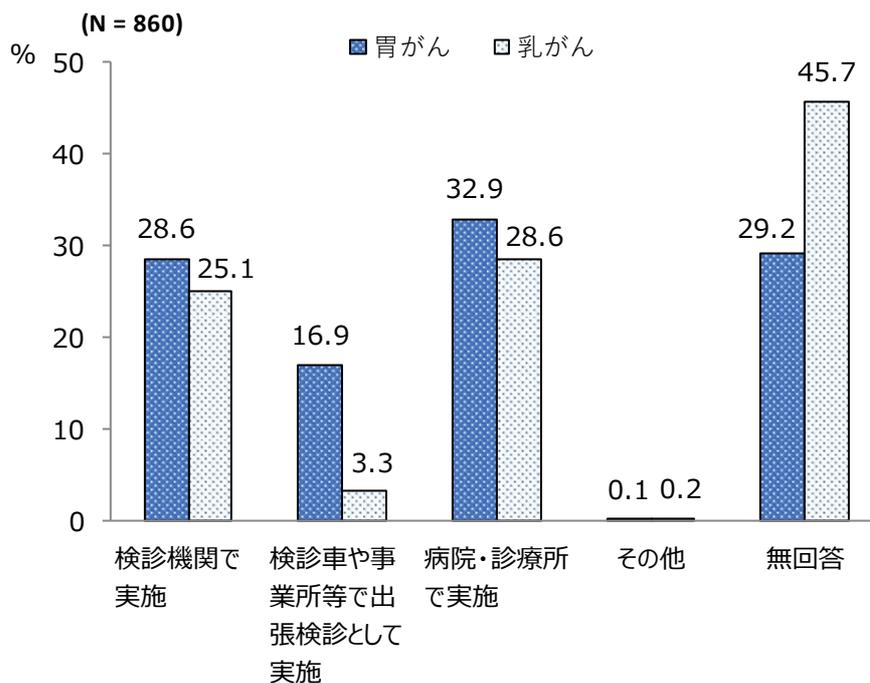


(4) がん検診の実施場所及び時間帯

検診の実施場所は、いずれの検診でも「病院・診療所で実施」が最も高く、3割前後となっている。
 検診の時間帯は、いずれの検診でも「勤務時間内」が3割を超え、最も高い。

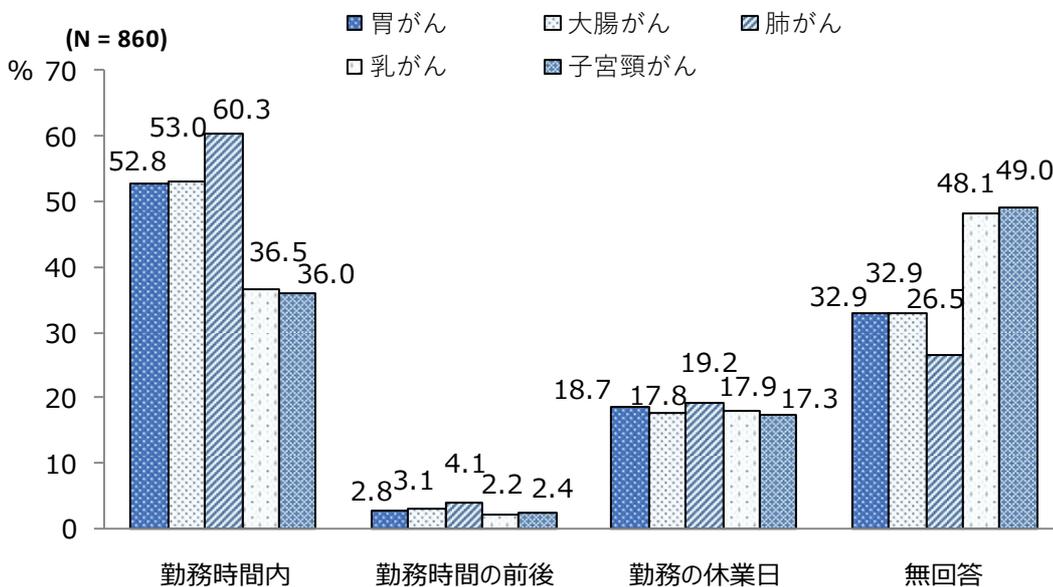
検診の実施場所

【全体】「病院・診療所で実施」しているのは、「肺がん」が36.2%と最も高く、次いで「胃がん」が32.9%、「大腸がん」が30.5%となっている。「検診車や事業所等出張検診として実施」では、「肺がん」が唯一2割を超えている。



検診の時間帯

【全体】「胃がん」、「大腸がん」、「肺がん」では、「勤務時間内」が5割を超え、「乳がん」と「子宮頸がん」では3割台となっている。「勤務の休業日」では、「肺がん」が19.2%と最も高く、次いで「胃がん」が18.7%、「乳がん」が17.9%となっている。

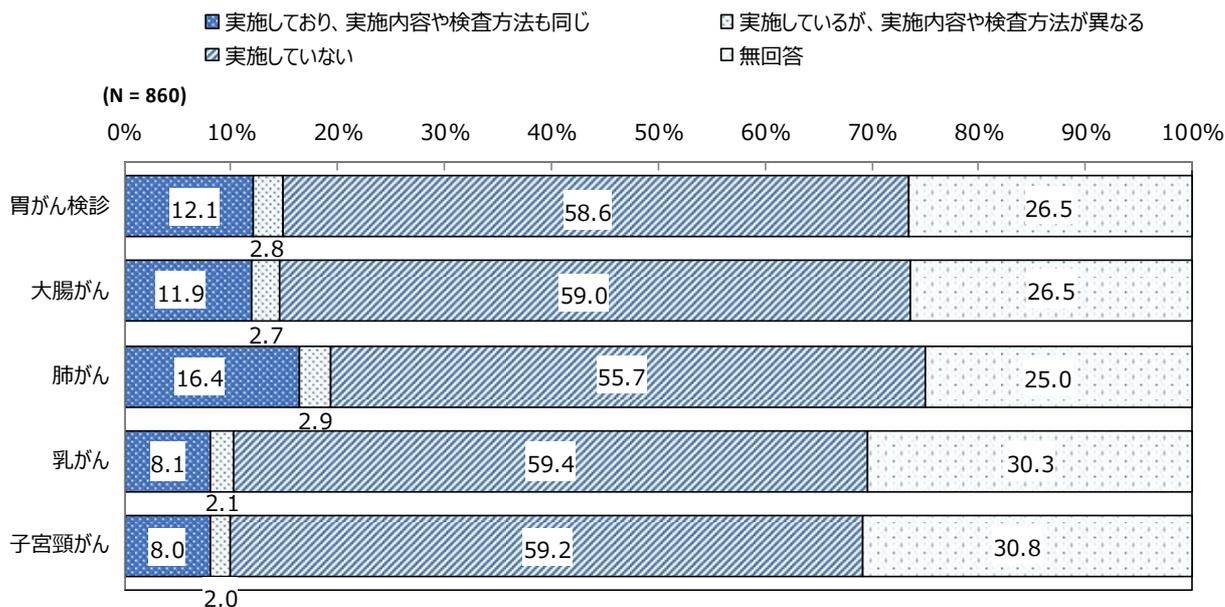


(5) 常用雇用者以外の従業員や、常用雇用者が扶養している配偶者へのがん検診実施の有無

常用雇用者以外の従業員へのがん検診を実施していない事業所は5割台となっている。
扶養している配偶者へのがん検診を実施していない事業所が7割超となっている。

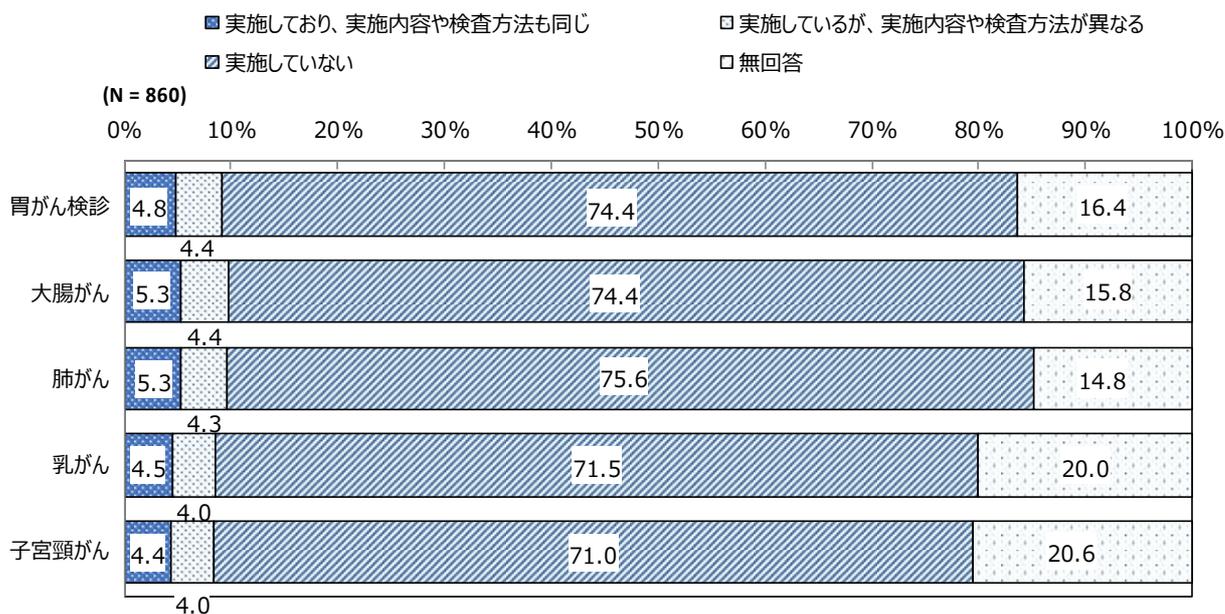
常用雇用者以外の従業員

【全体】いずれの検診でも、「実施していない」が最も高く、「胃がん」では58.6%、「大腸がん」では59.0%、「肺がん」では55.7%、「乳がん」では59.4%、「子宮頸がん」では59.2%となっている。



常用雇用者が扶養している配偶者

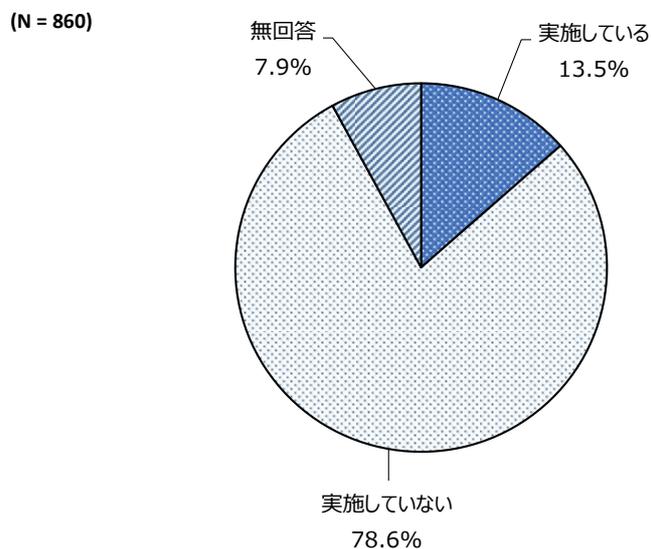
【全体】いずれの検診でも、「実施していない」が最も高く、「胃がん」「大腸がん」では74.4%、「肺がん」では75.6%、「乳がん」では71.5%、「子宮頸がん」では71.0%となっている。



(6) 胃・大腸・肺・乳・子宮以外のがん検診実施の有無

胃・大腸・肺・乳・子宮以外のがん検診は「実施していない」が約8割となっている。

【全体】「実施している」が13.5%、「実施していない」が78.6%となっている。



【実施しているがん検診・検査方法】

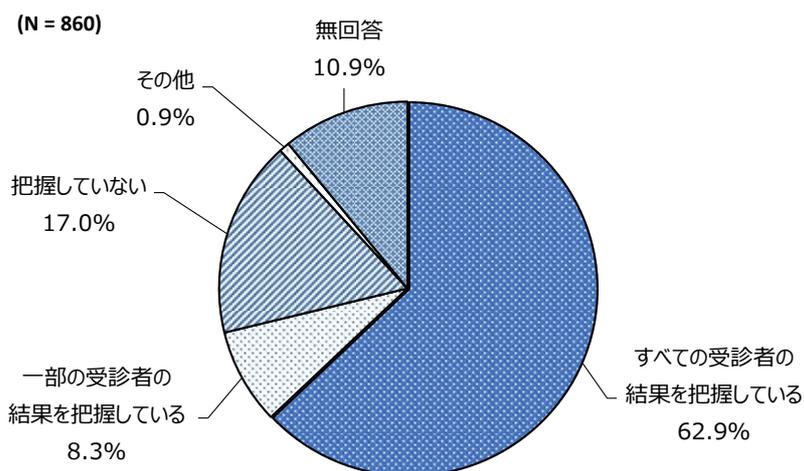
がん検診の種類	回答数	検査方法
前立腺がん	94	PSA 検査
肝・胆・膵がん	14	腹部超音波検査
消化器系がん	7	腫瘍マーカー検査 CEA
卵巣がん	7	腫瘍マーカー検査 CA-125
子宮がん	4	腫瘍マーカー検査 CA-125
胆道がん	3	腫瘍マーカー検査
肺がん	1	CT

3 がん検診実施後の対応について

(1) 常用雇用者のがん検診結果の把握

「すべての受診者の検診結果を把握している」が62.9%となっている。

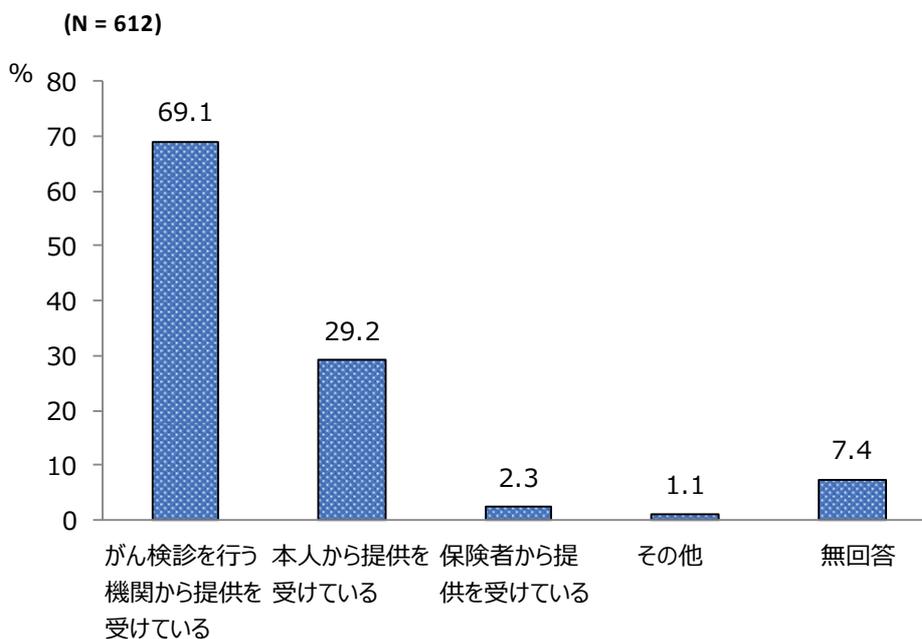
【全体】「すべての受診者の検診結果を把握している」が62.9%と最も高く、次いで「把握していない」が17.0%、「一部の受診者の検診結果を把握している」が8.3%となっている。



(2) 個人のがん検診の結果の把握の方法

「がん検診を行う機関から提供を受けている」が69.1%となっている。

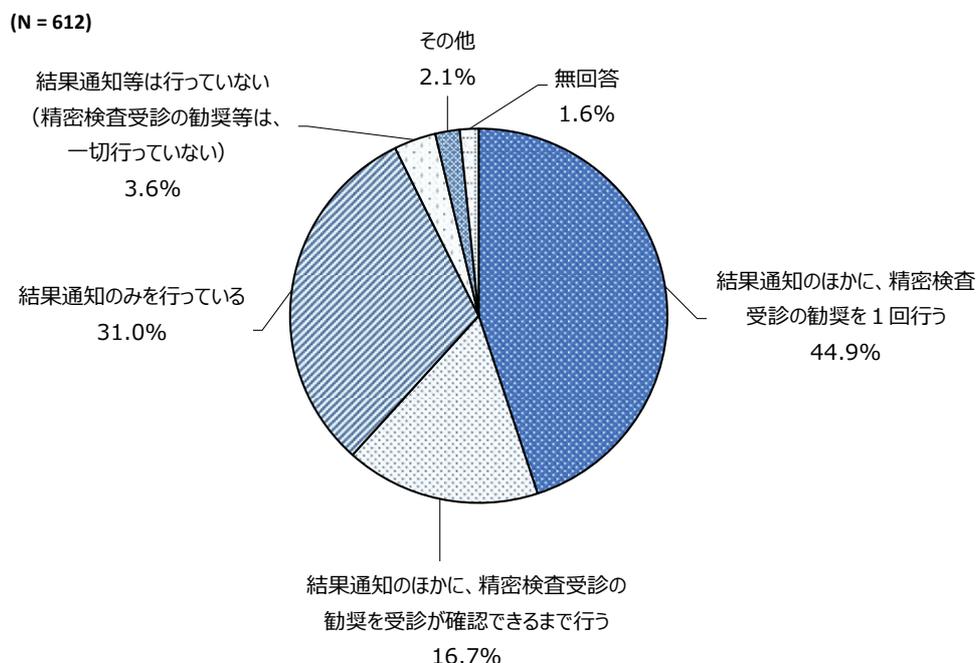
【全体】「がん検診を行う機関から提供を受けている」が69.1%と高く、次いで「本人から提供を受けている」が29.2%、「保険者から提供を受けている」が2.3%となっている。



(3) 要精密検査該当者への対応状況

「結果通知のほかに、精密検査受診の勧奨を1回行う」が44.9%で最も高い。

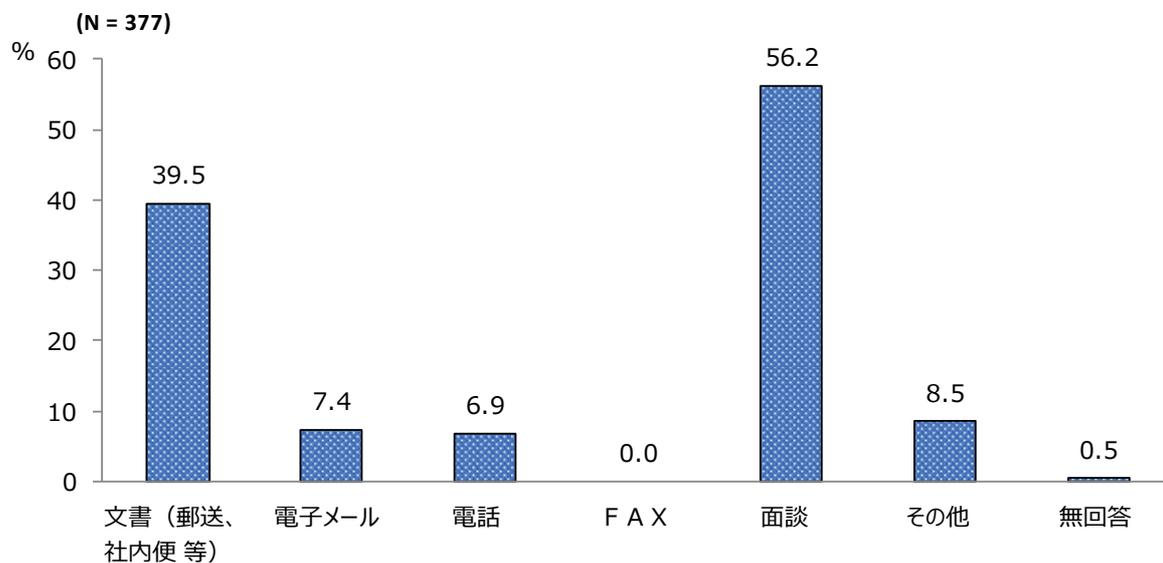
【全体】「結果通知のほかに、精密検査受診の勧奨を1回行う」が44.9%と最も高く、次いで「結果通知のみを行っている」が31.0%、「結果通知のほかに、精密検査受診の勧奨を受診が確認できるまで行う」が16.7%となっている。



(4) 精密検査の受診勧奨等の実施方法

「面談」が56.2%で最も高い。

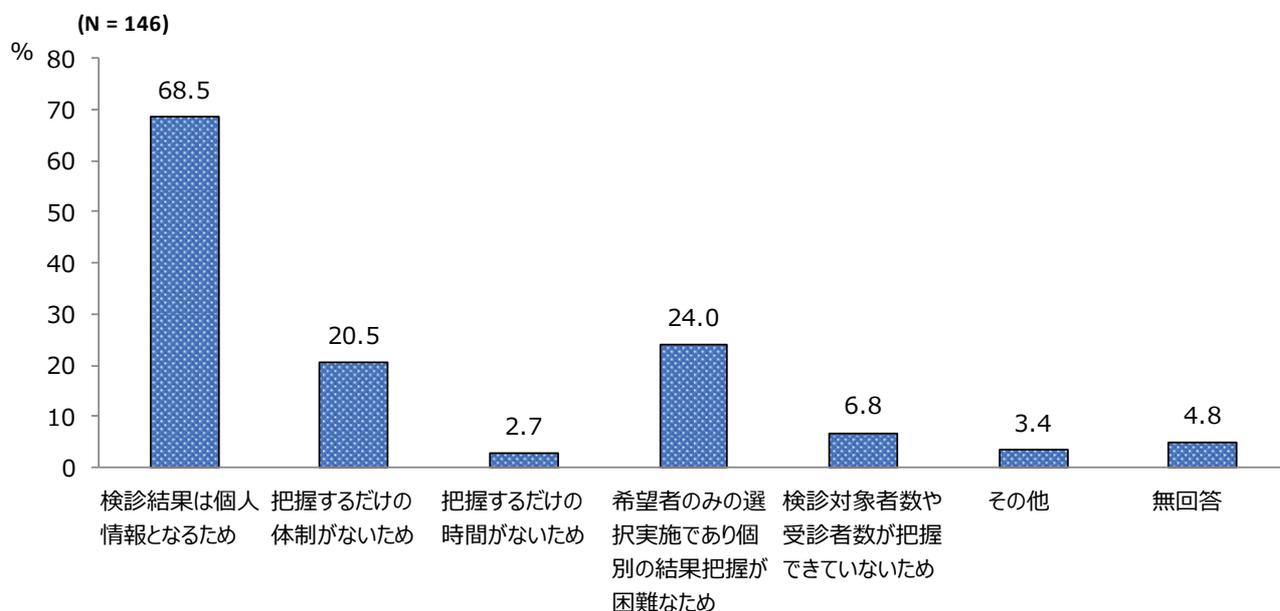
【全体】「面談」が56.2%と最も高く、次いで「文書（郵送、社内便等）」が39.5%、「電子メール」が7.4%となっている。



(5) 個人ごとの結果を把握していない理由

「検診結果は個人情報となるため」が68.5%で最も高い。

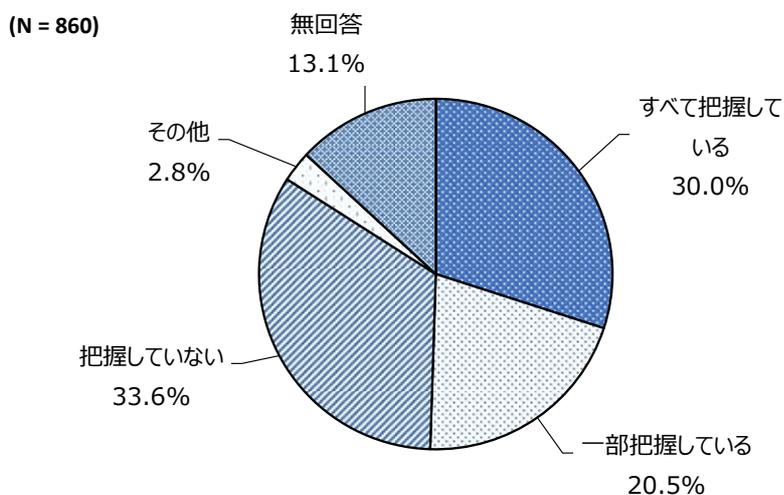
【全体】「検診結果は個人情報となるため」が68.5%と最も高く、次いで「希望者のみの選択実施であり個別の結果把握が困難なため」が24.0%、「把握するだけの体制がないため」が20.5%となっている。



(6) 常用雇用者のがん検診精密検査結果の把握

「すべて把握している」と「一部把握している」で約5割となっている。

【全体】「把握していない」が33.6%と最も高く、次いで「すべて把握している」が30.0%、「一部把握している」が20.5%となっている。



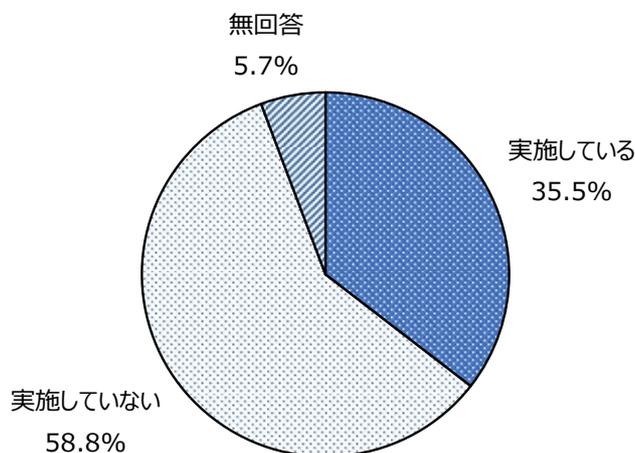
4 がん検診の受診者を増やす取組について

(1) がん検診の受診者を増やす取組の実施有無

「実施していない」が58.8%で、「実施している」は35.5%となっている。

【全体】「実施している」が35.5%、「実施していない」が58.8%となっている。

(N = 860)



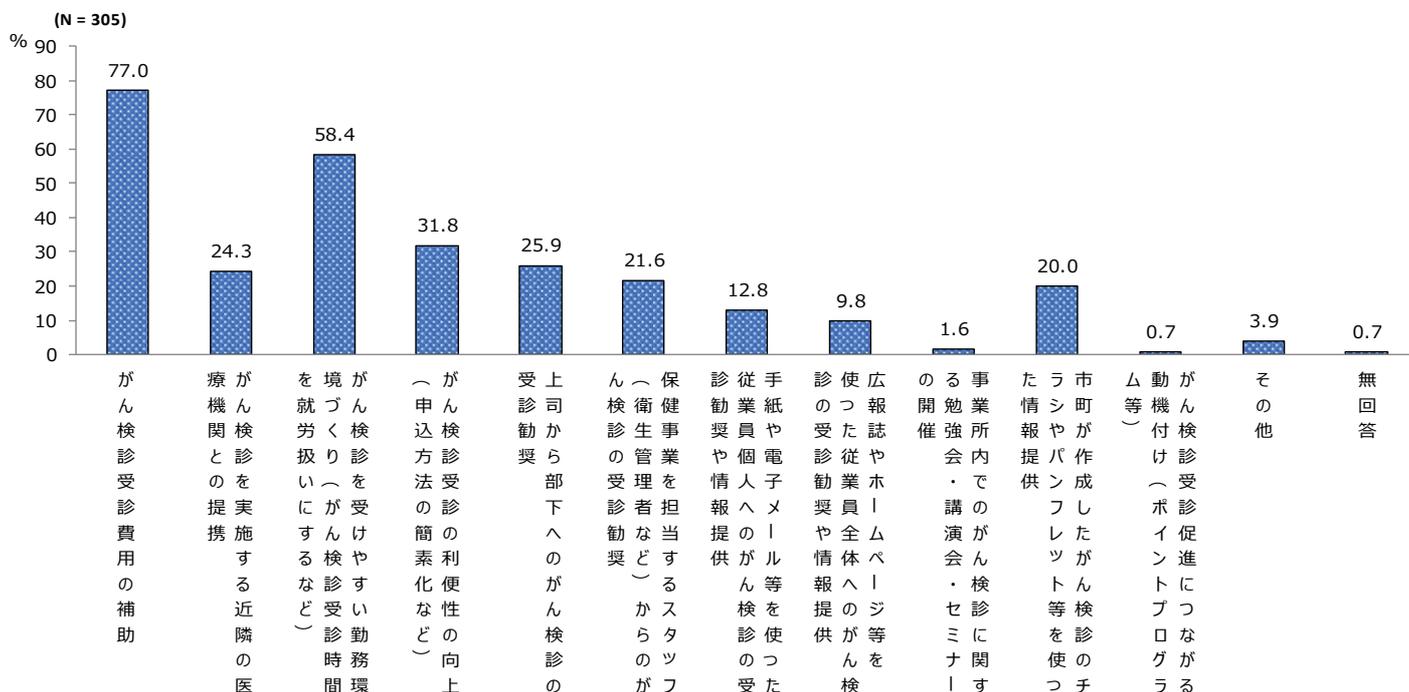
(2) 実施している取組および受診者の増加に最も効果的だと考える取組

実施している取組は、「がん検診受診費用の補助」が77.0%で最も高く、次いで「がん検診を受けやすい勤務環境づくり（がん検診受診時間を就労扱いにするなど）」となっている。

また、受診者の増加に最も効果的だと考える取組も「がん検診受診費用の補助」が45.9%で最も高く、次いで、「がん検診を受けやすい勤務環境づくり（がん検診受診時間を就労扱いにするなど）」となっている。

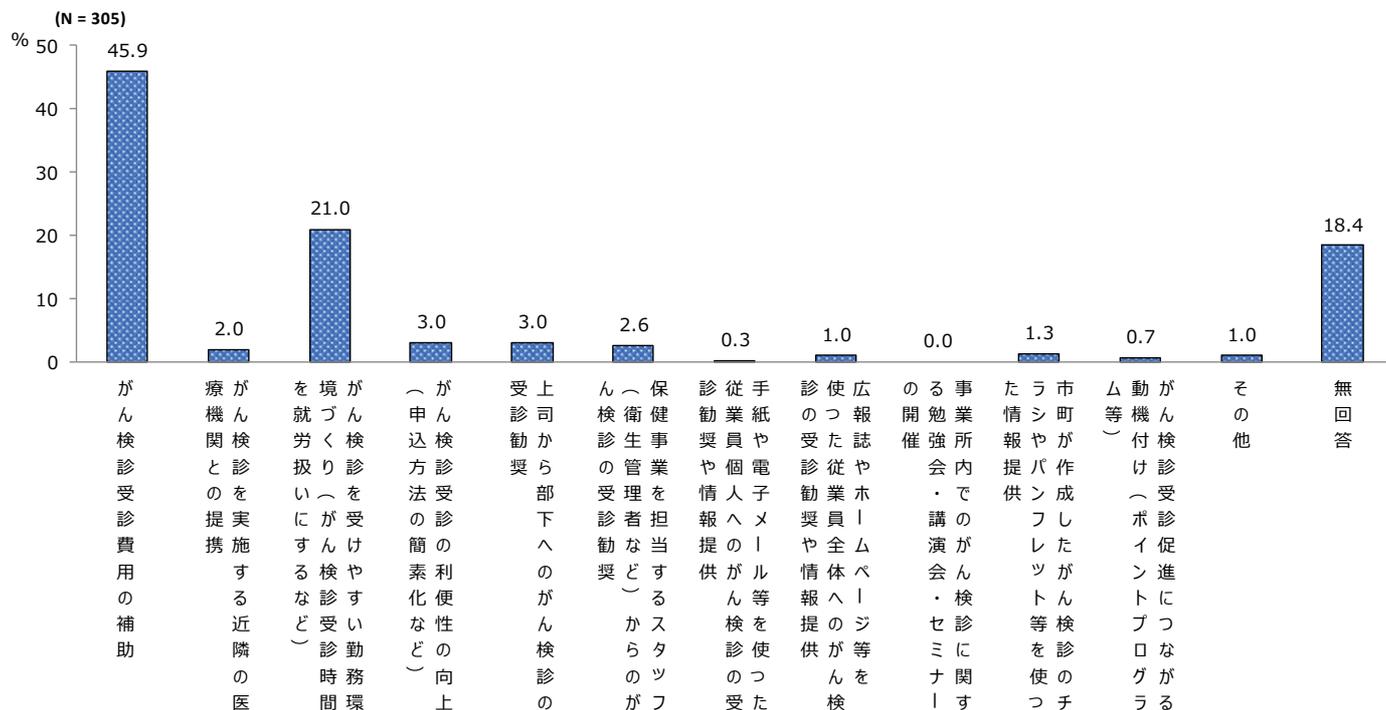
実施している取組

【全体】「がん検診受診費用の補助」が77.0%と最も高く、次いで「がん検診を受けやすい勤務環境づくり（がん検診受診時間を就労扱いにするなど）」が58.4%、「がん検診受診の利便性の向上（申込方法の簡素化など）」が31.8%となっている。



受診者の増加に最も効果的だと考える取組

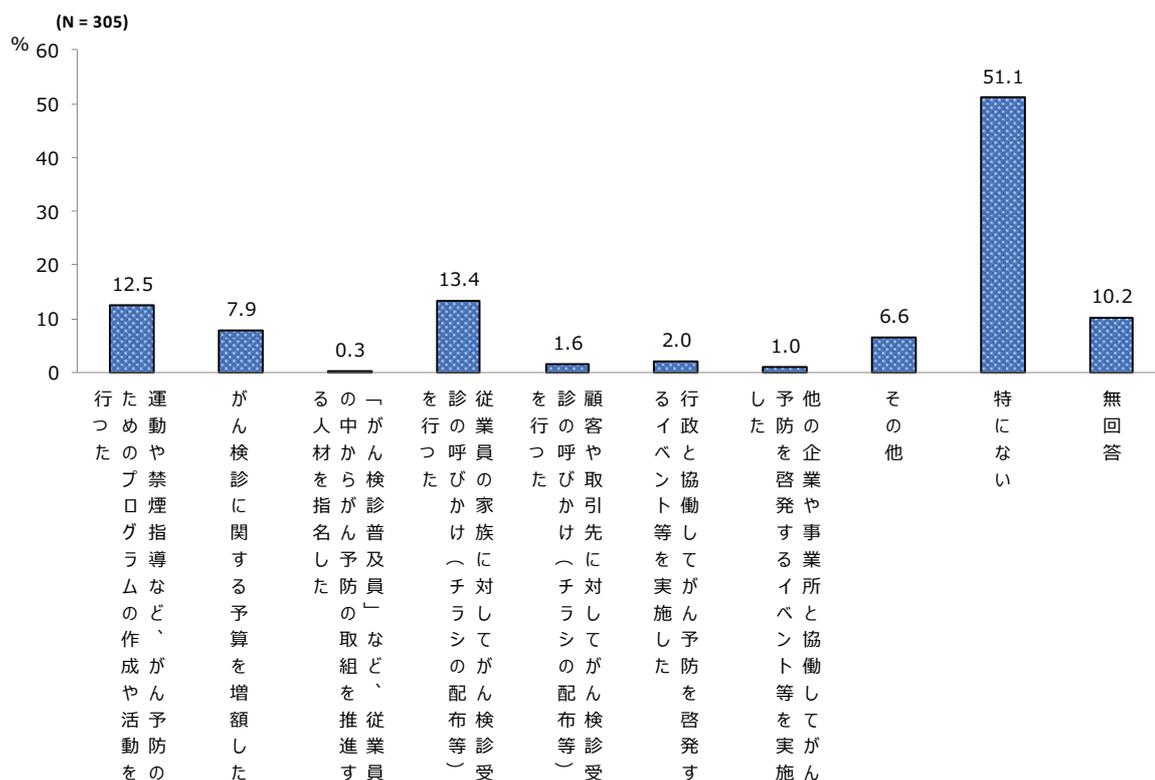
【全体】「がん検診受診費用の補助」が45.9%と最も高く、次いで「がん検診を受けやすい勤務環境づくり（がん検診受診時間を就労扱いにするなど）」が21.0%となっている。他の項目ではいずれも1割未満となっている。



(3) がん検診受診者の増加の取組のほか、実施している取組

「従業員の家族に対してがん検診受診の呼びかけ（チラシの配布等）を行った」が最も高く、次いで「運動や禁煙指導など、がん予防のためのプログラムの作成や活動を行った」「がん検診に関する予算を増額した」となっているが、「特にない」が約5割となっている。

【全体】「特にない」を除いた項目では、「従業員の家族に対してがん検診受診の呼びかけ（チラシの配布等）を行った」が13.4%と最も高く、次いで「運動や禁煙指導など、がん予防のためのプログラムの作成や活動を行った」が12.5%、「がん検診に関する予算を増額した」が7.9%となっている。



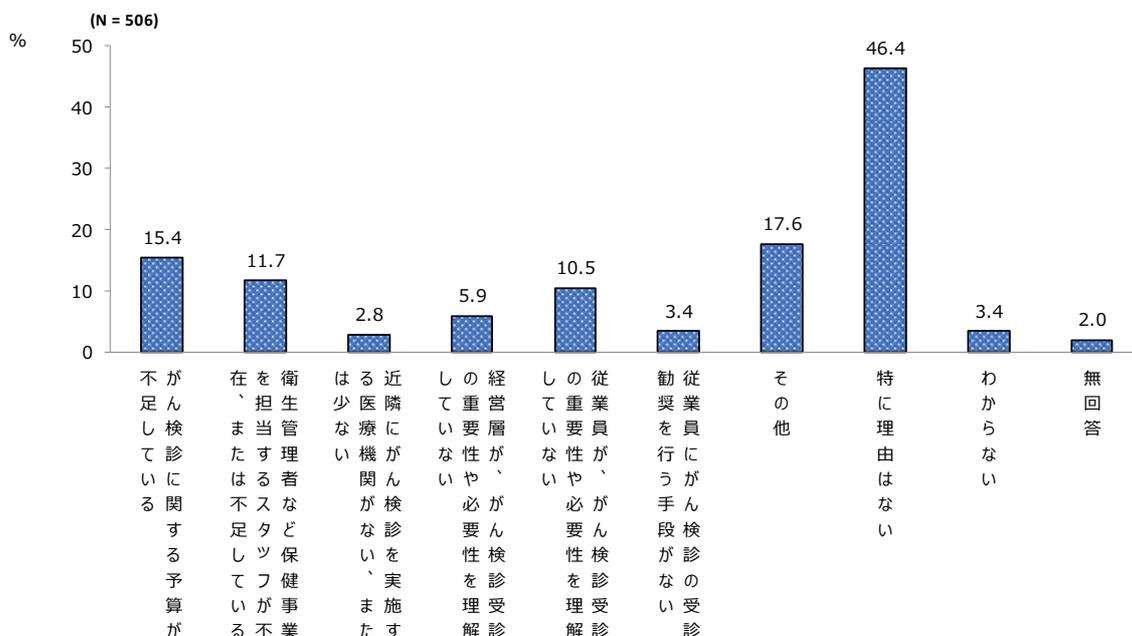
【その他コメント】

- ・年2回の検診を行っている。(3件)
- ・検診を受けるよう（声掛けなどで）促している。(2件)
- ・受診日時及び検診の大切さを個別面談にて伝えている。
- ・全従業員に健診先と健診日を指定している。
- ・健康管理についての話題作り（興味付け）、早期発見の大切さ。
- ・運動や健康レシピの情報発信。
- ・人間ドック受診、健診時のオプション検査の受診勧奨（腫瘍マーカー）。
- ・毎年の定期検診を人間ドックに変更するよう奨励している。
- ・定期職員健診の際にがん健診の必要性の用紙と共に、結果用紙も配布している。
- ・申し込み日付(検診日)を会社の方で取り決めて行う。
- ・協会健保からの資料配布他。
- ・社内メールでPR。
- ・福利厚生。
- ・年1回の健康診断に入っている。
- ・CSR向上のため、グループ全体で取り組んでいる。
- ・敷地内禁煙を掲げている。
- ・小児がん支援のため「アフラッククラシックチャリティコンサート」「ゴールドリボンウォーキング」の開催、Web用のがん教育のコンテンツを作成し社外に公開。

(4) がん検診受診者の増加の取組を実施していない理由

「がん検診に関する予算が不足している」が15.4%となっている。

【全体】「特に理由はない」を除いた項目では、「がん検診に関する予算が不足している」が15.4%と最も高く、次いで「衛生管理者など保健事業を担当するスタッフが不在、または不足している」が11.7%、「従業員が、がん検診受診の重要性や必要性を理解していない」が10.5%となっている。



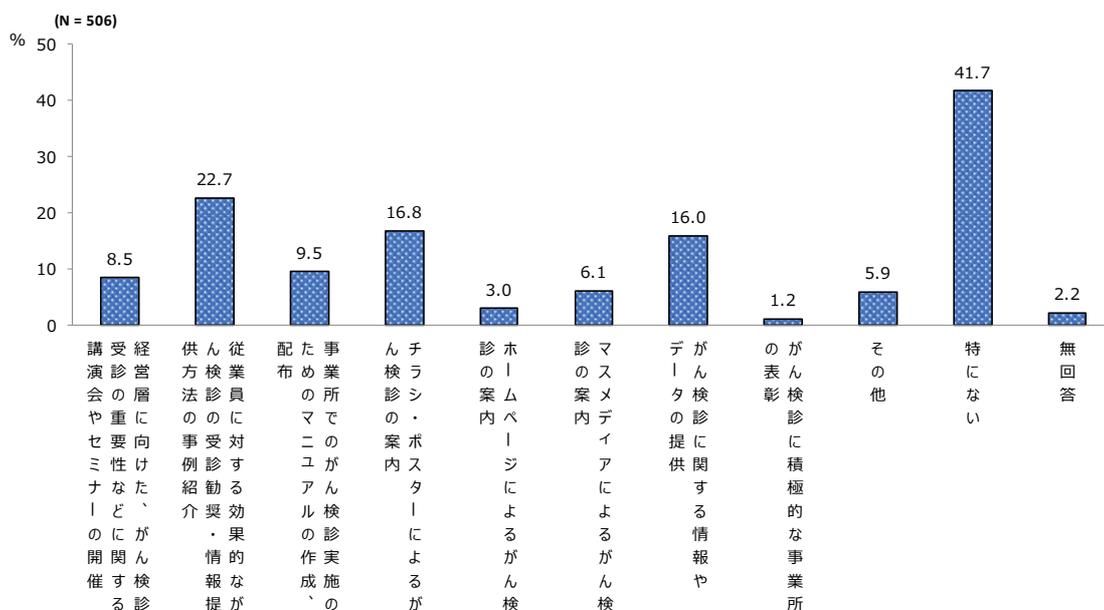
【その他コメント】

- ・個人に任せている。(18件)
 - ・全員受診している。(11件)
 - ・ほぼ全員受診している。(4件)
 - ・コロナ収束を待っている。
 - ・以前は実施していたが、従業員から不要の声があったため。
 - ・検診を親会社に依頼している。
 - ・現状の健診である程度の健康状態が判るため。
 - ・時間的な余裕がないため。
 - ・増やす取組みをしなくても定着しており、受診者は一定数いるから。
 - ・特定健診に含まれているから。
 - ・年1回健康診断と同時に実施している。
 - ・法定健診ではないため。
 - ・35歳以上については義務としている。
- など

(5) 今後の取組の実施にあたって、行政に期待すること

「従業員に対する効果的ながん検診の受診勧奨・情報提供方法の事例紹介」が22.7%と最も高く、次いで「チラシ・ポスターによるがん検診の案内」となっている。

【全体】「特にない」を除いた項目では、「従業員に対する効果的ながん検診の受診勧奨・情報提供方法の事例紹介」が22.7%と最も高く、次いで「チラシ・ポスターによるがん検診の案内」が16.8%、「がん検診に関する情報やデータの提供」が16.0%となっている。



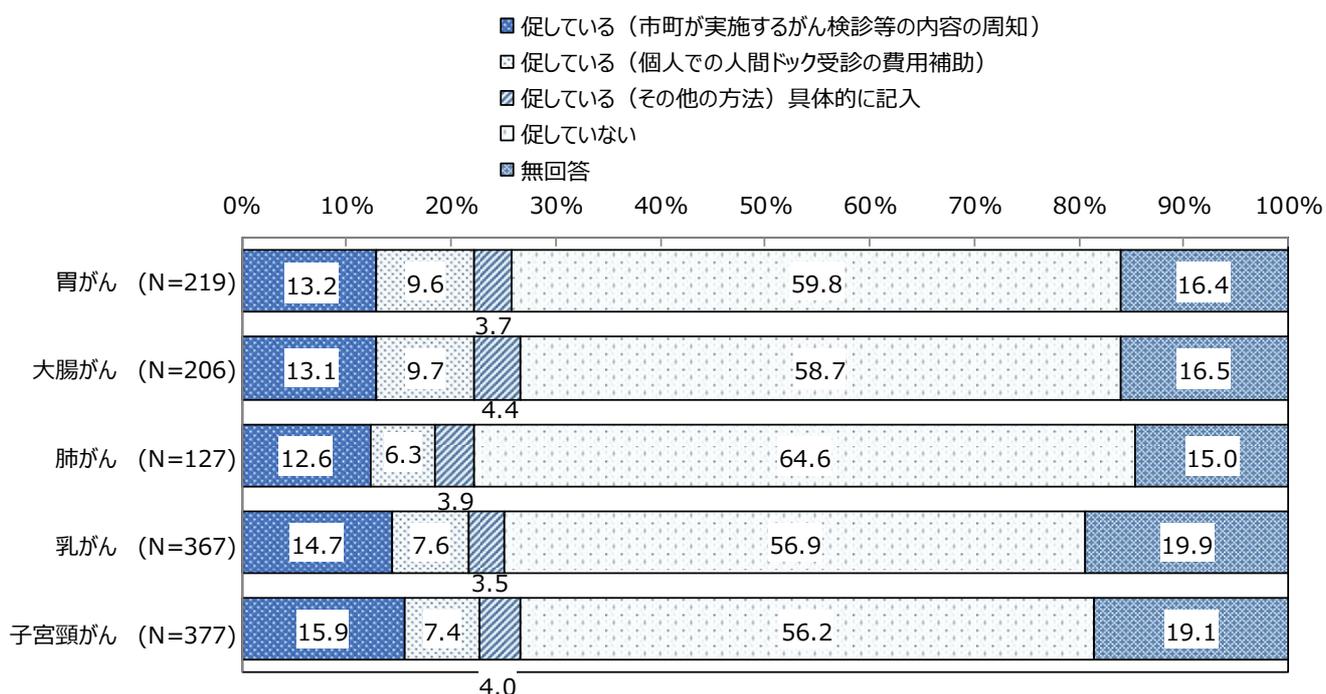
(6) 貴事業所以外で実施しているがん検診受診の促進状況

「促している（市町が実施するがん検診等の内容の周知）」ではいずれの検診も2割を下回っている。

【全体】「促している（市町が実施するがん検診等の内容の周知）」では、「子宮頸がん」が15.9%と最も高く、次いで「乳がん」が14.7%、「胃がん」が13.2%となっている。「促していない」では、いずれのがん検診でも6割前後となっている。

「促している（計）」では、「子宮頸がん」が27.3%で最も高く、次いで「大腸がん」が27.2%、「胃がん」が26.5%となっている。

※「促している（計）」は、「促している（市町が実施するがん検診等の内容の周知）」、「促している（個人での人間ドック受診の費用補助）」、「促している（その他の方法）具体的に記入」を合算したものの。

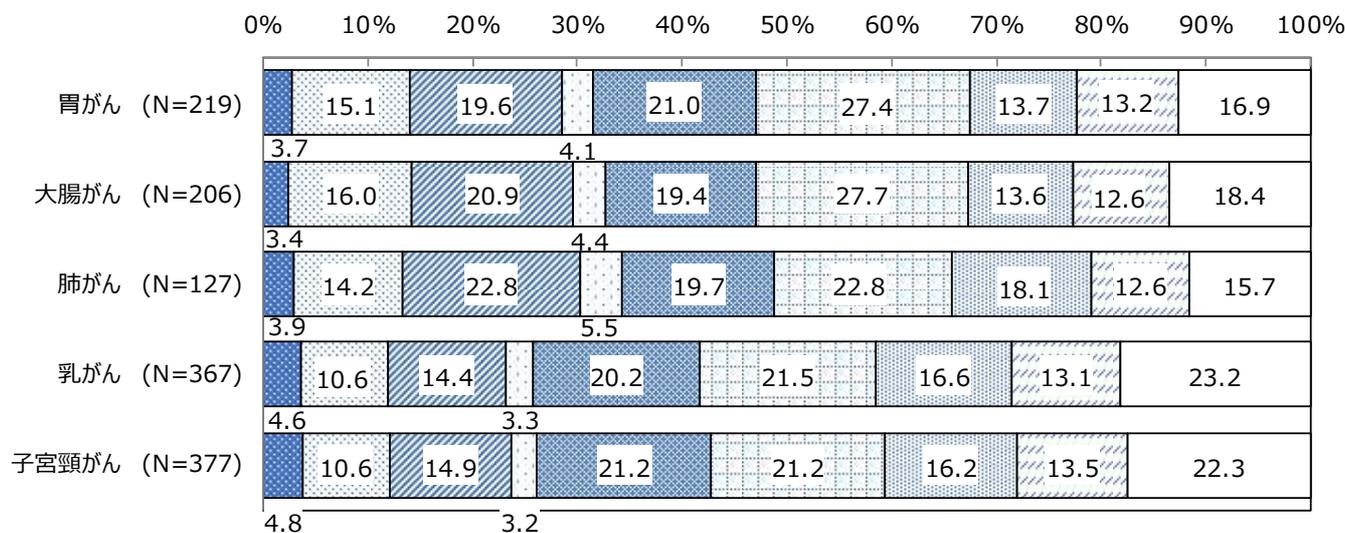


(7) がん検診を実施していない理由

いずれの検診でも、「がん検診が労働安全衛生法に義務付けられていないため」が2割超となっている。

【全体】「がん検診に要する費用が高額であるため」では、「肺がん」が22.8%で最も高く、次いで「大腸がん」が20.9%となっている。「従業員ががん検診を希望しないため」では、「子宮頸がん」が21.2%で最も高く、次いで「胃がん」が21.0%となっている。「がん検診が労働安全衛生法に義務付けられていないため」では、「大腸がん」(27.7%)が最も高くなっている。

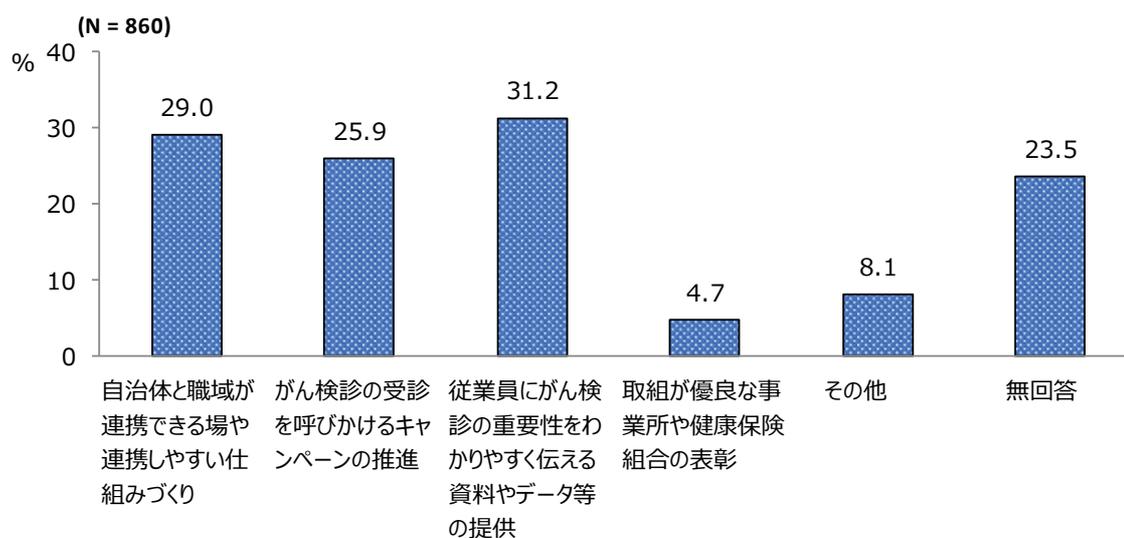
- がん検診を依頼できる検診機関がない(わからない)ため
 - がん検診に要する費用が高額であるため
 - 従業員ががん検診を希望しないため
 - 従業員(対象者)が少ないため
 - 無回答
- がん検診を受ける時間がとれない(とりにくい)ため
 - がん検診に関する事務が煩雑であるため
 - がん検診が労働安全衛生法に義務付けられていないため
 - その他



5 がん検診に関する県や市町村への要望について

「従業員にがん検診の重要性をわかりやすく伝える資料やデータ等の提供」「自治体と職域が連携できる場や連携しやすい仕組みづくり」「がん検診の受診を呼びかけるキャンペーンの推進」が2割半ばを超えている。

【全体】「従業員にがん検診の重要性をわかりやすく伝える資料やデータ等の提供」が31.2%と最も高く、次いで「自治体と職域が連携できる場や連携しやすい仕組みづくり」が29.0%、「がん検診の受診を呼びかけるキャンペーンの推進」が25.9%となっている。

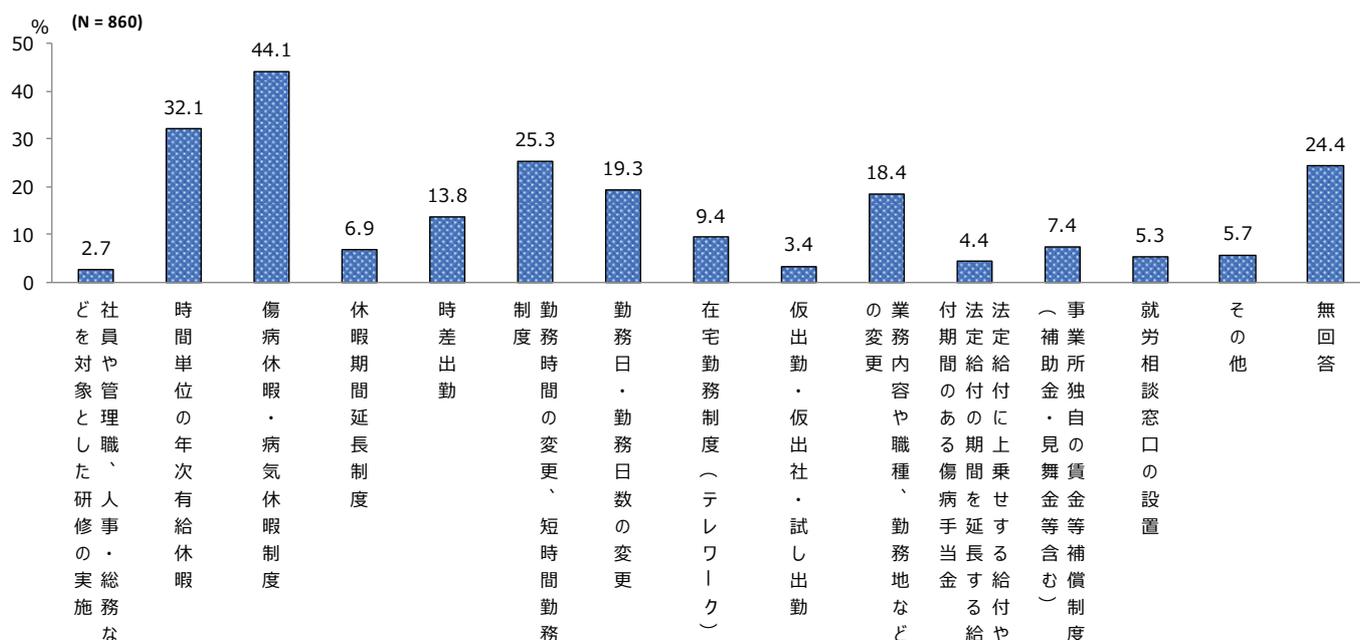


6 「がん治療と仕事の両立支援」に関する取組について

(1) がんが発見された従業員が仕事と治療を両立できるための制度等

「傷病休暇・病気休暇制度」が44.1%で最も高く、次いで「時間単位の年次有給休暇」が32.1%、「勤務時間の変更、短時間勤務制度」が25.3%となっている。

【全体】「傷病休暇・病気休暇制度」が44.1%と最も高く、次いで「時間単位の年次有給休暇」が32.1%、「勤務時間の変更、短時間勤務制度」が25.3%となっている。

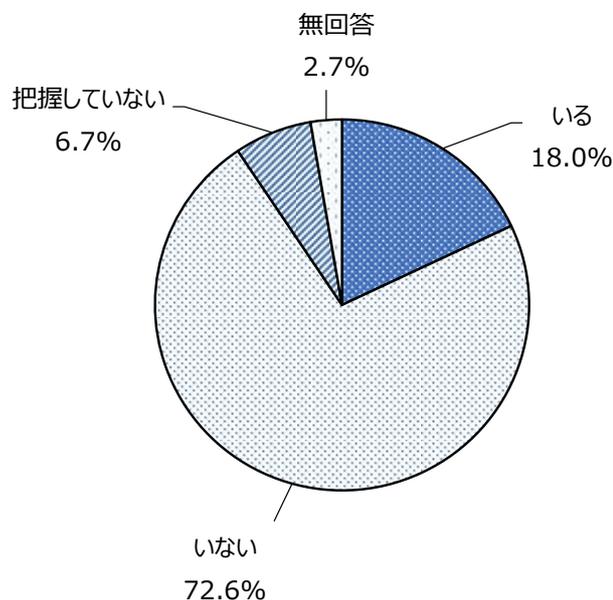


(2) がん治療中の従業員の有無

「いる」が18.0%、「把握していない」は6.7%となっている。

【全体】「いない」が72.6%で最も高く、次いで「いる」が18.0%、「把握していない」が6.7%となっている。

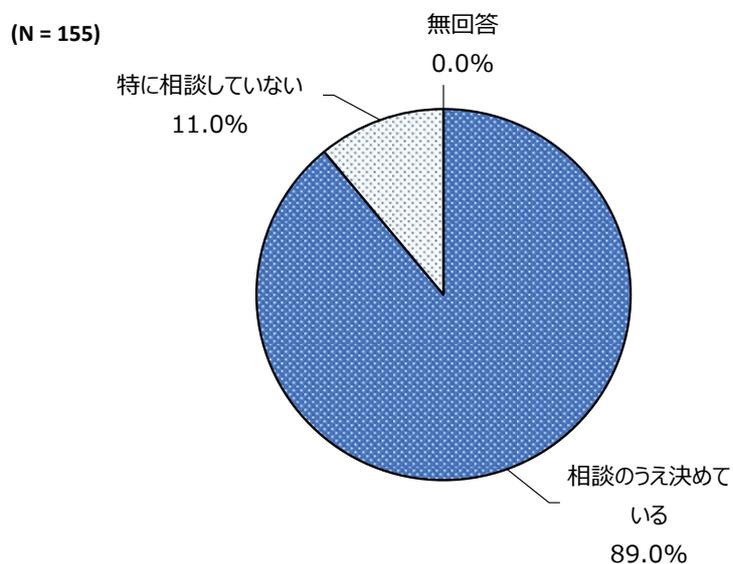
(N = 860)



(3) がん治療中の従業員の就労について、本人と相談のうえで業務内容を決めているか

「相談のうえ決めている」が89.0%となっている。

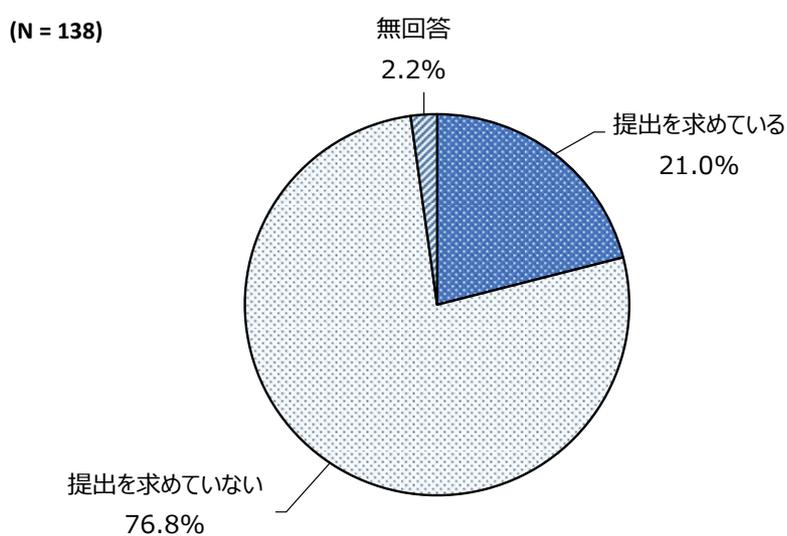
【全体】「相談のうえ決めている」が89.0%、「特に相談していない」が11.0%となっている。



(4) 主治医の意見書等の提出を求めているか

「提出を求めている」が21.0%となっている。

【全体】「提出を求めている」が21.0%、「提出を求めている」が76.8%となっている。



第三章 調査結果の分析 [従業員]

1 がんに対する印象・認識について

(1) がんの印象

「こわいと思う (計)」は男性・30代を除いた性・年代で8割超、「こわいと思わない (計)」は、年代が高いほど回答割合も高くなる傾向がある。

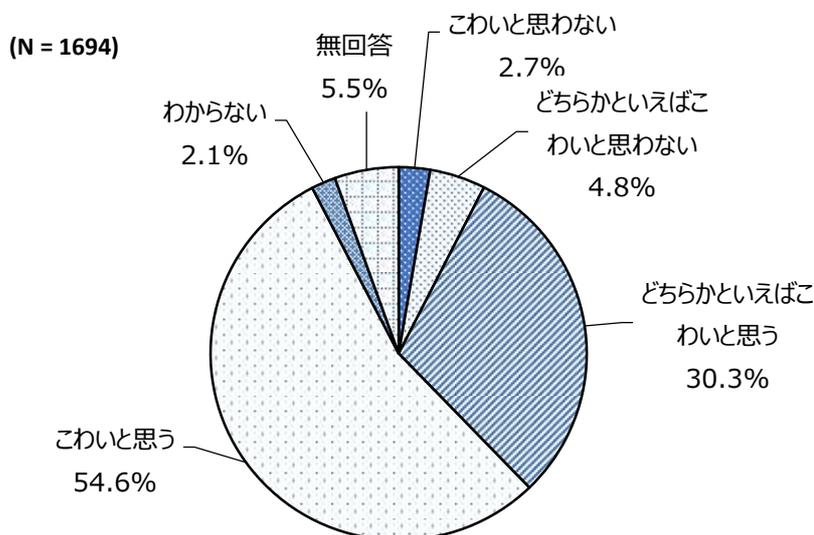
※「こわいと思う (計)」は、「こわいと思う」と「どちらかといえばこわいと思う」を合算したものを。

「こわいと思わない (計)」は、「こわいと思わない」と「どちらかといえばこわいと思わない」を合算したものを。

【全体】「こわいと思う」が54.6%と最も高く、次いで「どちらかといえばこわいと思う」が30.3%、「どちらかといえばこわいと思わない」が4.8%となっている。

【性別】最も差がみられた「こわいと思う」では、女性(58.4%)が男性(50.1%)より8.3ポイント高い。

【性・年代別】「こわいと思う (計)」は男性30代を除いた年代別で8割を超えている。



	全 体	こわいと思わない		こわいと思う		わからない	無回答	こわいと思わない (計)		
		こわいと思わない	どちらかといえばこわいと思わない	どちらかといえばこわいと思う	こわいと思う			こわいと思わない (計)	こわいと思う (計)	
全 体	1694	2.7	4.8	30.3	54.6	2.1	5.5	7.5	84.9	
性・年代別	男性 (計)	704	3.4	6.4	32.1	50.1	2.7	5.3	9.8	82.2
	男性・20代	16	6.3	0.0	12.5	75.0	6.3	0.0	6.3	87.5
	男性・30代	42	2.4	4.8	19.0	57.1	4.8	11.9	7.2	76.1
	男性・40代	262	2.7	3.8	31.7	52.3	3.8	5.7	6.5	84.0
	男性・50代	229	3.9	8.7	30.6	50.2	1.7	4.8	12.6	80.8
	男性・60代以上	152	3.9	8.6	40.8	41.4	1.3	3.9	12.5	82.2
	女性 (計)	980	2.2	3.7	29.2	58.4	1.6	4.9	5.9	87.6
	女性・20代	105	1.9	0.0	21.0	67.6	2.9	6.7	1.9	88.6
	女性・30代	163	1.8	1.8	23.9	63.2	1.8	7.4	3.6	87.1
	女性・40代	311	2.6	3.5	31.5	55.6	1.9	4.8	6.1	87.1
	女性・50代	292	2.4	4.1	31.2	57.2	1.4	3.8	6.5	88.4
	女性・60代以上	103	1.9	7.8	35.0	52.4	0.0	2.9	9.7	87.4

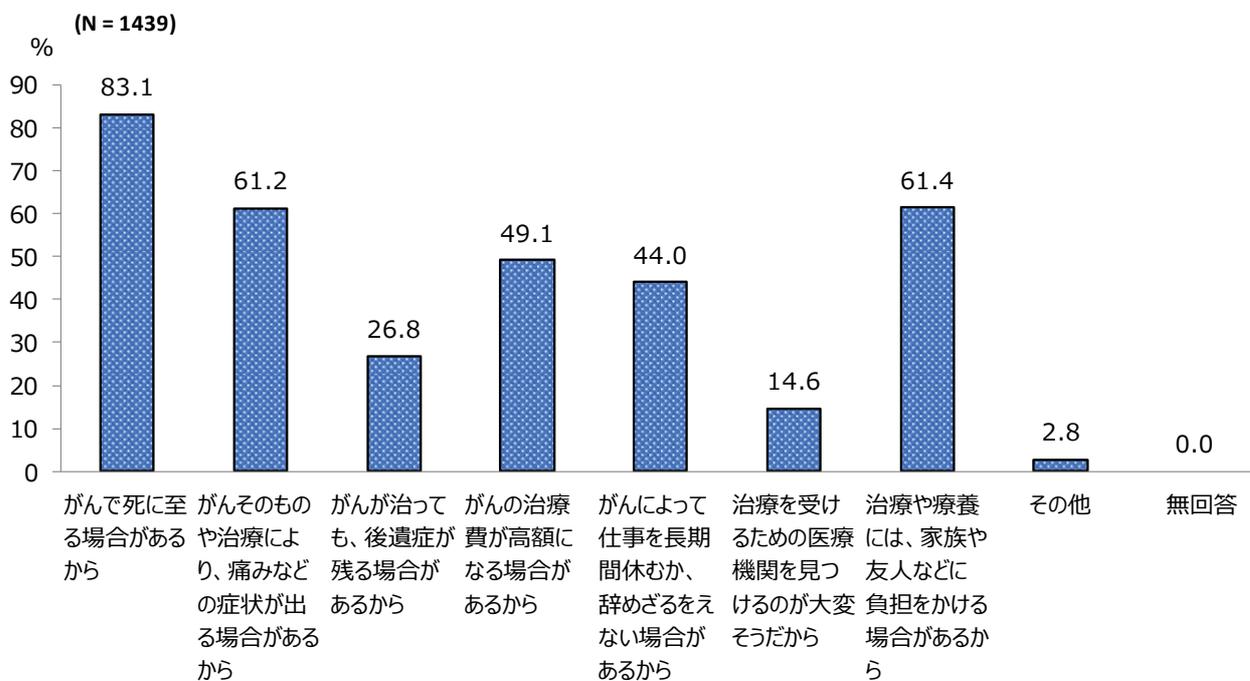
(2) がんをこわいと思う理由

「がんで死に至る場合があるから」が83.1%と最も高く、次いで「治療や療養には、家族や親しい友人などに負担をかける場合があるから」「がんそのものや治療により、痛みなどの症状が出る場合があるから」となっている。

【全体】「がんで死に至る場合があるから」が83.1%と最も高く、次いで「治療や療養には、家族や親しい友人などに負担をかける場合があるから」が61.4%、「がんそのものや治療により、痛みなどの症状が出る場合があるから」が61.2%となっている。

【性別】最も差がみられた「がんそのものや治療により、痛みなどの症状が出る場合があるから」では、女性（65.7%）が男性（54.7%）より11.0ポイント高い。

【性・年代別】いずれの性・年代でも「がんで死に至る場合があるから」が最も高く、60代以上を除いて8割を超えている。次いで男性ではいずれの年代でも「治療や療養には、家族や友人などに負担をかける場合があるから」が高く、女性の20代と50代以上では「がんそのものや治療により、痛みなどの症状が出る場合があるから」が高く、女性の30代と40代では「治療や療養には、家族や友人などに負担をかける場合があるから」が高くなっている。



	全体	がんで死に至る場合があるから	がんそのものや治療により、痛みなどの症状が出る場合があるから	がんが治っても、後遺症が残る場合があるから	がんの治療費が高額になる場合があるから	がんによって仕事を長期間休むか、辞めざるをえない場合があるから	治療を受けるための医療機関を見つけるのが大変そうだから	治療や療養には、家族や友人などに負担をかける場合があるから	その他	無回答	
全体	1439	83.1	61.2	26.8	49.1	44.0	14.6	61.4	2.8	0.0	
性・年代別	男性(計)	579	85.0	54.7	26.6	49.4	43.9	12.8	60.6	2.6	0.0
	男性・20代	14	85.7	35.7	35.7	50.0	35.7	14.3	57.1	0.0	0.0
	男性・30代	32	87.5	53.1	21.9	43.8	43.8	9.4	59.4	6.3	0.0
	男性・40代	220	86.4	53.6	25.9	42.7	42.7	13.6	56.8	2.3	0.0
	男性・50代	185	86.5	59.5	29.2	55.7	47.6	12.4	61.6	2.2	0.0
	男性・60代以上	125	79.2	52.0	24.0	52.0	40.0	12.0	66.4	2.4	0.0
	女性(計)	858	81.8	65.7	27.0	48.8	44.1	15.9	61.8	2.9	0.0
	女性・20代	93	84.9	62.4	24.7	35.5	24.7	8.6	54.8	1.1	0.0
	女性・30代	142	83.1	70.4	28.2	51.4	44.4	16.9	71.1	2.8	0.0
	女性・40代	271	84.9	57.6	20.7	50.2	45.0	14.0	62.7	2.6	0.0
女性・50代	258	80.6	71.7	35.3	53.1	51.2	18.2	60.1	3.5	0.0	
女性・60代以上	90	70.0	67.8	22.2	41.1	40.0	20.0	57.8	4.4	0.0	

2 あなたの「がん検診」の受診状況について

(1) 過去のがん検診受診の有無

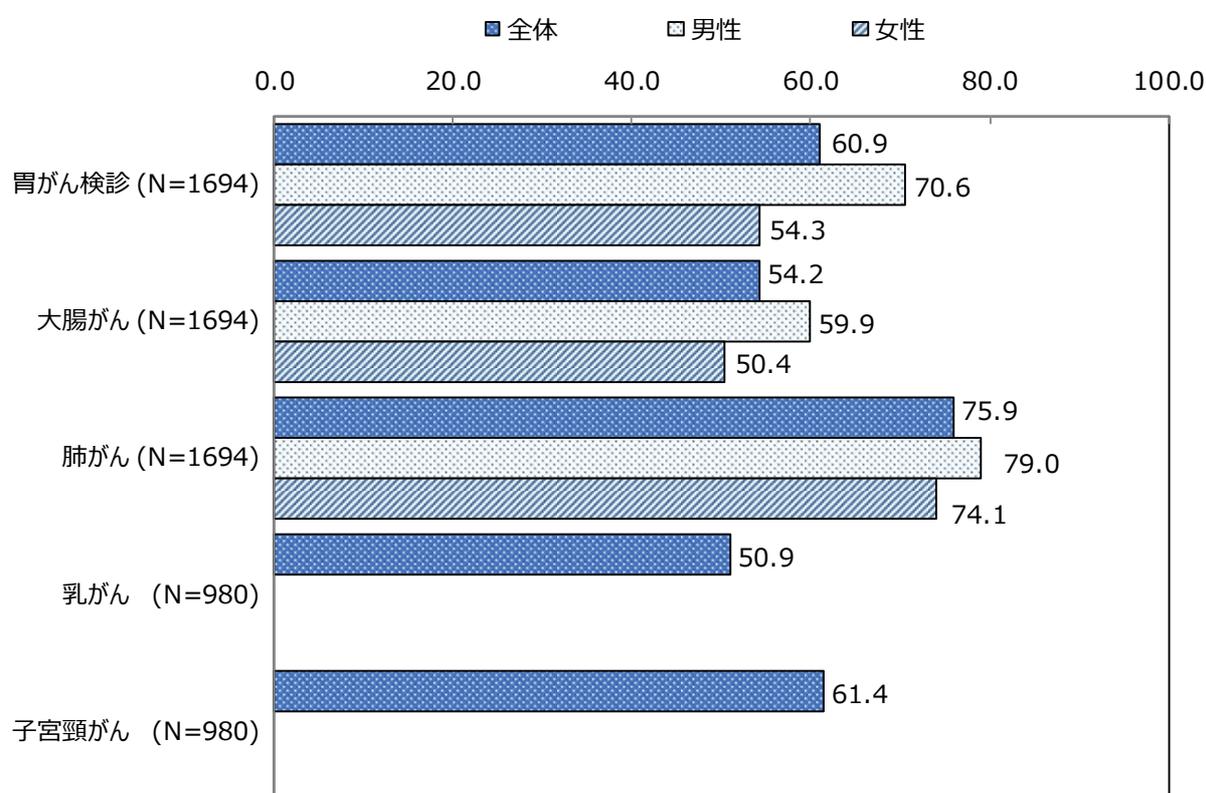
いずれの検診も「受けた」が5割を超えている。

※「大腸がん」、「肺がん」は過去1年間、「胃がん」、「乳がん」、「子宮頸がん」は過去2年間の受診の有無を聞いた。

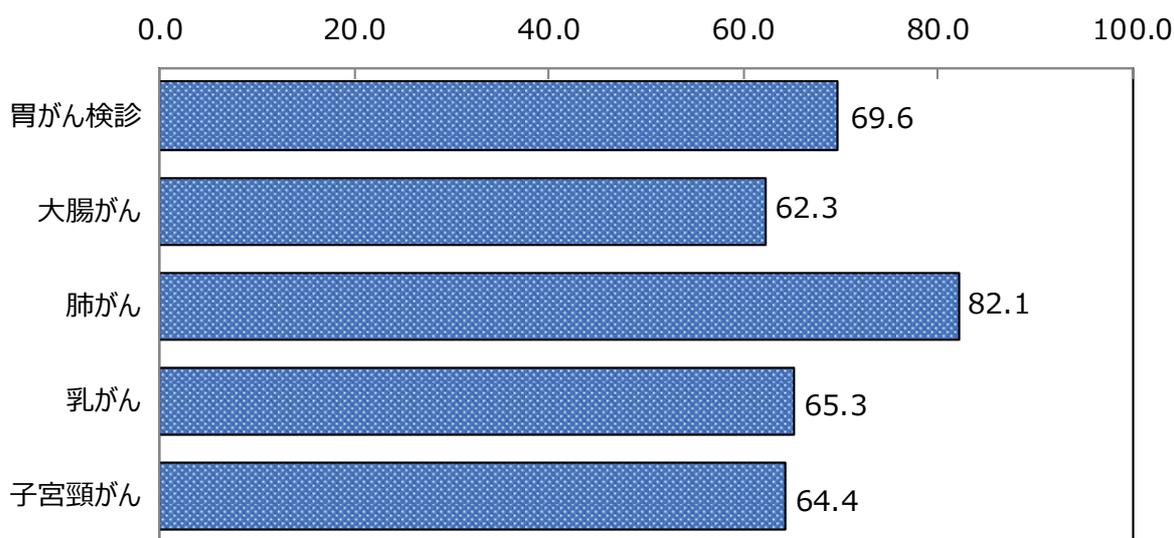
【全体】 いずれの部位も5割以上の者が受診しており、「肺がん検診」が75.9%と最も高くなっている。

【性別】 いずれの部位も、男性が女性より受診した者の割合が高くなっており、最も差がみられた「胃がん検診」では、男性（70.6%）が女性（54.3%）より16.3ポイント高い。

【年代別】 「胃がん検診」、「大腸がん」、「肺がん検診」では年代が高くなるほど、受診した者の割合が高くなっている。「乳がん」、「子宮頸がん」では40代で最も高くなっている。



40歳以上



<部位別のがん検診受診状況（受診したと回答した者の割合）>

(%)

		胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
全体		60.9	54.2	75.9	50.9	61.4
性別	男性	70.6	59.9	79.0		
	女性	54.3	50.4	74.1	50.9	61.4
年代	20代以下	1.7	5.8	38.0	6.7	39.0
	30代	40.0	31.2	59.5	17.8	63.8
	40代	67.4	60.0	80.6	68.5	71.1
	50代	68.7	62.8	81.8	65.4	61.3
	60代以上	76.5	66.3	85.9	55.3	53.4
	40歳以上	69.6	62.3	82.1	65.3	64.4

(2) がん検診を受けた理由

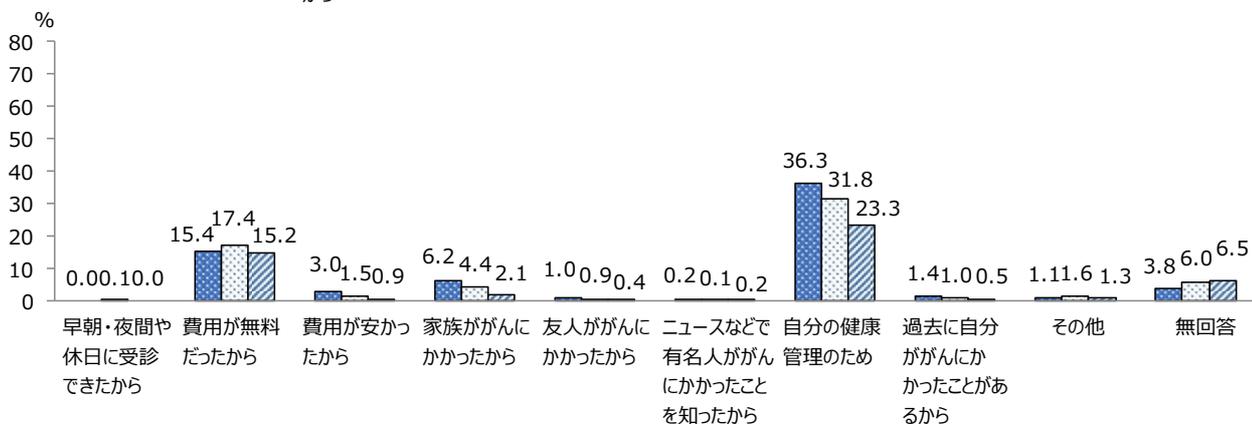
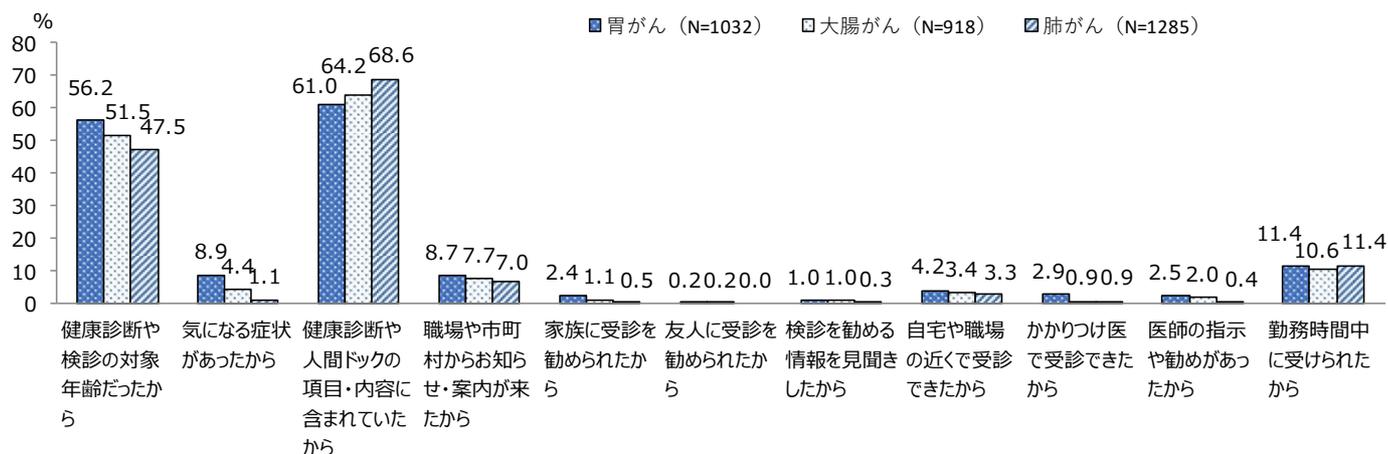
いずれの検診も理由は「健康診断や検診の対象年齢だったから」、「健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていたから」、「自分の健康管理のため」が上位となっている。

【全体】「健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていたから」では、「胃がん検診」と「大腸がん検診」と「肺がん検診」が6割を超えて高くなっている。「乳がん検診」と「子宮頸がん検診」では、「自分の健康管理のため」が4割を超えて高くなっている。

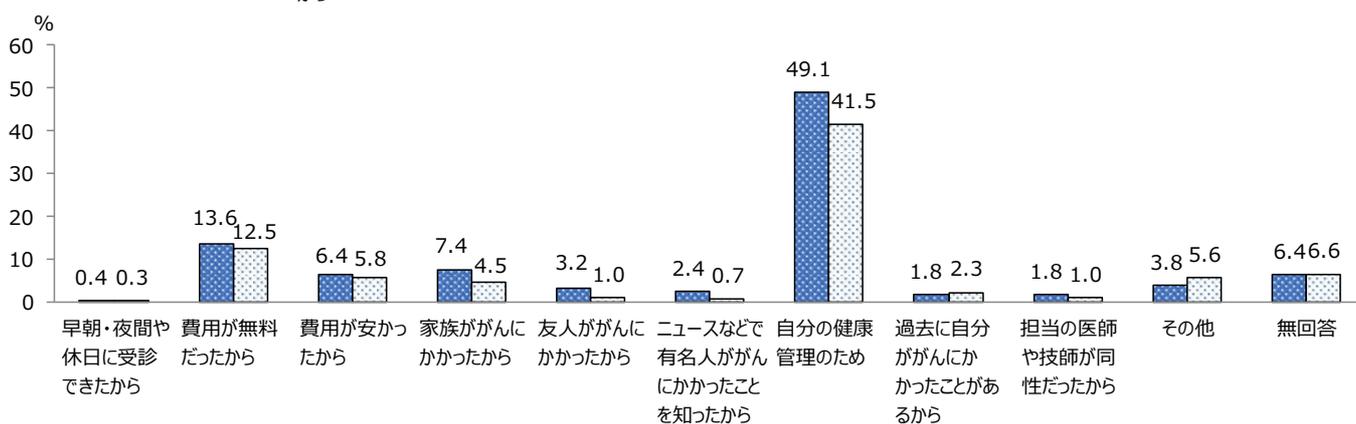
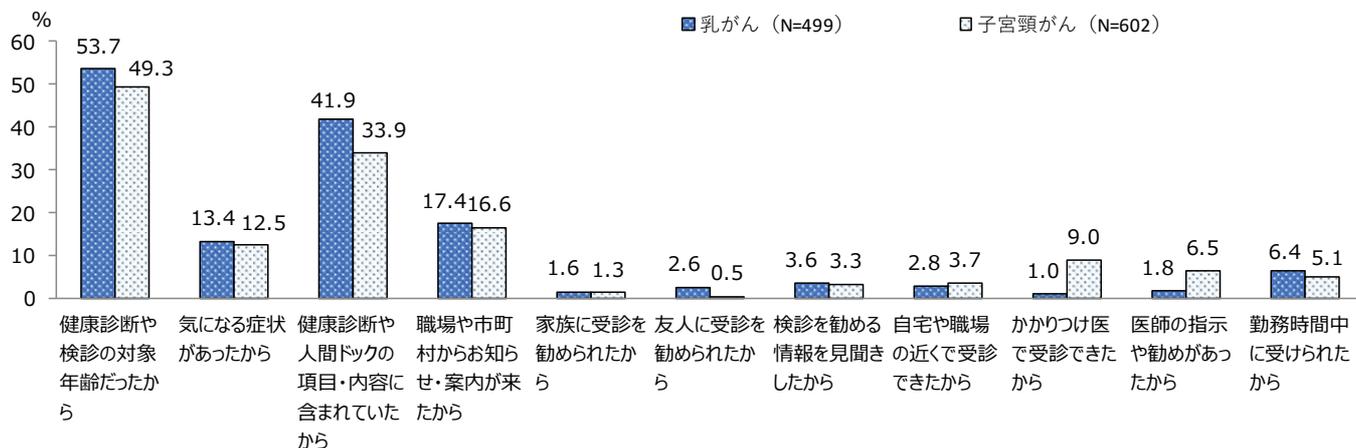
	全 体	健康診断や 検診の対象 年齢だったか ら	健康診断や 人間ドックの 項目・内容に 含まれていた から	自分の健康 管理のため
胃がん検診	1032	56.2	61.0	36.3
大腸がん	918	51.5	64.2	31.8
肺がん	1285	47.5	68.6	23.3
乳がん	499	53.7	41.9	49.1
子宮頸がん	602	49.3	33.9	41.5

受けた理由

<胃がん検診・大腸がん検診・肺がん検診>



<乳がん検診・子宮頸がん検診>



(3) がん検診を受けた理由 そのうち最も大きな理由

検診を受けた最も大きな理由は、「胃がん」、「大腸がん」、「肺がん」では「健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていたから」が高く、「乳がん」と「子宮頸がん」では「自分の健康管理のため」が高い。

【全体】「健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていたから」では、「肺がん検診」が4割半ばを超えて高くなっている。「乳がん検診」と「子宮頸がん検診」では、「自分の健康管理のため」が2割半ばを超えて高くなっている。

	全 体	健康診断や 検診の対象 年齢だったか ら	健康診断や 人間ドックの 項目・内容に 含まれていた から	自分の健康 管理のため
胃がん検診	1032	17.5	34.2	19.5
大腸がん	918	17.2	41.3	17.9
肺がん	1285	17.9	48.2	12.6
乳がん	499	15.2	16.0	31.7
子宮頸がん	602	15.9	13.3	26.9

(4) がん検診を受けなかった理由

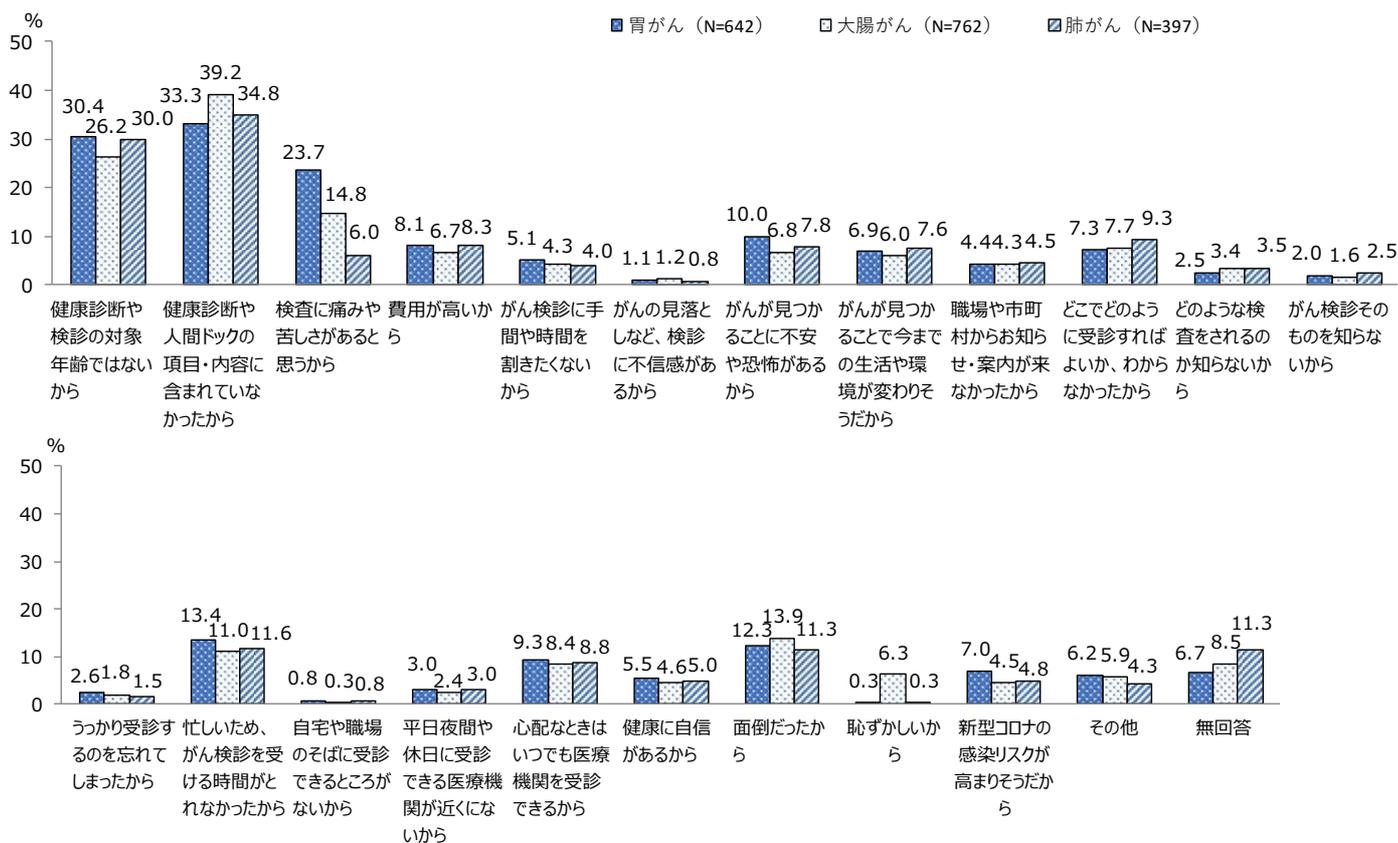
いずれの検診でも「健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていなかったから」が3割超で最も高くなっている。

【全体】いずれの検診でも「健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていなかったから」が最も高く、次いで「子宮頸がん検診」を除き「健康診断や検診の対象年齢ではないから」となっている。「子宮頸がん検診」では「忙しいため、がん検診を受ける時間がとれなかったから」が2位となっている。

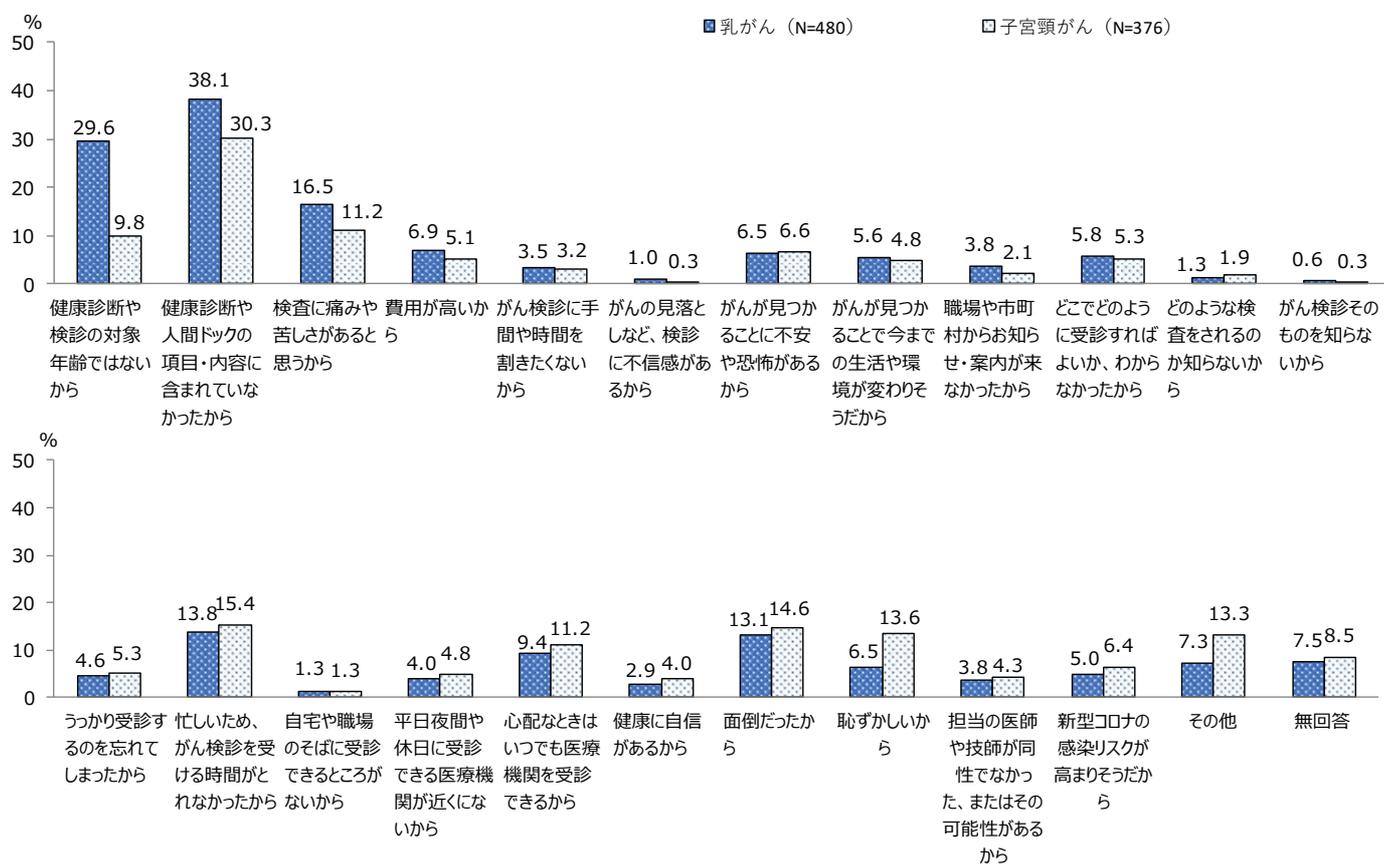
	全 体	健康診断や 検診の対象 年齢ではない から	健康診断や 人間ドックの 項目・内容に 含まれていな かったから	検査に痛みや 苦しさがあると 思うから	面倒だったか ら
胃がん検診	642	30.4	33.3	23.7	12.3
大腸がん	762	26.2	39.2	14.8	13.9
肺がん	397	30.0	34.8	6.0	11.3
乳がん	480	29.6	38.1	16.5	13.1
子宮頸がん	376	9.8	30.3	11.2	14.6

受けなかった理由

<胃がん検診・大腸がん検診・肺がん検診>



<乳がん検診・子宮頸がん検診>



(5) がん検診を受けなかった理由 そのうち最も大きな理由

検診を受けなかった最も大きな理由は、「胃がん検診」と「乳がん検診」では「健康診断や検診の対象年齢ではないから」、他の検診では「健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていなかったから」が最も高くなっている。

【全体】「胃がん検診」と「乳がん検診」では「健康診断や検診の対象年齢ではないから」が2割前後で最も高く、他の検診では「健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていなかったから」が最も高くなっている。「胃がん検診」では「検査に痛みや苦しさがあると思うから」が唯一1割を超え、高くなっている。

	全 体	健康診断や 検診の対象 年齢ではない から	健康診断や 人間ドックの 項目・内容に 含まれていな かったから	検査に痛みや 苦しさがある と思うから	心配なときは いつでも医療 機関を受診 できるから	面倒だったか ら
胃がん検診	642	21.3	15.0	12.1	4.5	4.0
大腸がん	762	18.1	23.4	6.7	4.3	5.2
肺がん	397	21.2	22.9	1.8	5.5	4.0
乳がん	480	20.2	18.8	9.0	4.8	5.6
子宮頸がん	376	6.6	19.4	5.3	5.3	6.9

(6) がん検診を受けた機会

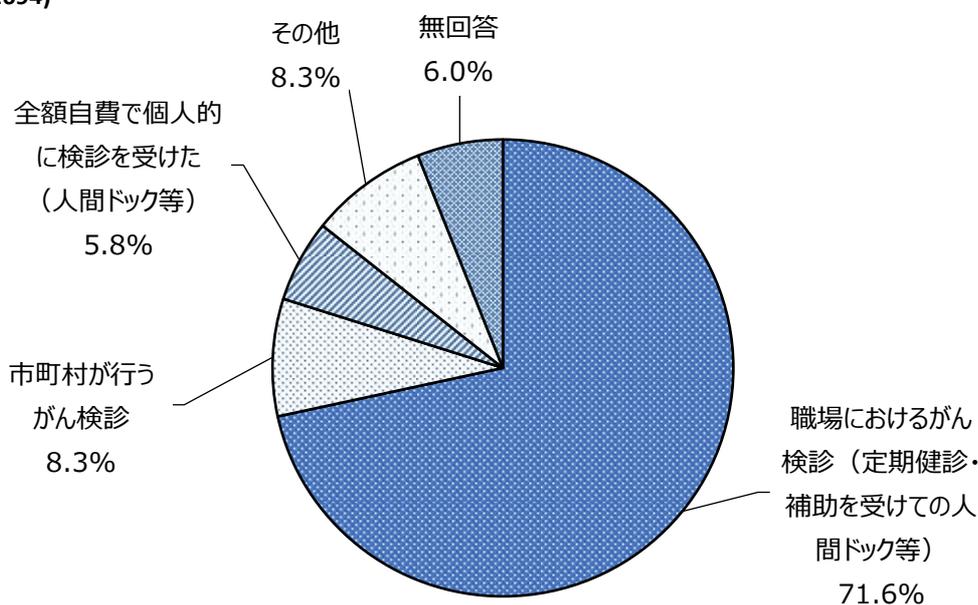
「職場におけるがん検診（定期健診・補助を受けての人間ドック等）」が71.6%と最も高くなっている。

【全体】「職場におけるがん検診（定期健診・補助を受けての人間ドック等）」が71.6%と最も高く、次いで「市町村が行うがん検診」が8.3%、「全額自費で個人的に検診を受けた（人間ドック等）」が5.8%となっている。

【性別】最も差がみられた「職場におけるがん検診（定期健診・補助を受けての人間ドック等）」では、男性（77.8%）が女性（67.6%）より10.2ポイント高い。

【性・年代別】男性20代を除いた性・年代で、「職場におけるがん検診（定期健診・補助を受けての人間ドック等）」が最も高く、男性20代では「その他」が最も高くなっている。「その他」のコメントは「受けていない」が5件であった。

(N = 1694)



	全 体	職場における がん検診 （定期健診・ 補助を受けて の人間ドック 等）	市町村が行う がん検診	全額自費で 個人的に検 診を受けた （人間ドック 等）	その他	無回答	
全 体	1694	71.6	8.3	5.8	8.3	6.0	
性 ・ 年 代 別	男性（計）	704	77.8	2.7	4.7	9.2	5.5
	男性・20代	16	37.5	0.0	0.0	50.0	12.5
	男性・30代	42	59.5	0.0	2.4	28.6	9.5
	男性・40代	262	80.5	0.8	5.7	9.2	3.8
	男性・50代	229	82.1	3.5	1.7	6.1	6.6
	男性・60代以上	152	76.3	5.9	8.6	4.6	4.6
	女性（計）	980	67.6	12.4	6.6	7.8	5.6
	女性・20代	105	54.3	10.5	2.9	24.8	7.6
	女性・30代	163	61.3	11.7	9.2	12.3	5.5
	女性・40代	311	72.3	13.8	5.1	5.1	3.5
	女性・50代	292	70.2	12.3	7.5	3.8	6.2
	女性・60代以上	103	68.0	11.7	8.7	2.9	8.7

(7) がん検診を受けた場所

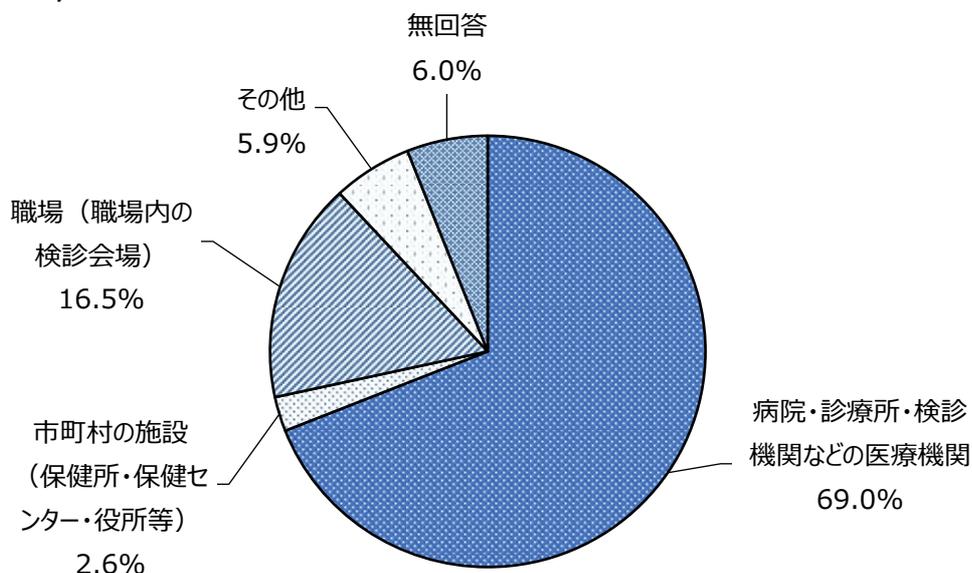
「病院・診療所・検診機関などの医療機関」が69.0%と最も高くなっている。

【全体】「病院・診療所・検診機関などの医療機関」が69.0%と最も高く、次いで「職場（職場内の検診会場）」が16.5%、「市町村の施設（保健所・保健センター・役所等）」が2.6%となっている。

【性別】最も差がみられた「病院・診療所・検診機関などの医療機関」では、女性（74.2%）が男性（62.4%）より11.8ポイント高い。

【性・年代別】「病院・診療所・検診機関などの医療機関」では、男性・の60代以上と女性の30代以上で7割を超えている。女性20代では「その他」が21.0%と他の年代と比較して高く、コメントは「受けていない」が17件、「郵送キット」が1件であった。

(N = 1694)



	全 体	病院・診療所・検診機関などの医療機関	市町村の施設（保健所・保健センター・役所等）	職場（職場内の検診会場）	その他	無回答	
全 体	1694	69.0	2.6	16.5	5.9	6.0	
性・年代別	男性（計）	704	62.4	1.6	21.3	8.2	6.5
	男性・20代	16	25.0	0.0	12.5	43.8	18.8
	男性・30代	42	47.6	0.0	14.3	28.6	9.5
	男性・40代	262	62.6	2.7	20.6	8.8	5.3
	男性・50代	229	61.6	0.4	25.3	5.2	7.4
	男性・60代以上	152	71.1	2.0	19.7	2.6	4.6
	女性（計）	980	74.2	3.4	13.2	4.3	5.0
	女性・20代	105	48.6	7.6	13.3	21.0	9.5
	女性・30代	163	74.2	1.8	12.9	4.9	6.1
	女性・40代	311	78.5	2.9	13.5	2.3	2.9
	女性・50代	292	77.1	4.1	13.0	1.4	4.5
	女性・60代以上	103	77.7	1.0	13.6	1.0	6.8

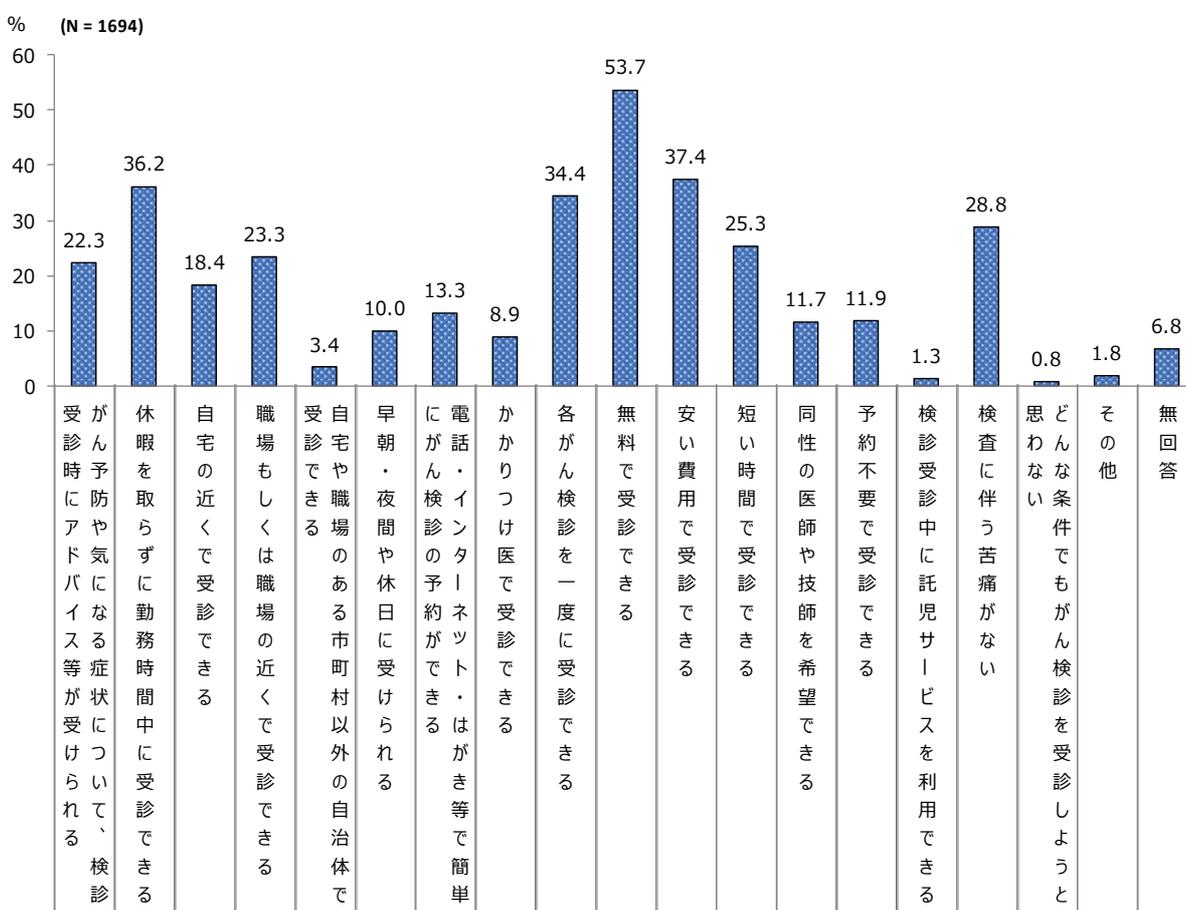
(8) がん検診を受けたいと思うきっかけ

「無料で受診できる」が53.7%と最も高く、次いで「安い費用で受診できる」「休暇を取らずに勤務時間中に受診できる」となっている。

【全体】「無料で受診できる」が53.7%と最も高く、次いで「安い費用で受診できる」が37.4%、「休暇を取らずに勤務時間中に受診できる」が36.2%となっている。

【性別】最も差がみられた「同性の医師や技師を希望できる」では、女性(19.9%)が男性(0.4%)より19.5ポイント高い。

【性・年代別】女性60代以上を除いた性・年代では「無料で受診できる」が最も高く、女性60代以上では各がん検診を一度に受診できるが最も高くなっている。また、「電話・インターネット・はがき等で簡単にがん検診の予約ができる」、「各がん検診を一度に受診できる」、「安い費用で受診できる」、「同性の医師や技師を希望できる」ではすべての年代で男性より女性が高くなっている。



全体		1694	22.3	36.2	18.4	23.3	3.4	10.0	13.3	8.9	34.4	53.7	37.4	25.3	11.7	11.9	1.3	28.8	0.8	1.8	6.8
性・年代別	男性(計)	704	23.4	34.5	17.8	27.4	3.0	8.7	7.2	8.9	29.4	51.8	35.2	24.6	0.4	9.2	0.4	22.3	1.0	1.8	6.5
	男性・20代	16	12.5	18.8	31.3	25.0	6.3	12.5	12.5	12.5	0.0	56.3	31.3	37.5	0.0	12.5	0.0	18.8	6.3	12.5	6.3
	男性・30代	42	21.4	31.0	26.2	21.4	2.4	11.9	7.1	4.8	26.2	69.0	42.9	31.0	0.0	11.9	2.4	21.4	0.0	0.0	11.9
	男性・40代	262	22.9	32.8	14.9	22.5	3.1	8.8	8.0	5.3	28.2	53.8	32.4	27.1	0.4	8.8	0.4	26.3	0.4	1.9	5.7
	男性・50代	229	26.6	40.2	18.3	28.8	2.6	10.5	7.0	9.6	33.2	51.1	37.6	23.1	0.4	10.9	0.4	24.9	2.2	1.7	6.1
	男性・60代	152	21.7	31.6	17.8	36.2	3.3	4.6	5.9	15.1	30.3	44.7	34.9	19.1	0.7	6.6	0.0	12.5	0.0	1.3	6.6
	女性(計)	980	21.5	37.6	19.0	20.6	3.7	11.1	17.8	9.0	38.3	55.3	39.3	26.0	19.9	13.9	1.9	33.8	0.6	1.8	6.3
	女性・20代	105	16.2	44.8	17.1	22.9	1.9	10.5	24.8	8.6	28.6	61.9	40.0	27.6	19.0	12.4	3.8	24.8	0.0	1.9	7.6
	女性・30代	163	19.0	43.6	24.5	22.1	4.3	9.8	24.5	11.0	41.1	60.7	46.6	30.1	25.2	13.5	4.9	33.1	0.6	1.2	5.5
	女性・40代	311	16.4	35.4	19.6	19.9	3.9	10.3	15.4	8.7	36.3	59.5	37.3	26.7	19.0	13.5	2.3	35.7	0.6	1.0	6.1
	女性・50代	292	27.4	38.0	18.5	20.2	3.4	12.3	16.4	9.2	40.1	50.7	38.4	25.0	20.5	16.4	0.0	38.7	0.3	3.4	6.2
	女性・60代	103	29.1	24.3	11.7	18.4	4.9	12.6	11.7	6.8	44.7	40.8	36.9	20.4	13.6	8.7	0.0	24.3	1.9	1.0	6.8

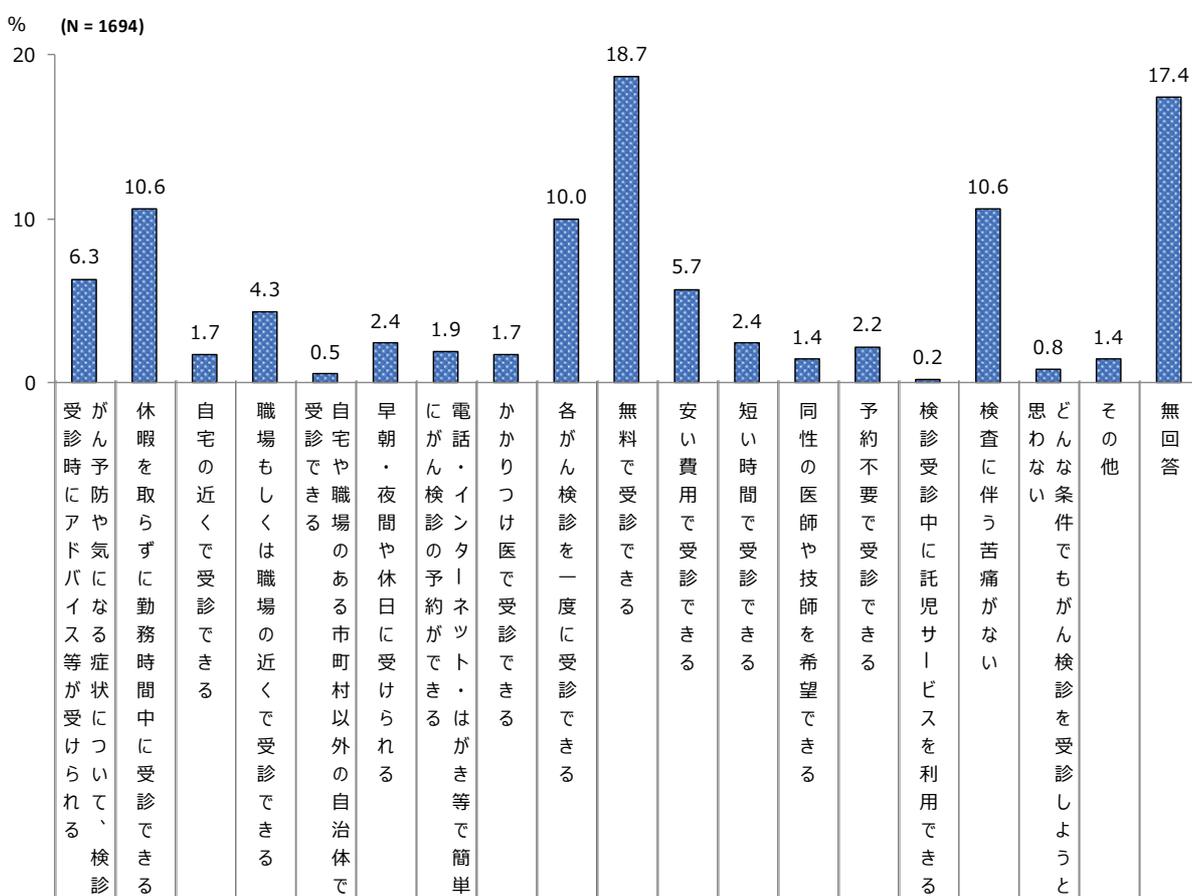
(9) がん検診を受けたいと思うきっかけ そのうち最も大きな理由

「無料で受診できる」が18.7%と最も高く、次いで「休暇を取らずに勤務時間中に受診できる」「検査に伴う苦痛がない」となっている。

【全体】「無料で受診できる」が18.7%と最も高く、次いで「休暇を取らずに勤務時間中に受診できる」が10.6%、「検査に伴う苦痛がない」が10.6%となっている。

【性別】最も差がみられた「検査に伴う苦痛がない」では、女性（13.4%）が男性（7.0%）より6.4ポイント高い。

【性・年代別】女性50代以上を除いた性・年代では「無料で受診できる」が最も高く、女性50代では「検査に伴う苦痛がない」、女性60代以上では「各がん検診を一度に受診できる」が最も高くなっている。また、「電話・インターネット・はがき等で簡単にがん検診の予約ができる」と「同性の医師や技師を希望できる」ではすべての年代で男性より女性が高くなっている。



全体		1694	6.3	10.6	1.7	4.3	0.5	2.4	1.9	1.7	10.0	18.7	5.7	2.4	1.4	2.2	0.2	10.6	0.8	1.4	17.4
性・年代別	全体	1694	6.3	10.6	1.7	4.3	0.5	2.4	1.9	1.7	10.0	18.7	5.7	2.4	1.4	2.2	0.2	10.6	0.8	1.4	17.4
	男性(計)	704	8.1	11.2	2.0	6.5	0.6	1.4	0.7	1.8	9.2	19.9	5.7	2.6	0.0	1.6	0.0	7.0	1.1	1.7	18.9
	男性・20代	16	0.0	6.3	0.0	12.5	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	31.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	18.8
	男性・30代	42	11.9	16.7	4.8	7.1	2.4	0.0	0.0	2.4	2.4	26.2	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	2.4	2.4	0.0	16.7
	男性・40代	262	5.7	12.6	2.3	3.4	0.8	0.8	1.5	0.8	9.9	23.3	4.6	3.4	0.0	0.0	0.0	10.7	0.0	1.9	18.3
	男性・50代	229	10.0	10.0	0.4	7.4	0.4	2.6	0.4	1.3	7.0	16.6	7.0	2.2	0.0	3.1	0.0	5.2	2.2	1.3	22.7
	男性・60代	152	9.2	9.9	3.3	9.9	0.0	0.7	0.0	4.6	14.5	16.4	7.2	2.0	0.0	2.6	0.0	3.9	1.3	1.3	13.2
	女性(計)	980	5.1	10.2	1.4	2.7	0.4	3.1	2.8	1.6	10.5	18.0	5.8	2.2	2.3	2.7	0.3	13.4	0.6	1.2	15.7
	女性・20代	105	4.8	8.6	0.0	1.9	1.0	2.9	4.8	1.9	4.8	32.4	3.8	1.9	2.9	2.9	1.9	7.6	1.0	1.0	14.3
	女性・30代	163	2.5	11.7	1.8	1.8	0.0	1.8	5.5	1.8	6.1	22.1	8.0	2.5	3.1	0.6	0.6	17.8	0.6	1.2	10.4
	女性・40代	311	4.2	10.6	1.0	4.2	0.3	3.5	1.9	1.3	7.1	19.6	5.5	2.6	2.6	3.2	0.0	11.6	0.3	1.0	19.6
	女性・50代	292	6.8	10.3	2.1	1.4	0.3	3.1	2.1	1.7	14.7	12.0	6.5	2.4	2.1	3.1	0.0	16.8	0.7	2.1	12.0
女性・60代	103	7.8	7.8	1.9	2.9	1.0	3.9	1.0	1.9	22.3	7.8	3.9	1.0	1.0	2.9	0.0	7.8	1.0	0.0	24.3	

3 がん検診の受診を勧める情報について

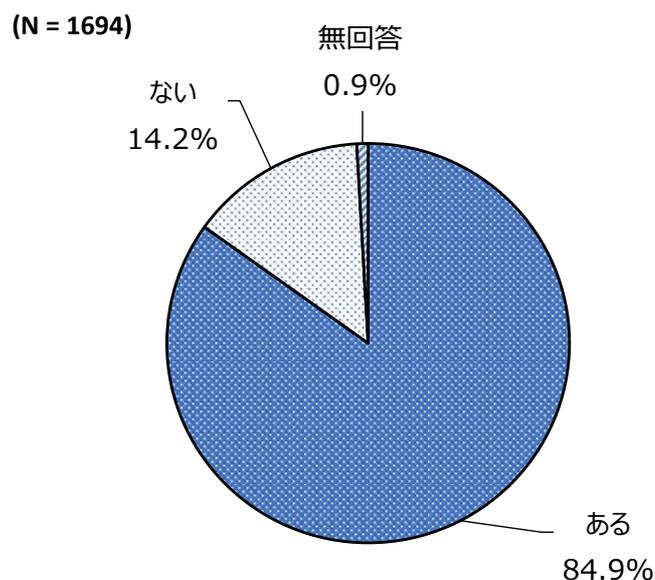
(1) がん検診の受診を勧める情報を見聞きした経験

「ある」が84.9%となっている。

【全体】「ある」は84.9%、「ない」は14.2%であった。

【性別】「ある」では、女性が9割を超え、女性（90.7%）が男性（77.4%）より13.3ポイント高い。

【性・年代別】すべての性・年代で「ある」が5割を超えている一方で、男女ともに年代が低いほど「ない」と回答した割合が高い傾向がみられた。



	全体	ある	ない	無回答	
全体	1694	84.8	14.2	0.9	
性・年代別	男性（計）	704	77.4	21.9	0.7
	男性・20代	16	56.3	43.8	0.0
	男性・30代	42	54.8	42.9	2.4
	男性・40代	262	72.5	27.1	0.4
	男性・50代	229	82.5	16.6	0.9
	男性・60代以上	152	87.5	12.5	0.0
	女性（計）	980	90.7	8.9	0.4
	女性・20代	105	83.8	16.2	0.0
	女性・30代	163	89.6	10.4	0.0
	女性・40代	311	89.1	10.6	0.3
	女性・50代	292	93.8	5.5	0.7
	女性・60代以上	103	95.1	3.9	1.0

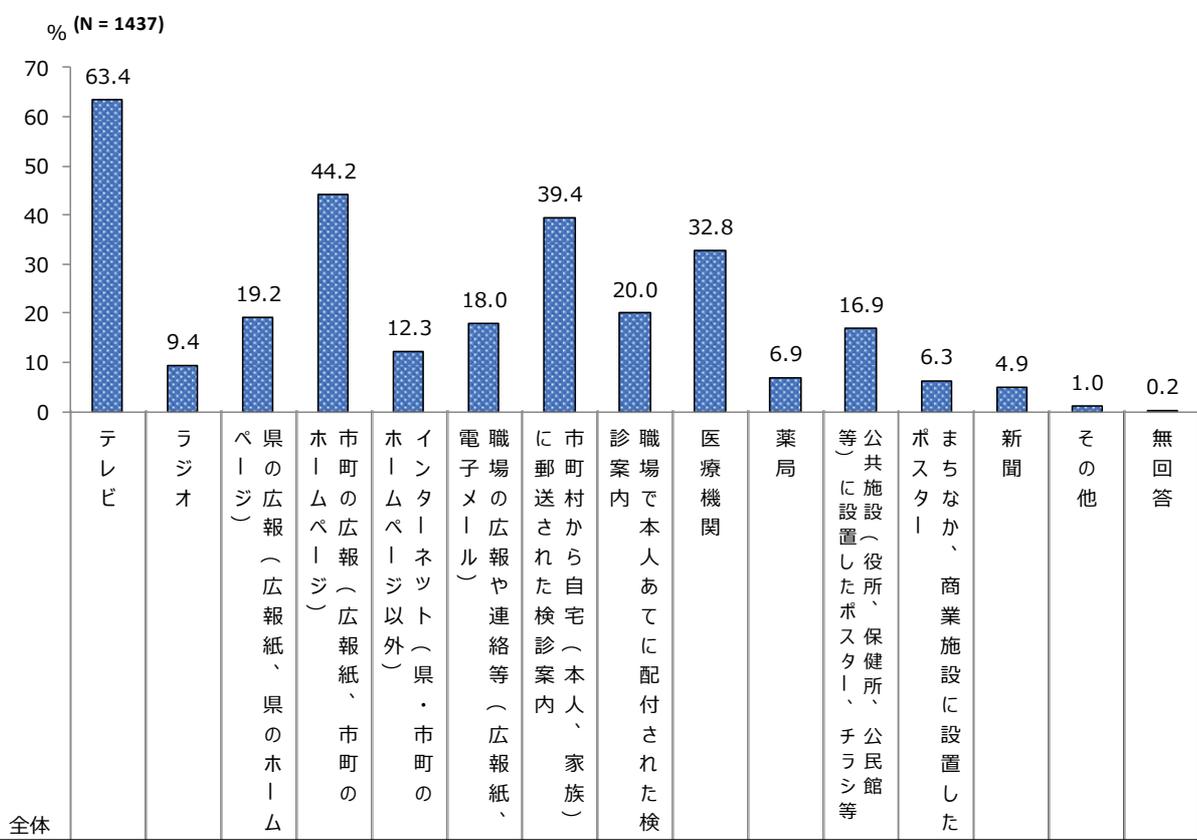
(2) がん検診の受診を勧める情報をどこで見聞きしたか

「テレビ」が63.4%と最も高く、次いで「市町の広報（広報紙、市町のホームページ）」「市町村から自宅（本人・家族）に郵送された検診案内」となっている。

【全体】「テレビ」が63.4%と最も高く、次いで「市町の広報（広報紙、市町のホームページ）」が44.2%、「市町村から自宅（本人・家族）に郵送された検診案内」が39.4%となっている。

【性別】最も差がみられた「市町村から自宅（本人・家族）に郵送された検診案内」では、女性（47.5%）が男性（26.4%）より21.1ポイント高い。

【性・年代別】男性60代以上を除いた性・年代で「テレビ」が最も高く、男性60代以上では「市町の広報（広報紙、市町のホームページ）」が最も高くなっている。また、「ラジオ」と「職場の広報や連絡等（広報紙、電子メール）」ではすべての年代で女性より男性が高く、「市町村から自宅（本人、家族）に郵送された検診案内」ではすべての年代で男性より女性が高くなっている。



		全体	テレビ	ラジオ	県の広報（広報紙、県のホームページ）	市町の広報（広報紙、市町のホームページ）	ホームページ（県・市町のホームページ以外）	電子メール	職場の広報や連絡等（広報紙、電子メール）	市町村から自宅（本人、家族）に郵送された検診案内	職場で本人あてに配付された検診案内	医療機関	薬局	公共施設（役所、保健所、公民館等に設置したポスター、チラシ等）	ポスター、商業施設に設置した	新聞	その他	無回答
全体	1437	63.4	9.4	19.2	44.2	12.3	18.0	39.4	20.0	32.8	6.9	16.9	6.3	4.9	1.0	0.2		
性・年代別	男性（計）	545	60.4	13.2	19.1	38.9	13.2	20.6	26.4	17.1	29.2	5.0	15.8	3.9	4.2	0.4	0.0	
	男性・20代	9	77.8	44.4	0.0	11.1	44.4	11.1	0.0	11.1	44.4	22.2	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0	
	男性・30代	23	73.9	13.0	17.4	21.7	8.7	17.4	8.7	0.0	26.1	13.0	21.7	13.0	4.3	0.0	0.0	
	男性・40代	190	63.7	12.6	16.3	28.9	17.4	17.9	21.1	15.3	28.4	5.8	14.2	4.2	4.7	0.0	0.0	
	男性・50代	189	60.3	16.9	19.0	40.2	12.7	26.5	27.0	20.1	32.8	3.7	18.0	3.7	5.3	1.1	0.0	
	男性・60代	133	51.9	6.0	24.8	56.4	6.8	17.3	38.3	18.8	24.1	3.0	12.8	1.5	2.3	0.0	0.0	
	女性（計）	889	65.2	7.0	19.1	47.4	11.8	16.5	47.5	21.7	35.1	8.1	17.7	7.9	5.4	1.5	0.3	
	女性・20代	88	62.5	5.7	11.4	28.4	20.5	10.2	46.6	9.1	31.8	13.6	20.5	11.4	0.0	2.3	0.0	
	女性・30代	146	69.9	11.0	22.6	45.2	13.7	17.1	51.4	20.5	44.5	11.6	17.1	11.0	3.4	1.4	0.0	
	女性・40代	277	60.6	7.6	16.2	49.5	11.9	15.5	50.2	19.5	33.6	7.2	20.2	7.9	5.1	1.1	0.4	
	女性・50代	274	67.9	5.5	24.8	51.5	9.5	20.1	44.5	26.3	36.1	8.0	17.5	7.3	7.7	1.8	0.4	
	女性・60代	98	65.3	4.1	14.3	50.0	8.2	15.3	41.8	27.6	26.5	1.0	9.2	2.0	8.2	1.0	1.0	

(3) がん検診の受診を勧める情報を見聞きした後の受診意向

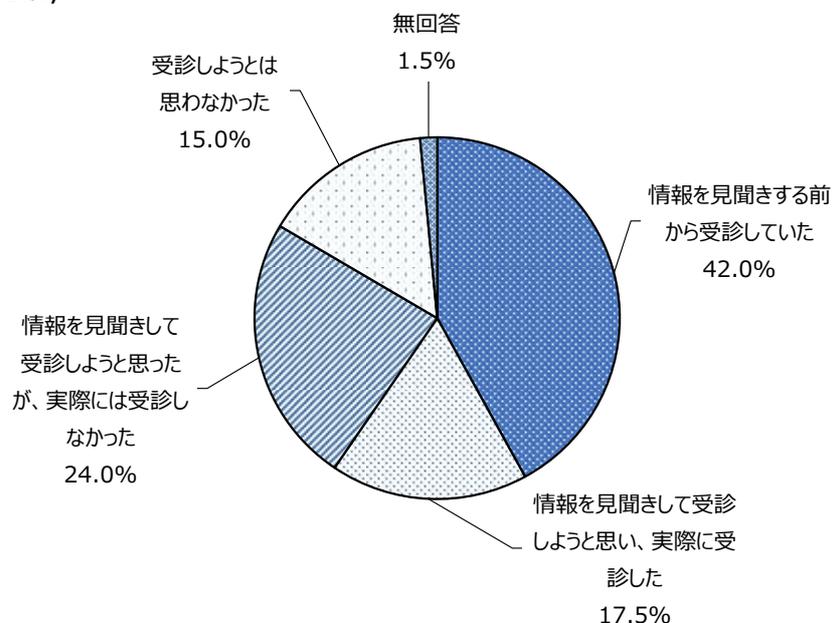
「情報を見聞きして受診しようと思ひ、実際に受診した」が17.5%となっている。

【全体】「情報を見聞きする前から受診していた」が42.0%と最も高く、次いで「情報を見聞きして受診しようと思ひたが、実際には受診しなかつた」が24.0%、「情報を見聞きして受診しようと思ひ、実際に受診した」が17.5%となっている。

【性別】最も差がみられた「受診しようと思ひなかつた」では、男性（20.9%）が女性（11.2%）より9.7ポイント高い。

【性・年代別】男女ともに40代以上では「情報を見聞きする前から受診していた」が最も高く、男性の20代と30代では「受診しようと思ひなかつた」、女性の20代と30代では「情報を見聞きして受診しようと思ひたが、実際には受診しなかつた」がそれぞれ最も高くなっている。「情報を見聞きする前から受診していた」では、年代が低いほど回答率が低い傾向がみられた。また、「受診しようと思ひなかつた」ではすべての年代で女性より男性が高く、「情報を見聞きして受診しようと思ひ、実際に受診した」ではすべての年代で男性より女性が高くなっている。

(N = 1437)



	全 体	情報を見聞きする前から受診していた	情報を見聞きして受診しようと思ひ、実際に受診した	情報を見聞きして受診しようと思ひたが、実際には受診しなかつた	受診しようと思ひなかつた	無回答	
全 体	1437	42.0	17.5	24.0	15.0	1.5	
性・年代別	男性（計）	545	45.1	12.7	20.7	20.9	0.6
	男性・20代	9	11.1	11.1	22.2	55.6	0.0
	男性・30代	23	13.0	13.0	17.4	56.5	0.0
	男性・40代	190	38.9	11.6	21.1	27.9	0.5
	男性・50代	189	48.1	13.2	23.8	13.8	1.1
	男性・60代以上	133	57.9	13.5	16.5	12.0	0.0
	女性（計）	889	40.2	20.5	26.1	11.2	2.0
	女性・20代	88	11.4	12.5	45.5	30.7	0.0
	女性・30代	146	30.1	21.9	34.2	11.0	2.7
	女性・40代	277	42.2	22.4	24.9	8.7	1.8
	女性・50代	274	49.3	21.9	18.2	9.1	1.5
	女性・60代以上	98	51.0	15.3	21.4	8.2	4.1

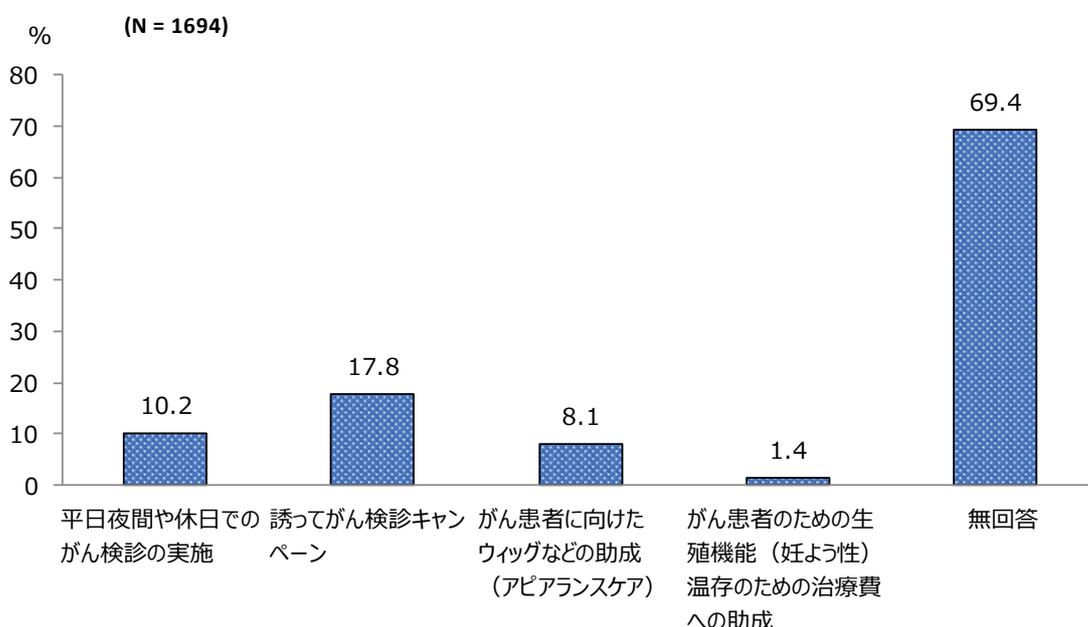
(4) 県のがん対策の取組について

「誘ってがん検診キャンペーン」が17.8%となっている。

【全体】「誘ってがん検診キャンペーン」が17.8%と最も高く、次いで「平日夜間や休日でのがん検診の実施」が10.2%、「がん患者に向けたウィッグなどの助成（アピランスケア）」が8.1%となっている。

【性別】最も差がみられた「誘ってがん検診キャンペーン」では、女性（21.4%）が男性（12.9%）より8.5ポイント高い。

【性・年代別】「誘ってがん検診キャンペーン」は女性の30代から50代で2割超と、他の性・年代と比べて高くなっている。「平日夜間や休日でのがん検診の実施」では、男性30代と女性40代以下で1割以下となっている。また、「がん患者に向けたウィッグなどの助成（アピランスケア）」ではすべての年代で男性より女性が高くなっている。



	全 体	平日夜間や休日でのがん検診の実施	誘ってがん検診キャンペーン	がん患者に向けたウィッグなどの助成 (アピランスケア)	がん患者のための生殖機能 (妊よう性) 温存のための治療費への助成	無回答	
全 体	1694	10.2	17.8	8.1	1.4	69.4	
性・年代別	男性 (計)	704	11.1	12.9	5.3	0.9	74.0
	男性・20代	16	12.5	0.0	0.0	0.0	87.5
	男性・30代	42	9.5	9.5	2.4	0.0	81.0
	男性・40代	262	10.7	10.3	5.3	1.1	76.7
	男性・50代	229	11.4	13.5	5.7	0.4	71.6
	男性・60代以上	152	11.8	19.1	5.9	1.3	69.1
	女性 (計)	980	9.6	21.4	10.3	1.8	65.8
	女性・20代	105	2.9	11.4	4.8	1.0	81.0
	女性・30代	163	9.8	22.7	5.5	0.6	66.3
	女性・40代	311	8.7	25.1	11.9	1.9	62.7
	女性・50代	292	11.3	22.9	12.0	2.4	63.0
	女性・60代以上	103	13.6	13.6	13.6	1.9	67.0

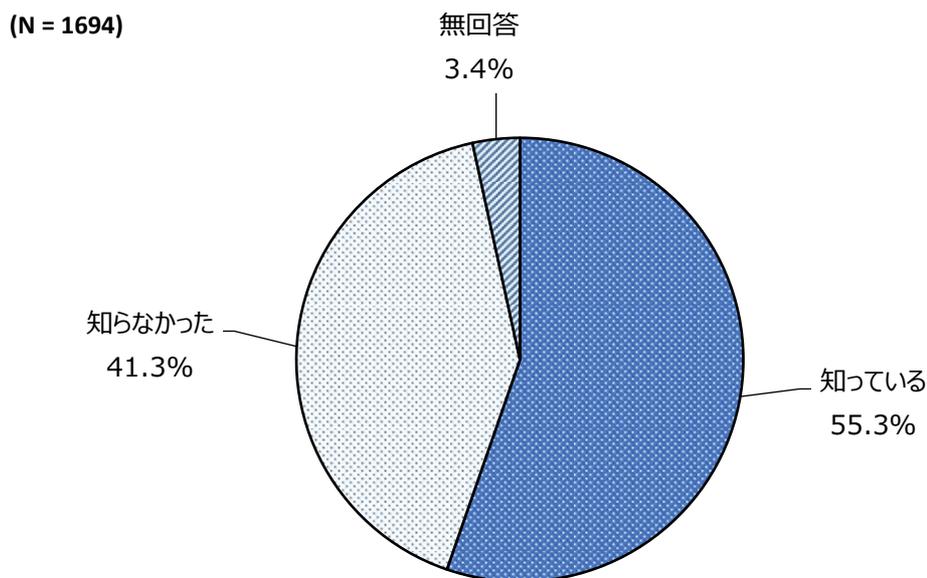
4 国が推奨するがん検診について

「知っている」が過半数となっている。

【全体】「知っている」は55.3%、「知らなかった」は41.3%であった。

【性別】「知っている」では、女性（63.3%）が男性（44.7%）より18.6ポイント高い。

【性・年代別】「知っている」はすべての年代で男性より女性が高く、女性30代以上では6割を超えている。



		全 体	知っている	知らなかった	無回答
全 体		1694	55.3	41.3	3.4
性・年代別	男性（計）	704	44.7	52.1	3.1
	男性・20代	16	31.3	50.0	18.8
	男性・30代	42	21.4	73.8	4.8
	男性・40代	262	37.0	60.7	2.3
	男性・50代	229	53.3	42.8	3.9
	男性・60代以上	152	53.9	44.7	1.3
	女性（計）	980	63.3	33.8	3.0
	女性・20代	105	48.6	51.4	0.0
	女性・30代	163	60.1	38.0	1.8
	女性・40代	311	65.3	32.8	1.9
	女性・50代	292	66.8	28.1	5.1
	女性・60代以上	103	67.0	28.2	4.9

5 仕事と治療の両立について

(1) 職場はがんの治療や検査をしながら働き続けられる環境か

「そう思う（計）」は全体で6割超となっている。

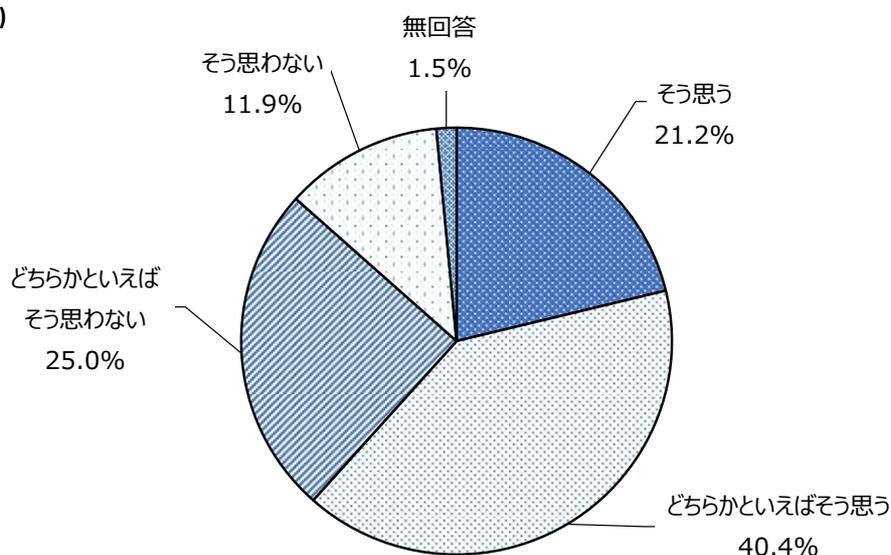
※「そう思う（計）」は、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合算したものの。

【全体】「どちらかといえばそう思う」が40.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が25.0%、「そう思う」が21.2%となっている。

【性別】「そう思う（計）」は、男性（64.2%）が女性（60.3%）より3.9ポイント高い。

【性・年代別】すべての年代で「そう思う（計）」が高く、特に男性20代で81.3%と、唯一8割を超えて高くなっている。また「そう思う（計）」は、40代を除いた年代で女性より男性が高くなっている。

(N = 1694)



	全 体	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わな い	そう思わない	無回答	そう思う(計)	そう思わない (計)	
全 体	1694	21.2	40.4	25.0	11.9	1.5	61.6	36.9	
性・ 年 代 別	男性 (計)	704	24.3	39.9	21.3	13.4	1.1	64.2	34.7
	男性・20代	16	25.0	56.3	6.3	12.5	0.0	81.3	18.8
	男性・30代	42	28.6	33.3	21.4	16.7	0.0	61.9	38.1
	男性・40代	262	19.1	39.7	23.7	16.8	0.8	58.8	40.5
	男性・50代	229	27.5	40.6	21.4	9.2	1.3	68.1	30.6
	男性・60代以上	152	27.6	40.1	19.1	11.8	1.3	67.7	30.9
	女性 (計)	980	19.2	41.1	28.0	10.8	0.9	60.3	38.8
	女性・20代	105	11.4	41.0	29.5	17.1	1.0	52.4	46.6
	女性・30代	163	16.6	38.7	33.7	10.4	0.6	55.3	44.1
	女性・40代	311	20.3	45.3	27.0	6.8	0.6	65.6	33.8
	女性・50代	292	19.2	41.1	26.0	13.7	0.0	60.3	39.7
	女性・60代以上	103	29.1	33.0	27.2	8.7	1.9	62.1	35.9

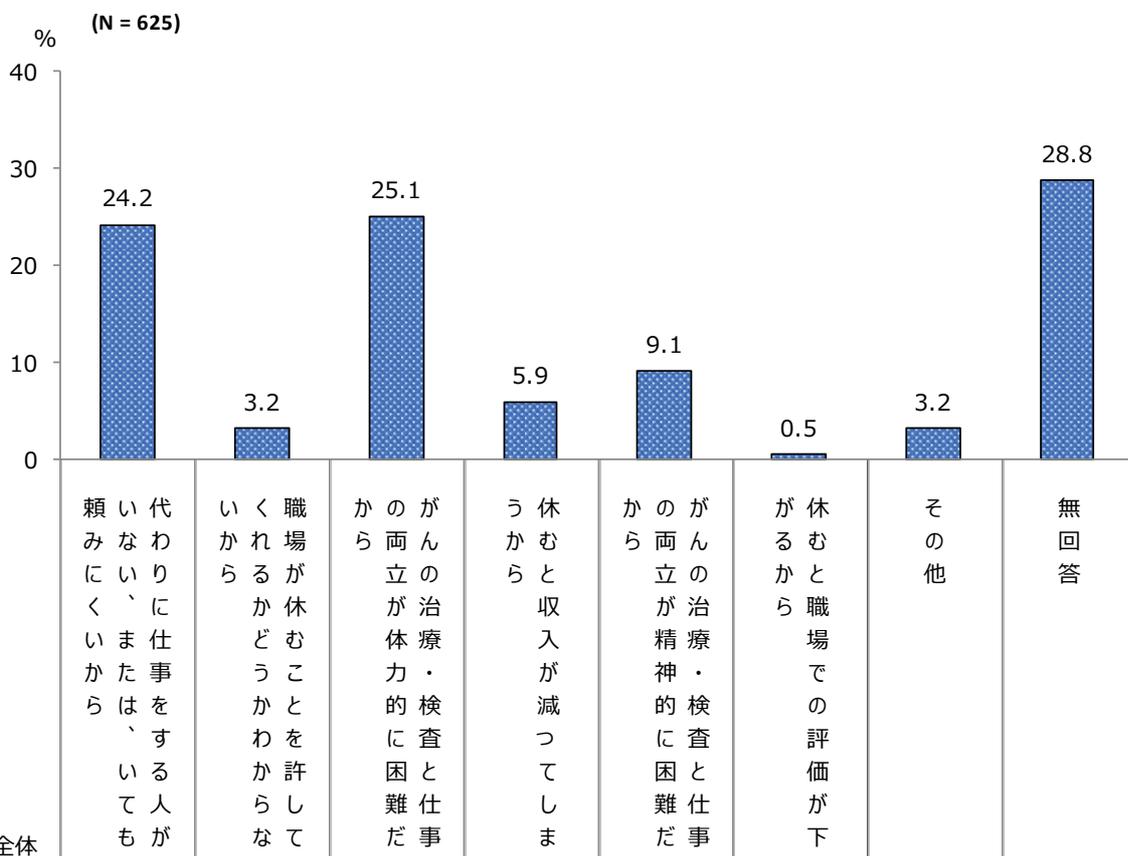
(2) がんの治療や検査をしながら働き続けることを難しくさせている最も大きな理由

「がんの治療・検査と仕事の両立が体力的に困難だから」が25.1%と最も高く、次いで「代わりに仕事をする人がいない、または、いても頼みにくいから」24.2%、「がんの治療・検査と仕事の両立が精神的に困難だから」が9.1%となっている。

【全体】「がんの治療・検査と仕事の両立が体力的に困難だから」が25.1%と最も高く、次いで「代わりに仕事をする人がいない、または、いても頼みにくいから」24.2%、「がんの治療・検査と仕事の両立が精神的に困難だから」が9.1%となっている。

【性別】最も差がみられた「がんの治療・検査と仕事の両立が体力的に困難だから」では、男性（31.6%）が女性（21.1%）より10.5ポイント高い。

【性・年代別】男性30代と女性30代以上では「代わりに仕事をする人がいない、または、いても頼みにくいから」が最も高く、他の性・年代では「がんの治療・検査と仕事の両立が体力的に困難だから」が最も高くなっている。「休むと収入が減ってしまうから」は女性の20代と40代、「がんの治療・検査と仕事の両立が精神的に困難だから」は女性の40代と60代以上で1割超と、他の性・年代と比べて高くなっている。また「がんの治療・検査と仕事の両立が体力的に困難だから」では、すべての年代で女性より男性が高くなっている。



全体		625	24.2	3.2	25.1	5.9	9.1	0.5	3.2	28.8
性・年代別	男性 (計)	244	22.5	2.5	31.6	4.9	7.4	0.4	2.0	28.7
	男性・20代	3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
	男性・30代	16	37.5	6.3	25.0	6.3	6.3	0.0	0.0	18.8
	男性・40代	106	21.7	0.9	32.1	6.6	9.4	0.0	1.9	27.4
	男性・50代	70	15.7	5.7	28.6	2.9	7.1	1.4	1.4	37.1
	男性・60代	47	29.8	0.0	38.3	4.3	4.3	0.0	2.1	21.3
	女性 (計)	380	25.0	3.7	21.1	6.6	10.3	0.5	3.9	28.9
	女性・20代	49	18.4	0.0	24.5	10.2	8.2	2.0	2.0	34.7
	女性・30代	72	25.0	1.4	19.4	6.9	9.7	0.0	2.8	34.7
	女性・40代	105	24.8	2.9	16.2	11.4	13.3	1.0	4.8	25.7
	女性・50代	116	25.0	6.9	24.1	2.6	8.6	0.0	5.2	27.6
	女性・60代	37	32.4	5.4	24.3	0.0	10.8	0.0	2.7	24.3

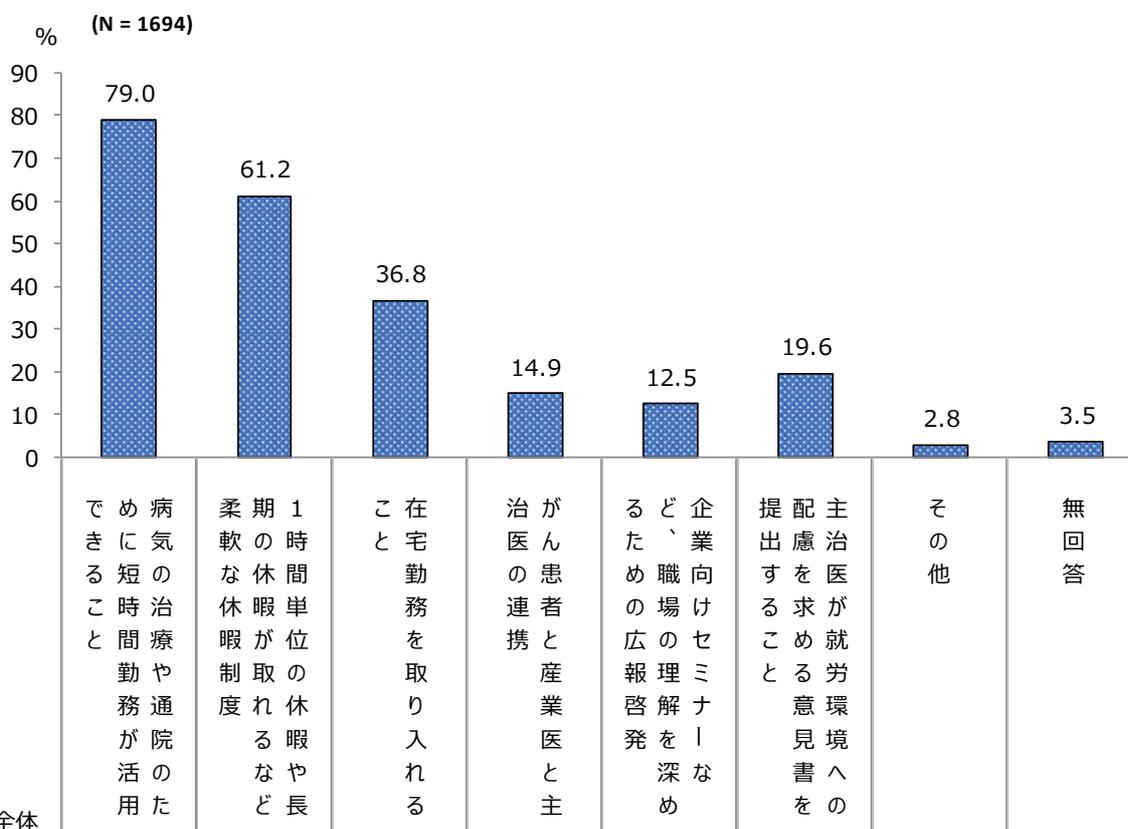
(3) 働く意欲のあるがん患者が働き続けるようにするために必要だと思う取組

「病気の治療や通院のために短時間勤務が活用できること」が 79.0%と最も高く、次いで「1時間単位の休暇や長期の休暇が取れるなど柔軟な休暇制度」が 61.2%、「在宅勤務を取り入れること」が 36.8%となっている。

【全体】「病気の治療や通院のために短時間勤務が活用できること」が 79.0%と最も高く、次いで「1時間単位の休暇や長期の休暇が取れるなど柔軟な休暇制度」が 61.2%、「在宅勤務を取り入れること」が 36.8%となっている。

【性別】最も差がみられた「1時間単位の休暇や長期の休暇が取れるなど柔軟な休暇制度」では、女性（66.0%）が男性（55.3%）より 10.7 ポイント高い。

【性・年代別】すべての性・年代で「病気の治療や通院のために短時間勤務が活用できること」が最も高くなっている。また、「病気の治療や通院のために短時間勤務が活用できること」と「1時間単位の休暇や長期の休暇が取れるなど柔軟な休暇制度」では、すべての年代で男性より女性が高くなっている。

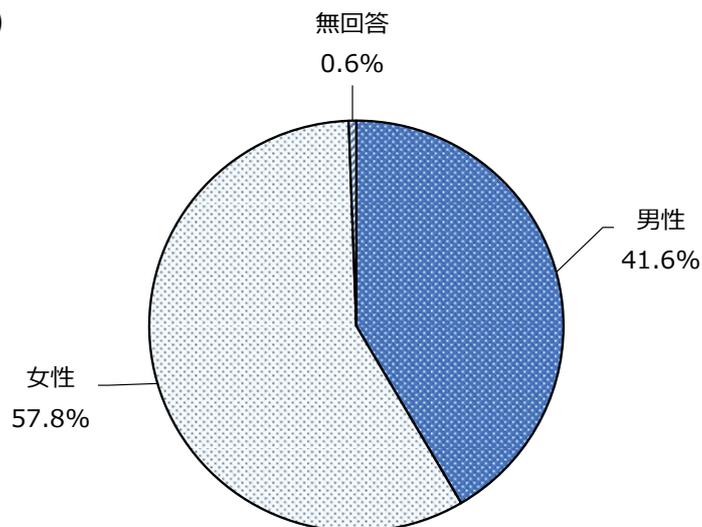


		全体	79.0	61.2	36.8	14.9	12.5	19.6	2.8	3.5
性・年代別	全体	1694	79.0	61.2	36.8	14.9	12.5	19.6	2.8	3.5
	男性 (計)	704	76.6	55.3	34.4	15.8	12.2	19.0	2.8	3.3
	男性・20代	16	68.8	43.8	31.3	18.8	6.3	6.3	0.0	6.3
	男性・30代	42	76.2	61.9	45.2	14.3	4.8	21.4	2.4	2.4
	男性・40代	262	77.5	55.3	37.4	14.5	13.0	16.0	3.8	2.7
	男性・50代	229	74.2	53.7	33.2	17.9	13.5	21.4	2.6	3.9
	男性・60代	152	80.3	57.2	28.3	15.1	11.8	21.1	2.0	2.6
	女性 (計)	980	81.5	66.0	39.0	14.4	12.9	20.2	2.8	2.7
	女性・20代	105	82.9	69.5	53.3	15.2	8.6	17.1	4.8	1.0
	女性・30代	163	83.4	69.3	46.6	17.2	15.3	21.5	2.5	3.7
	女性・40代	311	78.5	63.0	40.5	12.9	11.9	19.6	1.9	2.9
	女性・50代	292	82.2	69.2	32.9	12.0	14.4	21.9	3.8	1.0
女性・60代	103	86.4	60.2	27.2	21.4	12.6	19.4	1.0	3.9	

6 回答者属性

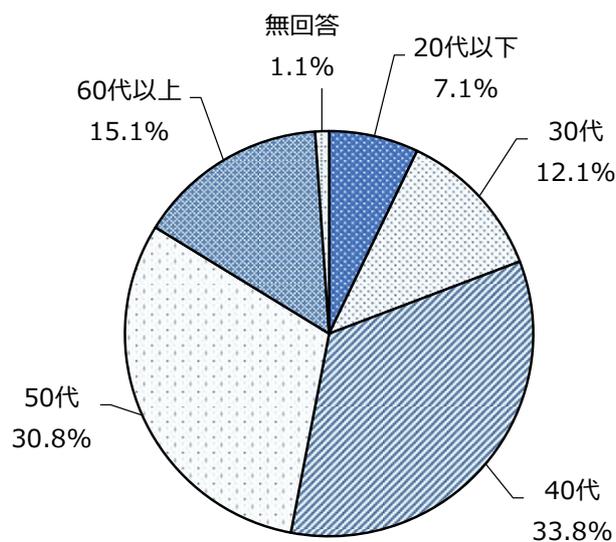
(1) 性別

(N = 1694)



(2) 年齢

(N = 1694)

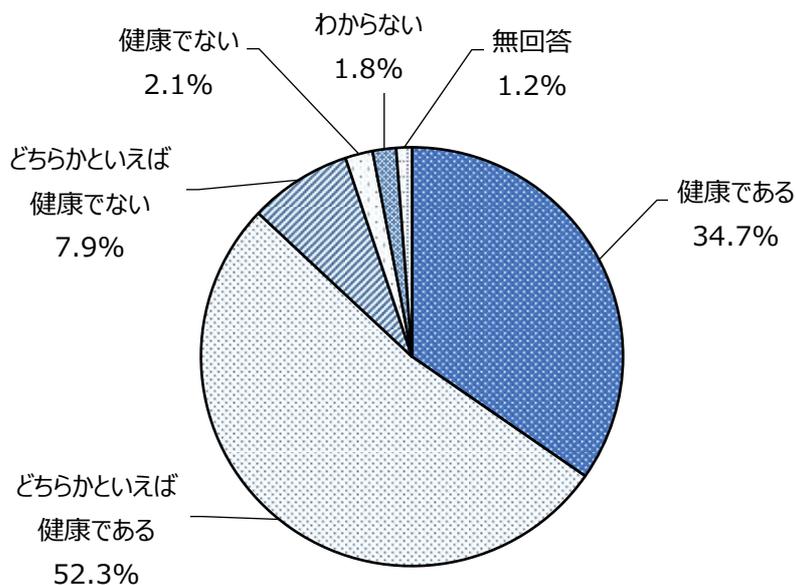


(3) お住まいの市町

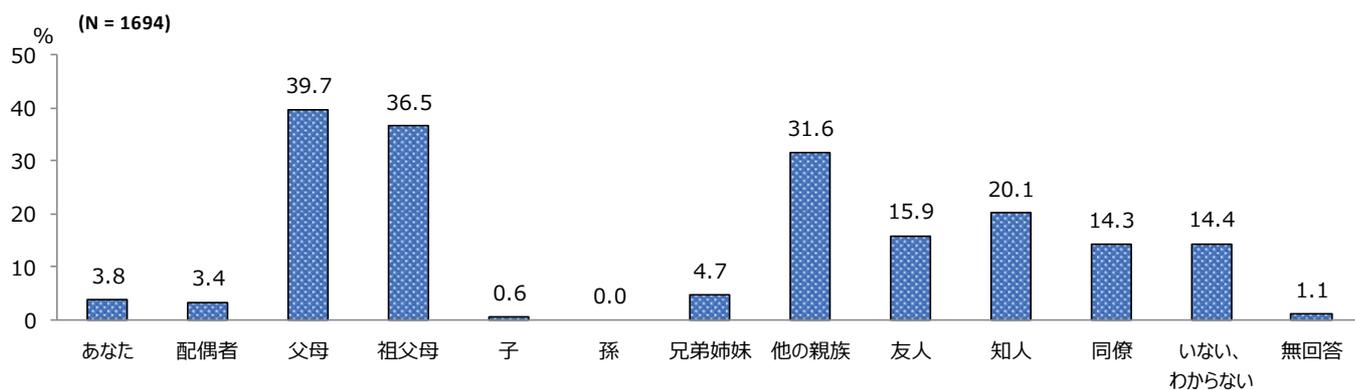
全体	下関市	宇部市	山口市	萩市	防府市	下松市	岩国市	光市	長門市	柳井市
1,694	290	219	264	51	126	78	116	59	57	41
100.0	17.1	12.9	15.6	3.0	7.4	4.6	6.8	3.5	3.4	2.4
美祢市	周南市	山陽小野田市	周防大島町	和木町	上関町	田布施町	平生町	阿武町	県外	無回答
32	173	81	6	6	3	21	17	6	27	21
1.9	10.2	4.8	0.4	0.4	0.2	1.2	1.0	0.4	1.6	1.2

(4) 今の健康状態

(N = 1694)



(5) 周囲でがんにかかった人



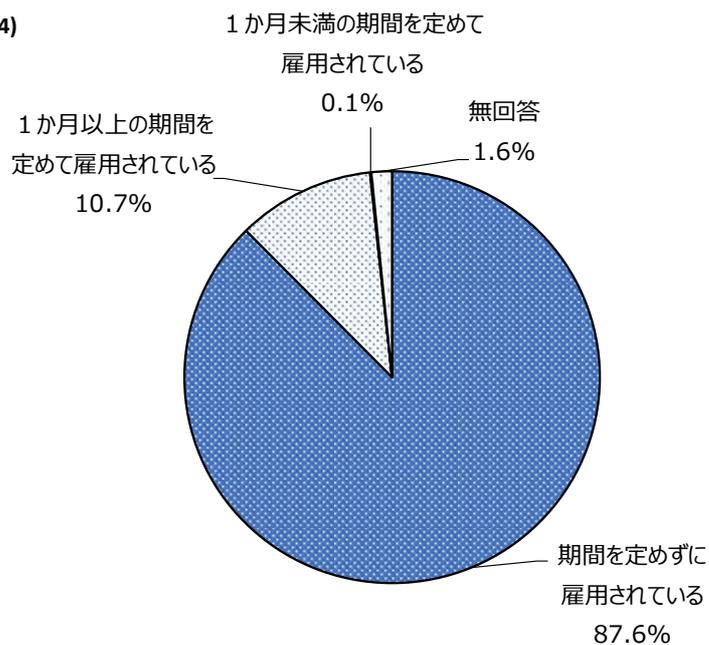
(6) 仕事の業種

(上段：件数、下段：%)

業種	件数	割合 (%)
全体	1694	100.0
農業、林業	23	1.4
漁業	4	0.2
鉱業、採石業、砂利採取業	11	0.6
建設業	180	10.6
製造業	309	18.2
電気・ガス・熱供給・水道業	15	0.9
情報通信業	17	1.0
運輸業、郵便業	77	4.5
卸売業、小売業	202	11.9
金融・保険業	68	4.0
不動産業、物品賃貸業	10	0.6
学術研究、専門・技術サービス業	37	2.2
宿泊業、飲食サービス業	55	3.2
生活関連サービス業、娯楽	30	1.8
教育、学習支援	59	3.5
医療、福祉	375	22.1
複合サービス業	17	1.0
サービス業 (他に分類されないもの)	178	10.5
無回答	27	1.6

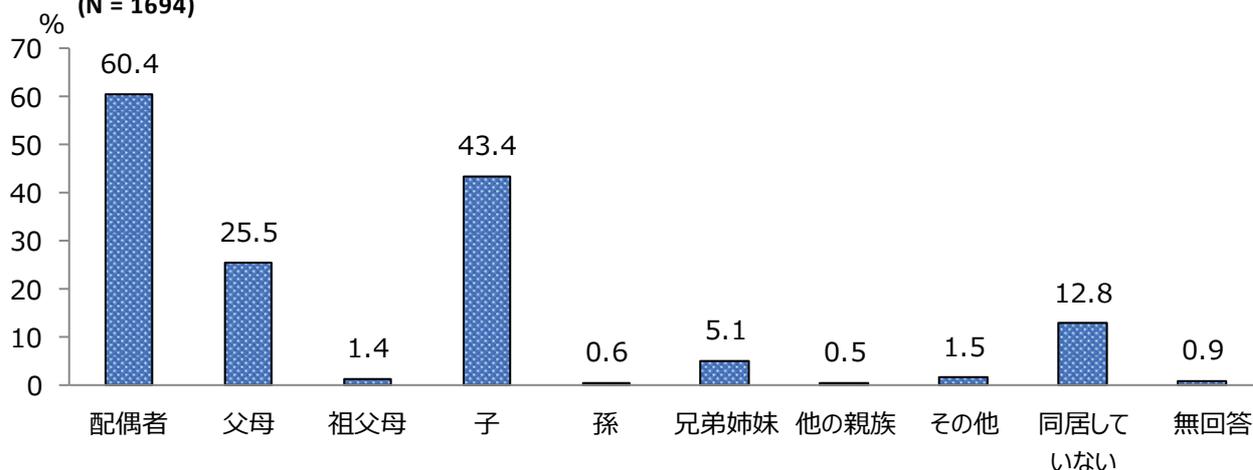
(7) 仕事の雇用形態

(N = 1694)



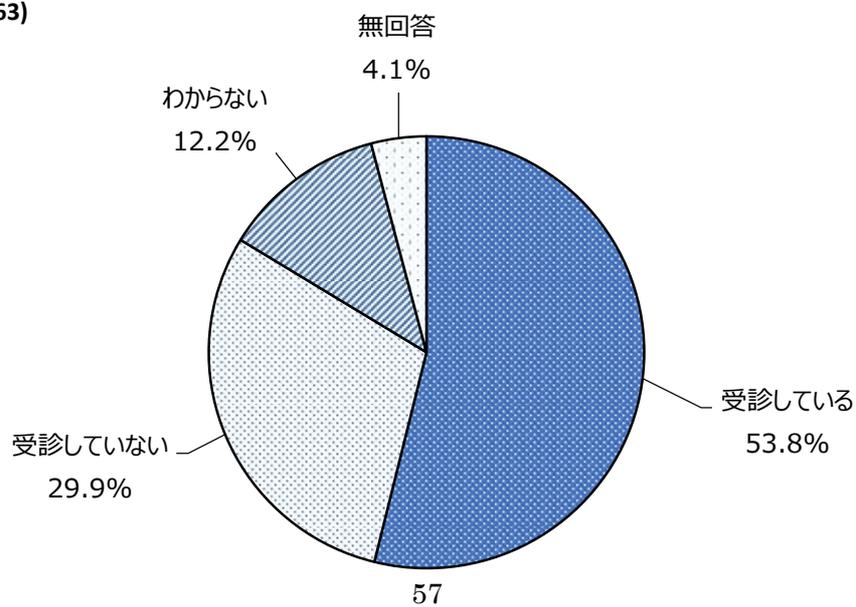
(8) 同居している人

(N = 1694)



(9) 同居人のがん検診受診の有無

(N = 1463)



第四章 調査結果 主要集計表

(1) 事業所

胃がん検診 [受診率：男性]

(上段：実数、下段：%)

	全 体	【胃がん】男性 30歳未満	【胃がん】男性 30～39歳	【胃がん】男性 40～49歳	【胃がん】男性 50～59歳	【胃がん】男性 60歳以上	
事業所の全常用雇用者数	33758	5759	7038	8010	7449	5502	
全 体	11176 33.1	59 1.0	1129 16.0	3905 48.8	3602 48.4	2481 45.1	
常用 雇 用 者 数	10～29人	1372 50.1	16 7.0	124 30.2	439 63.7	398 62.2	395 51.4
	30～49人	825 44.1	8 3.6	93 31.5	236 55.0	227 56.8	261 49.6
	50～99人	988 40.8	6 2.0	109 30.8	338 54.3	244 49.3	291 44.8
	100～299人	1416 41.7	19 3.9	193 30.5	441 55.8	398 54.4	365 48.9
	300～499人	931 39.3	2 0.7	115 28.5	281 50.2	306 50.6	227 45.0
	500～999人	1430 56.1	5 1.0	230 45.3	558 81.9	362 78.9	275 69.6
	1,000人以上	4089 22.5	3 0.1	252 5.7	1564 37.5	1637 40.3	633 34.6
業 種	農業, 林業	51 37.0	0 0.0	11 50.0	17 70.8	12 75.0	11 22.9
	漁業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	鉱業, 採石業, 砂利 採取業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	建設業	565 45.8	3 1.5	41 21.1	211 65.1	154 62.1	156 58.9
	製造業	3806 28.9	9 0.3	391 13.1	1382 45.9	1398 47.8	626 49.4
	電気・ガス・熱供給・水道 業	128 43.0	0 0.0	11 21.6	48 67.6	56 86.2	13 28.9
	情報通信業	174 61.3	0 0.0	28 45.2	71 87.7	51 98.1	24 82.8
	運輸業, 郵便業	490 42.4	4 6.1	33 25.4	123 48.0	146 47.6	184 46.3
	卸売業, 小売業	1172 33.9	11 2.6	127 20.5	408 49.8	340 44.8	286 34.5
	金融業, 保険業	332 28.5	2 1.2	31 12.7	121 40.1	102 29.7	76 73.1
	不動産業, 物品賃貸業	138 50.0	3 6.8	10 29.4	32 56.1	46 64.8	47 67.1
	学術研究, 専門・技術 サービス業	262 58.7	0 0.0	45 54.2	82 82.8	64 78.0	71 53.8
	宿泊業, 飲食サービス業	298 28.5	0 0.0	27 17.8	101 50.5	72 41.9	98 44.7
	生活関連サービス業, 娯 楽業	40 32.5	0 0.0	3 16.7	12 44.4	16 47.1	9 40.9
	教育, 学習支援業	204 48.2	1 4.0	16 28.6	43 50.0	67 59.3	77 53.8
	医療, 福祉	168 17.5	0 0.0	25 10.6	63 27.8	51 36.4	29 13.6
	複合サービス事業	513 33.3	16 8.3	104 33.4	168 42.6	119 48.0	106 26.9
	サービス業（他に分類され ないもの）	1408 45.3	8 2.7	189 36.0	437 52.5	339 49.2	435 56.6

胃がん検診 [受診率：女性]

(上段：実数、下段：%)

		全 体	【胃がん】女性 30歳未満	【胃がん】女性 30～39歳	【胃がん】女性 40～49歳	【胃がん】女性 50～59歳	【胃がん】女性 60歳以上
事業所の全常用雇用者数		21870	4018	3758	5055	5005	4034
全 体		4778 21.8	43 1.1	556 14.8	1701 33.6	1596 31.9	882 21.9
常用 雇 用 者 数	10～29人	529 33.4	7 3.7	55 22.8	185 43.3	164 42.5	118 34.3
	30～49人	417 27.6	9 3.3	59 23.0	155 38.8	135 44.3	59 21.1
	50～99人	498 22.2	2 0.5	61 18.6	174 32.2	148 29.4	113 22.7
	100～299人	838 30.8	23 6.3	111 25.8	283 42.3	278 44.5	143 22.6
	300～499人	565 27.2	0 0.0	57 17.6	171 35.6	215 37.3	122 26.3
	500～999人	603 25.8	2 0.4	66 15.4	242 46.7	205 39.5	88 20.7
	1,000人以上	1293 14.1	0 0.0	143 8.3	473 23.9	443 21.5	234 17.4
	業 種	農業，林業	18 15.7	0 0.0	3 33.3	5 33.3	6 35.3
漁業		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
鉱業，採石業，砂利 採取業		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
建設業		105 35.0	0 0.0	13 35.1	46 54.8	31 58.5	15 32.6
製造業		871 31.2	0 0.0	85 17.1	319 48.7	306 47.1	161 46.5
電気・ガス・熱供給・水道 業		35 24.3	0 0.0	3 11.1	18 42.9	11 32.4	3 15.8
情報通信業		46 53.5	0 0.0	5 33.3	21 87.5	14 63.6	6 85.7
運輸業，郵便業		52 34.0	0 0.0	10 45.5	12 30.0	21 41.2	9 39.1
卸売業，小売業		476 14.1	7 1.2	60 11.9	179 23.3	146 17.3	84 12.5
金融業，保険業		195 22.3	2 0.9	15 6.5	107 47.6	61 37.9	10 45.5
不動産業，物品賃貸業		101 37.1	1 2.9	12 21.8	32 49.2	31 53.4	25 42.4
学術研究，専門・技術 サービス業		65 34.0	1 2.6	11 22.9	28 59.6	17 51.5	8 33.3
宿泊業，飲食サービス業		155 11.7	0 0.0	15 7.2	43 21.5	43 22.8	54 16.1
生活関連サービス業，娯 楽業		30 16.0	1 3.8	6 14.6	7 17.1	8 17.4	8 23.5
教育，学習支援業		98 20.2	0 0.0	7 8.4	39 31.0	30 29.7	22 27.8
医療，福祉		330 11.1	0 0.0	39 6.4	127 16.4	109 16.2	55 13.7
複合サービス事業		1174 26.5	28 4.6	142 20.5	369 35.2	417 37.9	218 22.1
サービス業（他に分類され ないもの）		883 28.6	3 0.7	111 25.4	292 44.3	305 38.8	172 23.0

大腸がん検診 [受診率：男性]

(上段：実数、下段：%)

		全 体	【大腸がん】男性 30歳未満	【大腸がん】男性 30～39歳	【大腸がん】男性 40～49歳	【大腸がん】男性 50～59歳	【大腸がん】男性 60歳以上
事業所の全常用雇用者数		33758	5759	7038	8010	7449	5502
全 体		14462 42.8	146 2.5	1361 19.3	5111 63.8	4775 64.1	3069 55.8
常用 雇 用 者 数	10～29人	1513 55.3	28 12.3	177 43.1	473 68.7	414 64.7	421 54.7
	30～49人	838 44.8	16 7.2	100 33.9	215 50.1	232 58.0	275 52.3
	50～99人	1110 45.8	20 6.6	122 34.5	384 61.7	266 53.7	318 49.0
	100～299人	1601 47.2	52 10.5	218 34.5	479 60.6	445 60.9	407 54.5
	300～499人	1133 47.9	24 8.2	140 34.7	316 56.4	355 58.7	298 59.1
	500～999人	1511 59.3	2 0.4	236 46.5	592 86.9	391 85.2	290 73.4
	1,000人以上	6625 36.5	1 0.0	353 8.0	2605 62.5	2643 65.0	1023 55.9
	業 種	農業，林業	55 39.9	0 0.0	12 54.5	20 83.3	12 75.0
漁業		12 31.6	0 0.0	2 40.0	3 42.9	1 14.3	6 40.0
鉱業，採石業，砂利 採取業		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
建設業		735 59.6	18 8.9	68 35.1	261 80.6	194 78.2	194 73.2
製造業		5601 42.6	31 1.0	505 16.9	2111 70.1	2051 70.2	903 71.3
電気・ガス・熱供給・水道 業		191 64.1	0 0.0	26 51.0	59 83.1	66 101.5	40 88.9
情報通信業		200 70.4	15 25.0	33 53.2	76 93.8	49 94.2	27 93.1
運輸業，郵便業		499 43.2	10 15.2	45 34.6	115 44.9	152 49.5	177 44.6
卸売業，小売業		1263 36.6	19 4.5	149 24.0	421 51.3	362 47.7	312 37.6
金融業，保険業		334 28.7	2 1.2	31 12.7	121 40.1	102 29.7	78 75.0
不動産業，物品賃貸業		144 52.2	6 13.6	13 38.2	32 56.1	48 67.6	45 64.3
学術研究，専門・技術 サービス業		258 57.8	2 4.0	42 50.6	80 80.8	63 76.8	71 53.8
宿泊業，飲食サービス業		388 37.1	4 1.3	45 29.6	127 63.5	90 52.3	122 55.7
生活関連サービス業，娯 楽業		40 32.5	1 4.5	5 27.8	8 29.6	17 50.0	9 40.9
教育，学習支援業		169 40.0	5 20.0	18 32.1	31 36.0	56 49.6	59 41.3
医療，福祉		240 24.9	0 0.0	29 12.3	95 41.9	68 48.6	48 22.5
複合サービス事業		519 33.7	6 3.1	85 27.3	193 49.0	121 48.8	114 28.9
サービス業（他に分類され ないもの）		1448 46.6	5 1.7	191 36.4	451 54.2	348 50.5	453 58.9

大腸がん検診 [受診率：女性]

(上段：実数、下段：%)

		全 体	【大腸がん】女性 30歳未満	【大腸がん】女性 30～39歳	【大腸がん】女性 40～49歳	【大腸がん】女性 50～59歳	【大腸がん】女性 60歳以上
事業所の全常用雇用者数		21870	4018	3758	5055	5005	4034
全 体		6185 28.3	94 2.3	679 18.1	2168 42.9	2050 41.0	1194 29.6
常用 雇 用 者 数	10～29人	593 37.4	13 6.9	74 30.7	201 47.1	175 45.3	130 37.8
	30～49人	489 32.4	18 6.6	66 25.7	168 42.1	144 47.2	93 33.3
	50～99人	603 26.9	23 6.1	75 22.9	179 33.1	182 36.2	144 28.9
	100～299人	896 32.9	28 7.6	112 26.0	291 43.5	301 48.2	164 25.9
	300～499人	862 41.5	5 2.1	79 24.4	253 52.6	310 53.7	215 46.4
	500～999人	862 36.9	2 0.4	82 19.2	345 66.6	305 58.8	128 30.1
	1,000人以上	1838 20.0	0 0.0	184 10.7	712 36.0	625 30.4	317 23.5
	業 種	農業，林業	21 18.3	0 0.0	5 55.6	6 40.0	6 35.3
漁業		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
鉱業，採石業，砂利 採取業		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
建設業		135 45.0	2 2.5	17 45.9	59 70.2	37 69.8	20 43.5
製造業		1135 40.7	6 0.9	105 21.1	425 64.9	406 62.6	193 55.8
電気・ガス・熱供給・水道 業		82 56.9	0 0.0	7 25.9	34 81.0	29 85.3	12 63.2
情報通信業		57 66.3	4 22.2	8 53.3	21 87.5	17 77.3	7 100.0
運輸業，郵便業		56 36.6	1 5.9	13 59.1	12 30.0	20 39.2	10 43.5
卸売業，小売業		583 17.3	16 2.7	72 14.3	205 26.7	179 21.2	111 16.5
金融業，保険業		199 22.8	2 0.9	15 6.5	110 48.9	62 38.5	10 45.5
不動産業，物品賃貸業		117 43.0	3 8.6	14 25.5	32 49.2	27 46.6	41 69.5
学術研究，専門・技術 サービス業		70 36.6	1 2.6	11 22.9	32 68.1	18 54.5	8 33.3
宿泊業，飲食サービス業		236 17.9	3 0.8	28 13.5	59 29.5	64 33.9	82 24.5
生活関連サービス業，娯 楽業		36 19.1	3 11.5	7 17.1	7 17.1	11 23.9	8 23.5
教育，学習支援業		97 20.0	8 8.4	9 10.8	36 28.6	22 21.8	22 27.8
医療，福祉		824 27.8	5 1.0	69 11.3	346 44.6	274 40.8	130 32.4
複合サービス事業		1306 29.5	19 3.1	141 20.4	385 36.7	483 43.9	278 28.2
サービス業（他に分類され ないもの）		939 30.4	4 0.9	118 27.0	304 46.1	315 40.1	198 26.5

肺がん検診 [受診率：男性]

(上段：実数、下段：%)

		全 体	【肺がん】男性 30歳未満	【肺がん】男性 30～39歳	【肺がん】男性 40～49歳	【肺がん】男性 50～59歳	【肺がん】男性 60歳以上
事業所の全常用雇用者数		33758	5759	7038	8010	7449	5502
全 体		26089 77.3	4090 71.0	5549 78.8	6468 80.7	5998 80.5	3984 72.4
常用 雇 用 者 数	10～29人	1830 66.9	88 38.8	244 59.4	511 74.2	476 74.4	511 66.4
	30～49人	1133 60.5	92 41.4	161 54.6	252 58.7	277 69.3	351 66.7
	50～99人	1559 64.4	155 51.5	201 56.8	461 74.1	339 68.5	403 62.1
	100～299人	2335 68.8	303 61.5	444 70.3	565 71.5	522 71.4	501 67.1
	300～499人	1657 70.0	169 57.7	264 65.3	403 72.0	425 70.2	396 78.6
	500～999人	2072 81.4	295 58.5	421 82.9	639 93.8	409 89.1	308 78.0
	1,000人以上	15328 84.4	2983 80.6	3791 86.3	3575 85.8	3513 86.4	1466 80.1
	業 種	農業，林業	77 55.8	14 50.0	18 81.8	21 87.5	12 75.0
漁業		27 71.1	3 75.0	5 100.0	5 71.4	4 57.1	10 66.7
鉱業，採石業，砂利 採取業		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
建設業		879 71.2	88 43.3	117 60.3	267 82.4	201 81.0	206 77.7
製造業		11298 85.9	2403 81.1	2589 86.5	2606 86.6	2574 88.1	1126 88.9
電気・ガス・熱供給・水道 業		287 96.3	65 98.5	50 98.0	67 94.4	60 92.3	45 100.0
情報通信業		266 93.7	52 86.7	53 85.5	81 100.0	50 96.2	30 103.4
運輸業，郵便業		725 62.7	29 43.9	79 60.8	166 64.8	203 66.1	248 62.5
卸売業，小売業		1658 48.0	137 32.2	232 37.4	483 58.9	425 56.0	381 46.0
金融業，保険業		678 58.2	121 71.2	158 64.8	161 53.3	184 53.5	54 51.9
不動産業，物品賃貸業		160 58.0	11 25.0	17 50.0	35 61.4	48 67.6	49 70.0
学術研究，専門・技術 サービス業		326 73.1	34 68.0	63 75.9	75 75.8	60 73.2	94 71.2
宿泊業，飲食サービス業		501 47.9	75 24.7	69 45.4	126 63.0	93 54.1	138 63.0
生活関連サービス業，娯 楽業		49 39.8	5 22.7	5 27.8	12 44.4	17 50.0	10 45.5
教育，学習支援業		294 69.5	20 80.0	42 75.0	60 69.8	89 78.8	83 58.0
医療，福祉		716 74.4	73 50.0	141 59.7	199 87.7	123 87.9	180 84.5
複合サービス事業		1061 68.9	120 62.2	220 70.7	305 77.4	184 74.2	232 58.9
サービス業（他に分類され ないもの）		2580 83.0	220 74.8	449 85.5	720 86.5	559 81.1	632 82.2

肺がん検診 [受診率：女性]

(上段：実数、下段：%)

		全 体	【肺がん】女性 30歳未満	【肺がん】女性 30～39歳	【肺がん】女性 40～49歳	【肺がん】女性 50～59歳	【肺がん】女性 60歳以上
事業所の全常用雇用者数		21870	4018	3758	5055	5005	4034
全 体		13068	2038	2184	3356	3257	2233
		59.8	50.7	58.1	66.4	65.1	55.4
常用 雇 用 者 数	10～29人	850	71	131	243	225	180
		53.6	37.8	54.4	56.9	58.3	52.3
	30～49人	766	103	124	231	189	119
		50.7	38.0	48.2	57.9	62.0	42.7
	50～99人	1147	139	161	302	290	255
		51.1	37.0	49.1	55.9	57.7	51.2
	100～299人	1567	223	232	428	400	284
		57.5	60.6	54.0	64.0	64.0	44.9
300～499人	1395	136	196	358	417	288	
	67.1	58.4	60.5	74.4	72.3	62.2	
500～999人	1702	282	324	447	399	250	
	72.8	62.9	75.7	86.3	76.9	58.8	
1,000人以上	5591	1079	1007	1327	1328	850	
	60.8	51.4	58.8	67.1	64.6	63.1	
業 種	農業，林業	31	8	5	6	6	6
		27.0	38.1	55.6	40.0	35.3	11.3
	漁業	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	鉱業，採石業，砂利 採取業	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	建設業	177	24	24	65	41	23
		59.0	30.0	64.9	77.4	77.4	50.0
	製造業	2078	449	354	507	511	257
		74.4	69.6	71.2	77.4	78.7	74.3
	電気・ガス・熱供給・水道 業	142	22	27	40	34	19
		98.6	100.0	100.0	95.2	100.0	100.0
	情報通信業	72	13	12	22	17	8
		83.7	72.2	80.0	91.7	77.3	114.3
	運輸業，郵便業	86	9	14	19	30	14
		56.2	52.9	63.6	47.5	58.8	60.9
	卸売業，小売業	953	128	145	274	243	163
		28.2	22.0	28.7	35.6	28.7	24.2
	金融業，保険業	578	158	159	152	97	12
		66.1	67.2	68.8	67.6	60.2	54.5
	不動産業，物品賃貸業	152	10	17	37	39	49
	55.9	28.6	30.9	56.9	67.2	83.1	
学術研究，専門・技術 サービス業	110	21	22	37	21	9	
	57.6	53.8	45.8	78.7	63.6	37.5	
宿泊業，飲食サービス業	355	79	56	68	67	85	
	26.9	20.4	26.9	34.0	35.4	25.4	
生活関連サービス業，娯 楽業	72	20	16	11	15	10	
	38.3	76.9	39.0	26.8	32.6	29.4	
教育，学習支援業	203	32	37	61	45	28	
	41.9	33.7	44.6	48.4	44.6	35.4	
医療，福祉	1967	234	340	615	495	283	
	66.3	45.9	55.6	79.3	73.8	70.6	
複合サービス事業	2918	332	418	734	814	620	
	65.9	55.0	60.5	70.0	73.9	62.9	
サービス業（他に分類され ないもの）	2510	332	382	567	666	563	
	81.2	72.2	87.4	86.0	84.7	75.3	

乳がん検診 [受診率：女性]

(上段：実数、下段：%)

		全 体	【乳がん】女性 30歳未満	【乳がん】女性 30～39歳	【乳がん】女性 40～49歳	【乳がん】女性 50～59歳	【乳がん】女性 60歳以上
事業所の全常用雇用者数		21870	4018	3758	5055	5005	4034
全 体		2522 11.5	109 2.7	252 6.7	970 19.2	800 16.0	391 9.7
常用 雇用 者数	10～29人	278 17.5	5 2.7	24 10.0	108 25.3	92 23.8	49 14.2
	30～49人	258 17.1	7 2.6	39 15.2	92 23.1	75 24.6	45 16.1
	50～99人	195 8.7	1 0.3	11 3.4	84 15.6	65 12.9	34 6.8
	100～299人	364 13.4	17 4.6	40 9.3	121 18.1	124 19.8	62 9.8
	300～499人	273 13.1	7 3.0	23 7.1	90 18.7	103 17.9	50 10.8
	500～999人	300 12.8	2 0.4	21 4.9	139 26.8	100 19.3	38 8.9
	1,000人以上	822 8.9	69 3.3	91 5.3	321 16.2	232 11.3	109 8.1
	業 種	農業，林業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
漁業		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
鉱業，採石業，砂利 採取業		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
建設業		84 28.0	3 3.8	7 18.9	37 44.0	24 45.3	13 28.3
製造業		627 22.5	72 11.2	86 17.3	227 34.7	164 25.3	78 22.5
電気・ガス・熱供給・水道 業		2 1.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.9	1 5.3
情報通信業		22 25.6	0 0.0	0 0.0	11 45.8	8 36.4	3 42.9
運輸業，郵便業		32 20.9	1 5.9	3 13.6	12 30.0	12 23.5	4 17.4
卸売業，小売業		209 6.2	6 1.0	27 5.3	87 11.3	65 7.7	24 3.6
金融業，保険業		117 13.4	5 2.1	10 4.3	64 28.4	33 20.5	5 22.7
不動産業，物品賃貸業		42 15.4	0 0.0	5 9.1	15 23.1	14 24.1	8 13.6
学術研究，専門・技術 サービス業		36 18.8	0 0.0	3 6.3	20 42.6	10 30.3	3 12.5
宿泊業，飲食サービス業		44 3.3	1 0.3	8 3.8	15 7.5	15 7.9	5 1.5
生活関連サービス業，娯 楽業		22 11.7	0 0.0	2 4.9	8 19.5	9 19.6	3 8.8
教育，学習支援業		35 7.2	1 1.1	3 3.6	13 10.3	13 12.9	5 6.3
医療，福祉		161 5.4	0 0.0	3 0.5	80 10.3	58 8.6	20 5.0
複合サービス事業		595 13.4	14 2.3	42 6.1	201 19.2	222 20.2	116 11.8
サービス業（他に分類され ないもの）		385 12.5	2 0.4	29 6.6	144 21.9	124 15.8	86 11.5

子宮頸がん検診 [受診率：女性]

(上段：実数、下段：%)

		全 体	【子宮頸がん】女 性 30歳未満	【子宮頸がん】女 性 30～39歳	【子宮頸がん】女 性 40～49歳	【子宮頸がん】女 性 50～59歳	【子宮頸がん】女 性 60歳以上
事業所の全常用雇用者数		21870	4018	3758	5055	5005	4034
全 体		2460 11.2	211 5.3	369 9.8	839 16.6	685 13.7	356 8.8
常用 雇 用 者 数	10～29人	288 18.2	19 10.1	43 17.8	93 21.8	87 22.5	46 13.4
	30～49人	261 17.3	19 7.0	48 18.7	89 22.3	63 20.7	42 15.1
	50～99人	240 10.7	29 7.7	38 11.6	72 13.3	60 11.9	41 8.2
	100～299人	312 11.5	26 7.1	37 8.6	93 13.9	102 16.3	54 8.5
	300～499人	231 11.1	16 6.9	30 9.3	75 15.6	68 11.8	42 9.1
	500～999人	310 13.3	12 2.7	45 10.5	119 23.0	100 19.3	34 8.0
	1,000人以上	786 8.5	86 4.1	124 7.2	285 14.4	198 9.6	93 6.9
	業 種	農業，林業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
漁業		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
鉱業，採石業，砂利 採取業		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
建設業		80 26.7	5 6.3	7 18.9	35 41.7	21 39.6	12 26.1
製造業		573 20.5	72 11.2	96 19.3	192 29.3	141 21.7	72 20.8
電気・ガス・熱供給・水道 業		4 2.8	0 0.0	2 7.4	0 0.0	1 2.9	1 5.3
情報通信業		20 23.3	1 5.6	3 20.0	5 20.8	10 45.5	1 14.3
運輸業，郵便業		30 19.6	2 11.8	4 18.2	9 22.5	11 21.6	4 17.4
卸売業，小売業		219 6.5	28 4.8	39 7.7	75 9.8	50 5.9	27 4.0
金融業，保険業		99 11.3	3 1.3	7 3.0	53 23.6	33 20.5	3 13.6
不動産業，物品賃貸業		52 19.1	4 11.4	15 27.3	14 21.5	14 24.1	5 8.5
学術研究，専門・技術 サービス業		44 23.0	3 7.7	9 18.8	15 31.9	9 27.3	8 33.3
宿泊業，飲食サービス業		45 3.4	5 1.3	10 4.8	15 7.5	12 6.3	3 0.9
生活関連サービス業，娯 楽業		29 15.4	5 19.2	6 14.6	8 19.5	6 13.0	4 11.8
教育，学習支援業		29 6.0	3 3.2	3 3.6	11 8.7	7 6.9	5 6.3
医療，福祉		187 6.3	12 2.4	28 4.6	78 10.1	51 7.6	18 4.5
複合サービス事業		523 11.8	34 5.6	60 8.7	158 15.1	176 16.0	95 9.6
サービス業（他に分類され ないもの）		399 12.9	12 2.6	57 13.0	142 21.5	116 14.8	72 9.6

(2) 従業員

【胃がん検診】受診の有無

(上段：件数、下段：%)

		全体	受けた	受けていない	無回答
全体		1694	1032	642	20
		100.0	60.9	37.9	1.2
性別	男性	704	497	198	9
		100.0	70.6	28.1	1.3
性別	女性	980	532	444	4
		100.0	54.3	45.3	0.4
年代	20代以下	121	2	118	1
		100.0	1.7	97.5	0.8
	30代	205	82	123	0
		100.0	40.0	60.0	0.0
	40代	573	386	186	1
		100.0	67.4	32.5	0.2
年代	50代	521	358	154	9
		100.0	68.7	29.6	1.7
年代	60代以上	255	195	58	2
		100.0	76.5	22.7	0.8
仕事の業種	農業、林業	23	16	7	0
		100.0	69.6	30.4	0.0
	漁業	4	1	3	0
		100.0	25.0	75.0	0.0
	鉱業、採石業、砂利採取業	11	5	5	1
		100.0	45.5	45.5	9.1
	建設業	180	100	79	1
		100.0	55.6	43.9	0.6
	製造業	309	216	91	2
		100.0	69.9	29.4	0.6
	電気・ガス・熱供給・水道業	15	8	7	0
		100.0	53.3	46.7	0.0
	情報通信業	17	13	4	0
		100.0	76.5	23.5	0.0
	運輸業、郵便業	77	44	32	1
		100.0	57.1	41.6	1.3
	卸売業、小売業	202	139	61	2
		100.0	68.8	30.2	1.0
	金融・保険業	68	44	23	1
		100.0	64.7	33.8	1.5
	不動産業、物品賃貸業	10	6	4	0
		100.0	60.0	40.0	0.0
	学術研究、専門・技術サービス業	37	27	10	0
		100.0	73.0	27.0	0.0
	宿泊業、飲食サービス業	55	33	21	1
		100.0	60.0	38.2	1.8
	生活関連サービス業、娯楽	30	18	12	0
	100.0	60.0	40.0	0.0	
教育、学習支援	59	28	31	0	
	100.0	47.5	52.5	0.0	
医療、福祉	375	211	161	3	
	100.0	56.3	42.9	0.8	
複合サービス業	17	14	3	0	
	100.0	82.4	17.6	0.0	
サービス業（他に分類されないもの）	178	101	76	1	
	100.0	56.7	42.7	0.6	
仕事の形態	期間を定めずに雇用されている	1484	905	568	11
		100.0	61.0	38.3	0.7
	1か月以上の期間を定めて雇用されている	182	113	67	2
		100.0	62.1	36.8	1.1
仕事の形態	1か月未満の期間を定めて雇用されている	1	1	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
	あなた	64	46	18	0
		100.0	71.9	28.1	0.0
周りで、がんにかかった方はいるか	配偶者	57	45	11	1
		100.0	78.9	19.3	1.8
	父母	672	446	219	7
		100.0	66.4	32.6	1.0
	祖父母	619	375	241	3
		100.0	60.6	38.9	0.5
	子	10	8	2	0
		100.0	80.0	20.0	0.0
	孫	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0
	兄弟姉妹	79	64	14	1
		100.0	81.0	17.7	1.3
	他の親族	535	358	173	4
	100.0	66.9	32.3	0.7	
友人	270	191	77	2	
	100.0	70.7	28.5	0.7	
知人	341	231	108	2	
	100.0	67.7	31.7	0.6	
同僚	243	166	75	2	
	100.0	68.3	30.9	0.8	
いない、わからない	244	113	128	3	
	100.0	46.3	52.5	1.2	

(上段：件数、下段：%)

		全体	受けた	受けていない	無回答
がんに関する印象	こわいと思わない	46	32	14	0
		100.0	69.6	30.4	0.0
	どちらかといえばこわいと思わない	81	46	35	0
		100.0	56.8	43.2	0.0
	どちらかといえばこわいと思う	513	333	180	0
		100.0	64.9	35.1	0.0
	こわいと思う	926	568	358	0
		100.0	61.3	38.7	0.0
	わからない	35	14	21	0
		100.0	40.0	60.0	0.0
お住まい	下関市	290	188	97	5
		100.0	64.8	33.4	1.7
	宇部市	219	103	115	1
		100.0	47.0	52.5	0.5
	山口市	264	174	88	2
		100.0	65.9	33.3	0.8
	萩市	51	32	19	0
		100.0	62.7	37.3	0.0
	防府市	126	74	52	0
		100.0	58.7	41.3	0.0
	下松市	78	61	17	0
		100.0	78.2	21.8	0.0
	岩国市	116	58	56	2
		100.0	50.0	48.3	1.7
	光市	59	38	21	0
		100.0	64.4	35.6	0.0
	長門市	57	46	10	1
		100.0	80.7	17.5	1.8
	柳井市	41	26	15	0
		100.0	63.4	36.6	0.0
	美祿市	32	10	21	1
		100.0	31.3	65.6	3.1
	周南市	173	111	61	1
		100.0	64.2	35.3	0.6
	山陽小野田市	81	40	41	0
		100.0	49.4	50.6	0.0
	周防大島町	6	4	2	0
		100.0	66.7	33.3	0.0
	和木町	6	4	2	0
	100.0	66.7	33.3	0.0	
上関町	3	1	2	0	
	100.0	33.3	66.7	0.0	
田布施町	21	14	7	0	
	100.0	66.7	33.3	0.0	
平生町	17	13	4	0	
	100.0	76.5	23.5	0.0	
阿武町	6	4	2	0	
	100.0	66.7	33.3	0.0	
県外	27	22	5	0	
	100.0	81.5	18.5	0.0	
今の健康状態	健康である	588	334	250	4
		100.0	56.8	42.5	0.7
	どちらかといえば健康である	887	555	325	7
		100.0	62.6	36.6	0.8
	どちらかといえば健康でない	133	94	38	1
		100.0	70.7	28.6	0.8
	健康でない	35	25	9	1
		100.0	71.4	25.7	2.9
	わからない	31	13	18	0
		100.0	41.9	58.1	0.0
現在、誰と同居しているか	配偶者	1023	691	320	12
		100.0	67.5	31.3	1.2
	父母	432	244	187	1
		100.0	56.5	43.3	0.2
	祖父母	24	9	15	0
		100.0	37.5	62.5	0.0
	子	735	483	247	5
		100.0	65.7	33.6	0.7
	孫	11	6	5	0
		100.0	54.5	45.5	0.0
	兄弟姉妹	86	33	52	1
	100.0	38.4	60.5	1.2	
他の親族	9	4	5	0	
	100.0	44.4	55.6	0.0	
その他	25	12	13	0	
	100.0	48.0	52.0	0.0	
同居していない	216	114	102	0	
	100.0	52.8	47.2	0.0	
受診し検診を	受診している	788	574	204	10
		100.0	72.8	25.9	1.3
	受診していない	437	224	210	3
		100.0	51.3	48.1	0.7
わからない	178	84	94	0	
	100.0	47.2	52.8	0.0	

【大腸がん検診】受診の有無

(上段：件数、下段：%)

		全 体	受けた	受けていない	無回答	
全 体		1694 100.0	918 54.2	762 45.0	14 0.8	
性 別	男性	704 100.0	422 59.9	278 39.5	4 0.6	
	女性	980 100.0	494 50.4	483 49.3	3 0.3	
年 代	20代以下	121 100.0	7 5.8	114 94.2	0 0.0	
	30代	205 100.0	64 31.2	141 68.8	0 0.0	
	40代	573 100.0	344 60.0	227 39.6	2 0.3	
	50代	521 100.0	327 62.8	193 37.0	1 0.2	
	60代以上	255 100.0	169 66.3	82 32.2	4 1.6	
仕 事 の 業 種	農業、林業	23 100.0	15 65.2	8 34.8	0 0.0	
	漁業	4 100.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	
	鉱業、採石業、砂利採取業	11 100.0	7 63.6	4 36.4	0 0.0	
	建設業	180 100.0	100 55.6	79 43.9	1 0.6	
	製造業	309 100.0	213 68.9	96 31.1	0 0.0	
	電気・ガス・熱供給・水道業	15 100.0	11 73.3	4 26.7	0 0.0	
	情報通信業	17 100.0	11 64.7	6 35.3	0 0.0	
	運輸業、郵便業	77 100.0	32 41.6	44 57.1	1 1.3	
	卸売業、小売業	202 100.0	113 55.9	88 43.6	1 0.5	
	金融・保険業	68 100.0	43 63.2	25 36.8	0 0.0	
	不動産業、物品賃貸業	10 100.0	4 40.0	6 60.0	0 0.0	
	学術研究、専門・技術サービス業	37 100.0	25 67.6	12 32.4	0 0.0	
	宿泊業、飲食サービス業	55 100.0	28 50.9	27 49.1	0 0.0	
	生活関連サービス業、娯楽	30 100.0	20 66.7	10 33.3	0 0.0	
	教育、学習支援	59 100.0	17 28.8	42 71.2	0 0.0	
	医療、福祉	375 100.0	174 46.4	198 52.8	3 0.8	
	複合サービス業	17 100.0	9 52.9	8 47.1	0 0.0	
	サービス業（他に分類されないもの）	178 100.0	87 48.9	90 50.6	1 0.6	
	仕 事 の 雇 用 形 態	期間を定めずに雇用されている	1484 100.0	806 54.3	671 45.2	7 0.5
		1か月以上の期間を定めて雇用されている	182 100.0	101 55.5	81 44.5	0 0.0
		1か月未満の期間を定めて雇用されている	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
		あなた	64 100.0	48 75.0	16 25.0	0 0.0
	周 り で 、 がん に か か っ た 方 は い る か	配偶者	57 100.0	35 61.4	21 36.8	1 1.8
		父母	672 100.0	414 61.6	255 37.9	3 0.4
		祖父母	619 100.0	349 56.4	269 43.5	1 0.2
子		10 100.0	7 70.0	3 30.0	0 0.0	
孫		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
兄弟姉妹		79 100.0	61 77.2	18 22.8	0 0.0	
他の親族		535 100.0	305 57.0	229 42.8	1 0.2	
友人		270 100.0	165 61.1	100 37.0	5 1.9	
知人		341 100.0	208 61.0	130 38.1	3 0.9	
同僚		243 100.0	148 60.9	93 38.3	2 0.8	
いない、わからない		244 100.0	94 38.5	149 61.1	1 0.4	

(上段：件数、下段：%)

		全 体	受けた	受けていない	無回答	
う な つ い て 印 象 だ ら ぬ か	こわいと思わない	46 100.0	28 60.9	17 37.0	1 2.2	
	どちらかといえばこわいと思わない	81 100.0	41 50.6	39 48.1	1 1.2	
	どちらかといえばこわいと思う	513 100.0	289 56.3	223 43.5	1 0.2	
	こわいと思う	926 100.0	507 54.8	415 44.8	4 0.4	
	わからない	35 100.0	11 31.4	24 68.6	0 0.0	
	お 住 ま い	下関市	290 100.0	156 53.8	133 45.9	1 0.3
宇部市		219 100.0	101 46.1	118 53.9	0 0.0	
山口市		264 100.0	146 55.3	116 43.9	2 0.8	
萩市		51 100.0	27 52.9	23 45.1	1 2.0	
防府市		126 100.0	72 57.1	54 42.9	0 0.0	
下松市		78 100.0	51 65.4	27 34.6	0 0.0	
岩国市		116 100.0	50 43.1	65 56.0	1 0.9	
光市		59 100.0	34 57.6	25 42.4	0 0.0	
長門市		57 100.0	44 77.2	13 22.8	0 0.0	
柳井市		41 100.0	23 56.1	17 41.5	1 2.4	
美祢市		32 100.0	15 46.9	17 53.1	0 0.0	
周南市		173 100.0	99 57.2	74 42.8	0 0.0	
山陽小野田市		81 100.0	36 44.4	45 55.6	0 0.0	
周防大島町		6 100.0	4 66.7	2 33.3	0 0.0	
和木町		6 100.0	5 83.3	1 16.7	0 0.0	
上関町		3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	
田布施町		21 100.0	13 61.9	8 38.1	0 0.0	
平生町		17 100.0	10 58.8	7 41.2	0 0.0	
阿武町		6 100.0	3 50.0	3 50.0	0 0.0	
県外		27 100.0	17 63.0	9 33.3	1 3.7	
よ う の 健 康 じ ゅ う じ ゅ う だ ら ぬ か		健康である	588 100.0	290 49.3	296 50.3	2 0.3
		どちらかといえば健康である	887 100.0	511 57.6	374 42.2	2 0.2
		どちらかといえば健康でない	133 100.0	80 60.2	50 37.6	3 2.3
		健康でない	35 100.0	18 51.4	17 48.6	0 0.0
現 在 、 誰 と 同 居 し て い る か		わからない	31 100.0	12 38.7	19 61.3	0 0.0
	配偶者	1023 100.0	603 58.9	415 40.6	5 0.5	
	父母	432 100.0	216 50.0	215 49.8	1 0.2	
	祖父母	24 100.0	10 41.7	14 58.3	0 0.0	
	子	735 100.0	428 58.2	305 41.5	2 0.3	
	孫	11 100.0	6 54.5	5 45.5	0 0.0	
	兄弟姉妹	86 100.0	29 33.7	57 66.3	0 0.0	
	他の親族	9 100.0	5 55.6	4 44.4	0 0.0	
	その他	25 100.0	13 52.0	12 48.0	0 0.0	
	同居していない	216 100.0	104 48.1	111 51.4	1 0.5	
受 診 し て 診 い	受診している	788 100.0	530 67.3	256 32.5	2 0.3	
	受診していない	437 100.0	179 41.0	254 58.1	4 0.9	
	わからない	178 100.0	70 39.3	108 60.7	0 0.0	

【肺がん検診】受診の有無

(上段：件数、下段：%)

		全 体	受けた	受けていない	無回答	
全 体		1694 100.0	1285 75.9	397 23.4	12 0.7	
性 別	男性	704 100.0	556 79.0	145 20.6	3 0.4	
	女性	980 100.0	726 74.1	252 25.7	2 0.2	
年 代	20代以下	121 100.0	46 38.0	75 62.0	0 0.0	
	30代	205 100.0	122 59.5	83 40.5	0 0.0	
	40代	573 100.0	462 80.6	109 19.0	2 0.3	
	50代	521 100.0	426 81.8	94 18.0	1 0.2	
	60代以上	255 100.0	219 85.9	34 13.3	2 0.8	
仕 事 の 業 種	農業、林業	23 100.0	19 82.6	4 17.4	0 0.0	
	漁業	4 100.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	
	鉱業、採石業、砂利採取業	11 100.0	9 81.8	2 18.2	0 0.0	
	建設業	180 100.0	127 70.6	53 29.4	0 0.0	
	製造業	309 100.0	253 81.9	56 18.1	0 0.0	
	電気・ガス・熱供給・水道業	15 100.0	13 86.7	2 13.3	0 0.0	
	情報通信業	17 100.0	16 94.1	1 5.9	0 0.0	
	運輸業、郵便業	77 100.0	57 74.0	20 26.0	0 0.0	
	卸売業、小売業	202 100.0	155 76.7	46 22.8	1 0.5	
	金融・保険業	68 100.0	57 83.8	11 16.2	0 0.0	
	不動産業、物品賃貸業	10 100.0	7 70.0	3 30.0	0 0.0	
	学術研究、専門・技術サービス業	37 100.0	33 89.2	4 10.8	0 0.0	
	宿泊業、飲食サービス業	55 100.0	39 70.9	16 29.1	0 0.0	
	生活関連サービス業、娯楽	30 100.0	22 73.3	8 26.7	0 0.0	
	教育、学習支援	59 100.0	42 71.2	17 28.8	0 0.0	
	医療、福祉	375 100.0	276 73.6	96 25.6	3 0.8	
	複合サービス業	17 100.0	14 82.4	3 17.6	0 0.0	
	サービス業（他に分類されないもの）	178 100.0	132 74.2	45 25.3	1 0.6	
	仕 事 の 雇 用 形 態	仕事を定めずに雇用されている	1484 100.0	1123 75.7	356 24.0	5 0.3
		1か月以上の期間を定めて雇用されている	182 100.0	147 80.8	35 19.2	0 0.0
		1か月未満の期間を定めて雇用されている	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
		あなた	64 100.0	54 84.4	10 15.6	0 0.0
	周 り で 、 がん に か っ た 方 は い る か	配偶者	57 100.0	49 86.0	8 14.0	0 0.0
		父母	672 100.0	545 81.1	125 18.6	2 0.3
		祖父母	619 100.0	476 76.9	142 22.9	1 0.2
		子	10 100.0	10 100.0	0 0.0	0 0.0
孫		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
兄弟姉妹		79 100.0	71 89.9	8 10.1	0 0.0	
他の親族		535 100.0	427 79.8	107 20.0	1 0.2	
友人		270 100.0	223 82.6	44 16.3	3 1.1	
知人		341 100.0	277 81.2	62 18.2	2 0.6	
同僚		243 100.0	209 86.0	33 13.6	1 0.4	
いない、わからない		244 100.0	149 61.1	94 38.5	1 0.4	

(上段：件数、下段：%)

		全 体	受けた	受けていない	無回答	
がんに関する印象かどうかのよ	こわいと思わない	46 100.0	37 80.4	9 19.6	0 0.0	
	どちらかといえばこわいと思わない	81 100.0	58 71.6	23 28.4	0 0.0	
	どちらかといえばこわいと思う	513 100.0	411 80.1	101 19.7	1 0.2	
	こわいと思う	926 100.0	701 75.7	221 23.9	4 0.4	
	わからない	35 100.0	17 48.6	18 51.4	0 0.0	
	お住まい	下関市	290 100.0	221 76.2	68 23.4	1 0.3
宇部市		219 100.0	148 67.6	71 32.4	0 0.0	
山口市		264 100.0	204 77.3	58 22.0	2 0.8	
萩市		51 100.0	40 78.4	11 21.6	0 0.0	
防府市		126 100.0	98 77.8	28 22.2	0 0.0	
下松市		78 100.0	66 84.6	12 15.4	0 0.0	
岩国市		116 100.0	89 76.7	27 23.3	0 0.0	
光市		59 100.0	43 72.9	16 27.1	0 0.0	
長門市		57 100.0	48 84.2	9 15.8	0 0.0	
柳井市		41 100.0	30 73.2	10 24.4	1 2.4	
美祢市		32 100.0	20 62.5	12 37.5	0 0.0	
周南市		173 100.0	137 79.2	36 20.8	0 0.0	
山陽小野田市		81 100.0	60 74.1	21 25.9	0 0.0	
周防大島町		6 100.0	4 66.7	2 33.3	0 0.0	
和木町		6 100.0	5 83.3	1 16.7	0 0.0	
上関町		3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	
田布施町		21 100.0	19 90.5	2 9.5	0 0.0	
平生町		17 100.0	13 76.5	4 23.5	0 0.0	
阿武町		6 100.0	6 100.0	0 0.0	0 0.0	
県外		27 100.0	20 74.1	6 22.2	1 3.7	
今の健康に感じているかどうか		健康である	588 100.0	417 70.9	169 28.7	2 0.3
		どちらかといえば健康である	887 100.0	702 79.1	183 20.6	2 0.2
		どちらかといえば健康でない	133 100.0	106 79.7	26 19.5	1 0.8
		健康でない	35 100.0	31 88.6	4 11.4	0 0.0
現在、誰と同居しているか		わからない	31 100.0	18 58.1	13 41.9	0 0.0
		配偶者	1023 100.0	808 79.0	212 20.7	3 0.3
	父母	432 100.0	322 74.5	109 25.2	1 0.2	
	祖父母	24 100.0	13 54.2	11 45.8	0 0.0	
	子	735 100.0	576 78.4	157 21.4	2 0.3	
	孫	11 100.0	7 63.6	4 36.4	0 0.0	
	兄弟姉妹	86 100.0	59 68.6	27 31.4	0 0.0	
	他の親族	9 100.0	5 55.6	4 44.4	0 0.0	
	その他	25 100.0	17 68.0	8 32.0	0 0.0	
	同居していない	216 100.0	150 69.4	65 30.1	1 0.5	
受診し検診を	受診している	788 100.0	673 85.4	114 14.5	1 0.1	
	受診していない	437 100.0	292 66.8	142 32.5	3 0.7	
	わからない	178 100.0	119 66.9	59 33.1	0 0.0	

【乳がん検診】受診の有無

(上段：件数、下段：%)

		全 体	受けた	受けていない	無回答	
全 体		980 100.0	499 50.9	480 49.0	1 0.1	
性 別	男性	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	女性	980 100.0	499 50.9	480 49.0	1 0.1	
年 代	20代以下	105 100.0	7 6.7	98 93.3	0 0.0	
	30代	163 100.0	29 68.5	134 31.5	0 0.0	
	40代	311 100.0	213 68.5	98 31.5	0 0.0	
	50代	292 100.0	191 65.4	101 34.6	0 0.0	
	60代以上	103 100.0	57 55.3	45 43.7	1 1.0	
仕 事 の 業 種	農業、林業	11 100.0	5 45.5	6 54.5	0 0.0	
	漁業	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	
	鉱業、採石業、砂利採取業	7 100.0	5 71.4	2 28.6	0 0.0	
	建設業	99 100.0	55 55.6	43 43.4	1 1.0	
	製造業	154 100.0	76 49.4	78 50.6	0 0.0	
	電気・ガス・熱供給・水道業	9 100.0	4 44.4	5 55.6	0 0.0	
	情報通信業	10 100.0	5 50.0	5 50.0	0 0.0	
	運輸業、郵便業	34 100.0	14 41.2	20 58.8	0 0.0	
	卸売業、小売業	114 100.0	63 55.3	51 44.7	0 0.0	
	金融・保険業	34 100.0	19 55.9	15 44.1	0 0.0	
	不動産業、物品賃貸業	5 100.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0	
	学術研究、専門・技術サービス業	15 100.0	9 60.0	6 40.0	0 0.0	
	宿泊業、飲食サービス業	32 100.0	14 43.8	18 56.3	0 0.0	
	生活関連サービス業、娯楽	19 100.0	13 68.4	6 31.6	0 0.0	
	教育、学習支援	48 100.0	22 45.8	26 54.2	0 0.0	
	医療、福祉	262 100.0	134 51.1	128 48.9	0 0.0	
	複合サービス業	8 100.0	6 75.0	2 25.0	0 0.0	
	サービス業（他に分類されないもの）	103 100.0	44 42.7	59 57.3	0 0.0	
	仕 事 の 雇 用 形 態	期間を定めずに雇用されている	876 100.0	449 51.3	426 48.6	1 0.1
		1か月以上の期間を定めて雇用されている	95 100.0	45 47.4	50 52.6	0 0.0
		1か月未満の期間を定めて雇用されている	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		あなた	42 100.0	27 64.3	15 35.7	0 0.0
	周 り で 、 がん に か か っ た 方 は い る か	配偶者	25 100.0	14 56.0	10 40.0	1 4.0
		父母	383 100.0	234 61.1	148 38.6	1 0.3
祖父母		416 100.0	208 50.0	208 50.0	0 0.0	
子		3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	
孫		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
兄弟姉妹		48 100.0	34 70.8	14 29.2	0 0.0	
他の親族		338 100.0	185 54.7	153 45.3	0 0.0	
友人		186 100.0	123 66.1	62 33.3	1 0.5	
知人		197 100.0	105 53.3	91 46.2	1 0.5	
同僚		151 100.0	86 57.0	64 42.4	1 0.7	
いない、わからない		116 100.0	29 25.0	87 75.0	0 0.0	

(上段：件数、下段：%)

		全 体	受けた	受けていない	無回答	
が ん う な つ 印 象 が ど の よ	かわいいと思わない	22 100.0	9 40.9	12 54.5	1 4.5	
	どちらかといえばかわいいと思わない	36 100.0	19 52.8	17 47.2	0 0.0	
	どちらかといえばかわいいと思う	286 100.0	146 51.0	140 49.0	0 0.0	
	かわいいと思う	572 100.0	306 53.5	266 46.5	0 0.0	
	わからない	16 100.0	5 31.3	11 68.8	0 0.0	
お 住 ま い	下関市	160 100.0	83 51.9	77 48.1	0 0.0	
	宇部市	124 100.0	61 49.2	63 50.8	0 0.0	
	山口市	150 100.0	75 50.0	75 50.0	0 0.0	
	萩市	28 100.0	14 50.0	13 46.4	1 3.6	
	防府市	80 100.0	39 48.8	41 51.3	0 0.0	
	下松市	44 100.0	27 61.4	17 38.6	0 0.0	
	岩国市	81 100.0	33 40.7	48 59.3	0 0.0	
	光市	35 100.0	18 51.4	17 48.6	0 0.0	
	長門市	32 100.0	22 68.8	10 31.3	0 0.0	
	柳井市	24 100.0	13 54.2	11 45.8	0 0.0	
	美祢市	23 100.0	12 52.2	11 47.8	0 0.0	
	周南市	96 100.0	50 52.1	46 47.9	0 0.0	
	山陽小野田市	46 100.0	16 34.8	30 65.2	0 0.0	
	周防大島町	5 100.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0	
	和木町	5 100.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0	
	上関町	3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	
	田布施町	14 100.0	8 57.1	6 42.9	0 0.0	
	平生町	9 100.0	8 88.9	1 11.1	0 0.0	
	阿武町	4 100.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	
	県外	10 100.0	5 50.0	5 50.0	0 0.0	
	よ う の 健 感 じ 状 態 を ど の よ	健康である	354 100.0	166 46.9	188 53.1	0 0.0
		どちらかといえば健康である	522 100.0	283 54.2	239 45.8	0 0.0
		どちらかといえば健康でない	63 100.0	31 49.2	31 49.2	1 1.6
		健康でない	13 100.0	8 61.5	5 38.5	0 0.0
現 在 、 誰 と 同 居 し て い る か	配偶者	507 100.0	300 59.2	206 40.6	1 0.2	
	父母	293 100.0	130 44.4	163 55.6	0 0.0	
	祖父母	19 100.0	7 36.8	12 63.2	0 0.0	
	子	409 100.0	235 57.5	174 42.5	0 0.0	
	孫	8 100.0	5 62.5	3 37.5	0 0.0	
	兄弟姉妹	68 100.0	18 26.5	50 73.5	0 0.0	
	他の親族	7 100.0	4 57.1	3 42.9	0 0.0	
	その他	18 100.0	6 33.3	12 66.7	0 0.0	
	同居していない	136 100.0	62 45.6	74 54.4	0 0.0	
	受 診 し て 診 い	受診している	452 100.0	282 62.4	169 37.4	1 0.2
		受診していない	256 100.0	104 40.6	152 59.4	0 0.0
		わからない	91 100.0	31 34.1	60 65.9	0 0.0

【子宮頸がん検診】受診の有無

(上段：件数、下段：%)

		全 体	受けた	受けていない	無回答	
全 体		980 100.0	602 61.4	376 38.4	2 0.2	
性 別	男性	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	女性	980 100.0	602 61.4	376 38.4	2 0.2	
年 代	20代以下	105 100.0	41 39.0	63 60.0	1 1.0	
	30代	163 100.0	104 63.8	59 36.2	0 0.0	
	40代	311 100.0	221 71.1	90 28.9	0 0.0	
	50代	292 100.0	179 61.3	113 38.7	0 0.0	
	60代以上	103 100.0	55 53.4	47 45.6	1 1.0	
仕 事 の 業 種	農業、林業	11 100.0	6 54.5	5 45.5	0 0.0	
	漁業	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	
	鉱業、採石業、砂利採取業	7 100.0	4 57.1	3 42.9	0 0.0	
	建設業	99 100.0	61 61.6	37 37.4	1 1.0	
	製造業	154 100.0	93 60.4	61 39.6	0 0.0	
	電気・ガス・熱供給・水道業	9 100.0	6 66.7	3 33.3	0 0.0	
	情報通信業	10 100.0	8 80.0	2 20.0	0 0.0	
	運輸業、郵便業	34 100.0	20 58.8	14 41.2	0 0.0	
	卸売業、小売業	114 100.0	80 70.2	34 29.8	0 0.0	
	金融・保険業	34 100.0	22 64.7	12 35.3	0 0.0	
	不動産業、物品賃貸業	5 100.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0	
	学術研究、専門・技術サービス業	15 100.0	12 80.0	3 20.0	0 0.0	
	宿泊業、飲食サービス業	32 100.0	19 59.4	13 40.6	0 0.0	
	生活関連サービス業、娯楽	19 100.0	15 78.9	4 21.1	0 0.0	
	教育、学習支援	48 100.0	23 47.9	25 52.1	0 0.0	
	医療、福祉	262 100.0	157 59.9	105 40.1	0 0.0	
	複合サービス業	8 100.0	6 75.0	2 25.0	0 0.0	
	サービス業（他に分類されないもの）	103 100.0	60 58.3	42 40.8	1 1.0	
	仕 事 の 雇 用 形 態	期間を定めずに雇用されている	876 100.0	546 62.3	328 37.4	2 0.2
		1か月以上の期間を定めて雇用されている	95 100.0	52 54.7	43 45.3	0 0.0
1か月未満の期間を定めて雇用されている		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
あなた		42 100.0	25 59.5	17 40.5	0 0.0	
周 り で 、 がん に か っ た 方 は い る か	配偶者	25 100.0	16 64.0	8 32.0	1 4.0	
	父母	383 100.0	245 64.0	137 35.8	1 0.3	
	祖父母	416 100.0	269 64.7	146 35.1	1 0.2	
	子	3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	
	孫	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	兄弟姉妹	48 100.0	35 72.9	13 27.1	0 0.0	
	他の親族	338 100.0	221 65.4	117 34.6	0 0.0	
	友人	186 100.0	130 69.9	55 29.6	1 0.5	
	知人	197 100.0	127 64.5	69 35.0	1 0.5	
	同僚	151 100.0	103 68.2	47 31.1	1 0.7	
	いない、わからない	116 100.0	57 49.1	59 50.9	0 0.0	

(上段：件数、下段：%)

		全 体	受けた	受けていない	無回答
が ん に つ い て の 印 象 が ど の よ	こわいと思わない	22 100.0	10 45.5	11 50.0	1 4.5
	どちらかといえばこわいと思わない	36 100.0	23 63.9	13 36.1	0 0.0
	どちらかといえばこわいと思う	286 100.0	169 59.1	117 40.9	0 0.0
	こわいと思う	572 100.0	374 65.4	198 34.6	0 0.0
	わからない	16 100.0	6 37.5	10 62.5	0 0.0
お 住 ま い	下関市	160 100.0	89 55.6	71 44.4	0 0.0
	宇部市	124 100.0	77 62.1	47 37.9	0 0.0
	山口市	150 100.0	93 62.0	56 37.3	1 0.7
	萩市	28 100.0	21 75.0	6 21.4	1 3.6
	防府市	80 100.0	42 52.5	38 47.5	0 0.0
	下松市	44 100.0	43 97.7	1 2.3	0 0.0
	岩国市	81 100.0	49 60.5	32 39.5	0 0.0
	光市	35 100.0	17 48.6	18 51.4	0 0.0
	長門市	32 100.0	22 68.8	10 31.3	0 0.0
	柳井市	24 100.0	14 58.3	10 41.7	0 0.0
	美祢市	23 100.0	13 56.5	10 43.5	0 0.0
	周南市	96 100.0	61 63.5	35 36.5	0 0.0
	山陽小野田市	46 100.0	26 56.5	20 43.5	0 0.0
	周防大島町	5 100.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0
	和木町	5 100.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0
	上関町	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
	田布施町	14 100.0	6 42.9	8 57.1	0 0.0
	平生町	9 100.0	6 66.7	3 33.3	0 0.0
	阿武町	4 100.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0
	県外	10 100.0	7 70.0	3 30.0	0 0.0
よ う に 健 感 じ 状 態 を ど の か	健康である	354 100.0	215 60.7	139 39.3	0 0.0
	どちらかといえば健康である	522 100.0	334 64.0	187 35.8	1 0.2
	どちらかといえば健康でない	63 100.0	34 54.0	28 44.4	1 1.6
	健康でない	13 100.0	8 61.5	5 38.5	0 0.0
	わからない	21 100.0	7 33.3	14 66.7	0 0.0
現 在 、 誰 と 同 居 し て い る か	配偶者	507 100.0	350 69.0	155 30.6	2 0.4
	父母	293 100.0	155 52.9	138 47.1	0 0.0
	祖父母	19 100.0	13 68.4	6 31.6	0 0.0
	子	409 100.0	285 69.7	123 30.1	1 0.2
	孫	8 100.0	6 75.0	2 25.0	0 0.0
	兄弟姉妹	68 100.0	21 30.9	47 69.1	0 0.0
	他の親族	7 100.0	5 71.4	2 28.6	0 0.0
	その他	18 100.0	13 72.2	5 27.8	0 0.0
	同居していない	136 100.0	77 56.6	59 43.4	0 0.0
	受 診 し 検 診 を	受診している	452 100.0	309 68.4	142 31.4
受診していない		256 100.0	154 60.2	101 39.5	1 0.4
わからない		91 100.0	38 41.8	53 58.2	0 0.0

第五章 資料 [調査票]

職域におけるがん検診等に関する調査

事業所向け

- この調査票では、貴事業所での従業員に対する「がん検診」の実施状況や取組等についてお伺いし、今後の山口県のがん対策に関する取組に反映させることを目的に実施するものです。
- 調査結果は、事業所が特定されないよう統計処理を行います。
- 特に指定のない限り、貴事業所の常用雇用者の状況についてお伺いします。
- 特に指定のない限り、令和3年度（令和3（2021）年4月1日から令和4（2022）年3月31日まで）の状況についてお伺いします。
- この調査では、国が推奨する5つの部位のがん検診を中心にお伺いします。
(胃、大腸、肺、乳、子宮)
- 「がん検診」という名称の検診を受けた場合だけでなく、職場の定期健康診断や人間ドック等でがんの検査を受けた場合も含めてお答えください。

例：バリウムを飲みX線を撮る検査＝胃がん検診、
胸部のX線（レントゲン）を撮る検査＝肺がん検診
- 調査票は全部で11 ページで、回答は15 分ほどで終わります。
- 回答はこの調査票に直接ご記入ください。
- ご回答期限 令和4年9月9日（金）

本調査の趣旨をご理解いただき、回答へのご協力をお願いいたします。

【本調査で使用する用語の解説】

- 常用雇用者：期間を定めずに雇用されている人又は1ヶ月以上の期間を定めて雇用されている人
- 従業員：事業所に所属して働いているすべての人
- 特定健診：高齢者の医療の確保に関する法律に基づき各保険者（健康保険組合、全国健康保険協会管掌健康保険（協会けんぽ）等）が40歳以上75歳未満の加入者に対して実施する健康診査
- 事業者健診：労働安全衛生法に基づき事業主が従業員に実施することが義務付けられている定期健康診断

（調査受託者：返送・問い合わせ先）

株式会社東京商工リサーチ 山口支店
(〒745-0034 山口県周南市銀南街1徳山センタービル4階)
電話番号：0834-22-1060（平日9:00～17:00）
FAX：0834-32-3153
Eメール：yamaguchi.br@tsr-net.co.jp

（調査実施主体）

山口県 健康福祉部 医療政策課
(〒753-8501 山口県山口市滝町1番1号)



© 山口県

<貴事業所の概要についてお伺いします>

問1 以下についてお答えください。

1 常用雇用者数 (令和3年4月1日現在)	(数字をご記入ください)	事業所の全常用雇用者数(年代別) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;"> 期間を定めずに雇用されている人又は1か月以上の期間を定めて雇用されている人の人数を記入してください。 </div> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>30歳未満</th> <th>30~39歳</th> <th>40~49歳</th> <th>50~59歳</th> <th>60歳代以上</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							30歳未満	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳代以上	計	男性							女性							計						
		30歳未満	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳代以上	計																												
男性																																			
女性																																			
計																																			
	(1つだけ○)	企業の常用雇用者数 (本・支店を合わせた全常用雇用者数) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;"> 事業所と同一企業(同一会社)に属するすべての事業所(本社、支社、工場、営業所等)の常用雇用者数を記入してください。 調査事業所が1企業1事業所である場合には企業全体の常用雇用者数は調査事業所の常用雇用者数に一致します。 </div> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>1</td> <td>10~19人</td> <td>4</td> <td>50~99人</td> <td>7</td> <td>300人以上</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>20~29人</td> <td>5</td> <td>100~199人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>30~49人</td> <td>6</td> <td>200~299人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						1	10~19人	4	50~99人	7	300人以上	2	20~29人	5	100~199人			3	30~49人	6	200~299人												
1	10~19人	4	50~99人	7	300人以上																														
2	20~29人	5	100~199人																																
3	30~49人	6	200~299人																																
2 健康保険の種類 (1つだけ○)	1 国民健康保険 2 全国健康保険協会管掌健康保険(協会けんぽ、船員保険) 3 組合健康保険(健康保険組合) 4 その他																																		
3 保健事業の 専門スタッフ数 (常勤)	<table style="width: 100%;"> <tr> <td>医師</td> <td>: _____人</td> <td>栄養士</td> <td>: _____人</td> </tr> <tr> <td>保健師</td> <td>: _____人</td> <td>その他</td> <td>: _____人</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>: _____人</td> <td colspan="2">その他の専門スタッフ(具体的に)</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>: _____人</td> <td colspan="2" rowspan="2" style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px;"> _____ </td> </tr> </table>						医師	: _____人	栄養士	: _____人	保健師	: _____人	その他	: _____人	看護師	: _____人	その他の専門スタッフ(具体的に)		管理栄養士	: _____人	_____														
医師	: _____人	栄養士	: _____人																																
保健師	: _____人	その他	: _____人																																
看護師	: _____人	その他の専門スタッフ(具体的に)																																	
管理栄養士	: _____人	_____																																	
4 保健事業の 専門スタッフ数 (非常勤)	<table style="width: 100%;"> <tr> <td>医師</td> <td>: _____人</td> <td>栄養士</td> <td>: _____人</td> </tr> <tr> <td>保健師</td> <td>: _____人</td> <td>その他</td> <td>: _____人</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>: _____人</td> <td colspan="2">その他の専門スタッフ(具体的に)</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>: _____人</td> <td colspan="2" rowspan="2" style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px;"> _____ </td> </tr> </table>						医師	: _____人	栄養士	: _____人	保健師	: _____人	その他	: _____人	看護師	: _____人	その他の専門スタッフ(具体的に)		管理栄養士	: _____人	_____														
医師	: _____人	栄養士	: _____人																																
保健師	: _____人	その他	: _____人																																
看護師	: _____人	その他の専門スタッフ(具体的に)																																	
管理栄養士	: _____人	_____																																	
5 安全衛生管理体制	<table style="width: 100%;"> <tr> <td>統括衛生管理者</td> <td>: _____人</td> <td>衛生管理者</td> <td>: _____人</td> </tr> <tr> <td>安全管理者</td> <td>: _____人</td> <td>安全衛生推進者</td> <td>: _____人</td> </tr> <tr> <td>産業医</td> <td>: _____人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						統括衛生管理者	: _____人	衛生管理者	: _____人	安全管理者	: _____人	安全衛生推進者	: _____人	産業医	: _____人																			
統括衛生管理者	: _____人	衛生管理者	: _____人																																
安全管理者	: _____人	安全衛生推進者	: _____人																																
産業医	: _____人																																		

【参考 がん検診の検査方法について】

- 1 胃がん検診(胃X線検査)
バリウム(造影剤)と発泡剤(胃を膨らませる薬)を飲み、胃の中の粘膜を観察する検査です。
- 2 胃がん検診(胃内視鏡検査)
口または鼻から内視鏡(胃カメラ)を挿入し、胃の中を内視鏡で直接観察する検査です。
- 3 大腸がん検診(便潜血検査)
便を採取して、便に混じった大腸からの出血を調べる検査です。
- 4 肺がん検診(胸部X線検査)
胸部のX線(レントゲン)を撮る検査です。
- 5 肺がん検診(喀痰細胞診)
採取した痰の中の細胞を検査します。主に喫煙者を対象に「胸部X線検査」とあわせて行います。
- 6 乳がん検診(マンモグラフィ検査)
乳房を圧迫板で挟み、乳房専用のX線(レントゲン)装置で撮影する検査です。
- 7 子宮頸がん検診(細胞診)
子宮頸部の細胞を採取する検査です。

<貴事業所の概要についてお伺いします>

問2 貴事業所では、令和3年度に「がん検診」を実施しましたか。
 それぞれのがん検診について、実施の有無をお答えください。（該当する番号を1つだけ○）
 また、実施している検査方法については、検査方法ごとに、対象年齢、検診の間隔、受診者数についても
 お答えください。
 実施していないがん検診の部位がある場合については、問10 および問11（9 ページ）をお答えください。
 （※再検査・精密検査ではなく、最初に実施する検査（一次検診）についてお伺いします。）

部位	検査方法	実施の有無	対象年齢	検診の間隔	新型コロナによるがん検診実施への影響
①胃がん	胃X線検査	1 有 2 無 (R2実施) 3 無 (R2不実施)	1 有 ⇒ 歳以上 2 無	1 毎年 2 2年に1回 3 その他 ()	1 実施見送り 2 規模縮小 3 影響なし
	胃内視鏡検査	1 有 2 無 (R2実施) 3 無 (R2不実施)	1 有 ⇒ 歳以上 2 無	1 毎年 2 2年に1回 3 その他 ()	1 実施見送り 2 規模縮小 3 影響なし
②大腸がん	便潜血検査	1 有 2 無 (R2実施) 3 無 (R2不実施)	1 有 ⇒ 歳以上 2 無	1 毎年 2 2年に1回 3 その他 ()	1 実施見送り 2 規模縮小 3 影響なし
③肺がん	胸部X線検査	1 有 2 無 (R2実施) 3 無 (R2不実施)	1 有 ⇒ 歳以上 2 無	1 毎年 2 2年に1回 3 その他 ()	1 実施見送り 2 規模縮小 3 影響なし
	喀痰細胞診	1 有 2 無 (R2実施) 3 無 (R2不実施)	1 有 ⇒ 歳以上 2 無	1 毎年 2 2年に1回 3 その他 ()	1 実施見送り 2 規模縮小 3 影響なし
④乳がん	マンモグラフィ検査	1 有 2 無 (R2実施) 3 無 (R2不実施)	1 有 ⇒ 歳以上 2 無	1 毎年 2 2年に1回 3 その他 ()	1 実施見送り 2 規模縮小 3 影響なし
⑤子宮頸がん	細胞診 (医師による採取)	1 有 2 無 (R2実施) 3 無 (R2不実施)	1 有 ⇒ 歳以上 2 無	1 毎年 2 2年に1回 3 その他 ()	1 実施見送り 2 規模縮小 3 影響なし

令和3年度のがん検診の受診者数を性・年齢階級別に記入してください。

部位	性別	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	新型コロナ感染拡大以前（R元年度）からの受診者数の増減
①胃がん	男							1 増 2 変化なし 3 減
	女							
②大腸がん	男							1 増 2 変化なし 3 減
	女							
③肺がん	男							1 増 2 変化なし 3 減
	女							
④乳がん	女							1 増 2 変化なし 3 減
⑤子宮頸がん	女							1 増 2 変化なし 3 減

問3 それぞれのがん検診について、実施方法、検診費用の自己負担の状況についてお答えください。
 (該当する番号を1つだけ○)
 実施していない部位については、回答不要です。

部位	実施方法	検診費用の自己負担の状況
①胃がん	1 がん検診単独で実施 2 他の健康診断と同時に実施 (保険者が実施する特定健診等と同時に実施) 3 他の健康診断と同時に実施 (事業者健診の項目に追加して実施) 4 その他の方法で実施 ()	1 自己負担なし 2 一部負担 (健保や事業所からの助成) 3 その他 ()
②大腸がん	1 がん検診単独で実施 2 他の健康診断と同時に実施 (保険者が実施する特定健診等と同時に実施) 3 他の健康診断と同時に実施 (事業者健診の項目に追加して実施) 4 その他の方法で実施 ()	1 自己負担なし 2 一部負担 (健保や事業所からの助成) 3 その他 ()
③肺がん	1 がん検診単独で実施 2 他の健康診断と同時に実施 (保険者が実施する特定健診等と同時に実施) 3 他の健康診断と同時に実施 (事業者健診の項目に追加して実施) 4 その他の方法で実施 ()	1 自己負担なし 2 一部負担 (健保や事業所からの助成) 3 その他 ()
④乳がん	1 がん検診単独で実施 2 他の健康診断と同時に実施 (保険者が実施する特定健診等と同時に実施) 3 他の健康診断と同時に実施 (事業者健診の項目に追加して実施) 4 その他の方法で実施 ()	1 自己負担なし 2 一部負担 (健保や事業所からの助成) 3 その他 ()
⑤子宮頸がん	1 がん検診単独で実施 2 他の健康診断と同時に実施 (保険者が実施する特定健診等と同時に実施) 3 他の健康診断と同時に実施 (事業者健診の項目に追加して実施) 4 その他の方法で実施 ()	1 自己負担なし 2 一部負担 (健保や事業所からの助成) 3 その他 ()

問4 がん検診の種類ごとに、実施場所及び時間帯についてお答えください。

	検診の実施場所 (該当する番号をすべて○)					検診の時間帯 (該当する番号をすべて○)		
	検診機 関で実 施	出張検 診車や 事業所 等で	病院・ 診療所 で実 施	自己採 取によ る郵 送で実 施	その他 具体的に 記入	勤務時 間内	勤務時 間の前 後	勤務の 休業日
①胃がん	1	2	3	/	5	1	2	3
②大腸がん	1	2	3	4	5	1	2	3
③肺がん	1	2	3	4	5	1	2	3
④乳がん	1	2	3	/	5	1	2	3
⑤子宮頸がん	1	2	3	4	5	1	2	3

問5 貴事業所では、常用雇用者以外の従業員や常用雇用者が扶養している配偶者に対しても、がん検診を実施していますか。(がん検診の種類ごとに、該当する番号を1つだけ○)

	常用雇用者以外の 従業員			常用雇用者が扶養している 配偶者		
	や実 施して おり、 実施 内容 も同 じ	容 実 施し てい るが、 実施 内 容が 異 なる	実 施し てい ない	や実 施して おり、 実施 内容 も同 じ	容 実 施し てい るが、 実施 内 容が 異 なる	実 施し てい ない
①胃がん	1	2	3	1	2	3
②大腸がん	1	2	3	1	2	3
③肺がん	1	2	3	1	2	3
④乳がん	1	2	3	1	2	3
⑤子宮頸がん	1	2	3	1	2	3

問6 貴事業所では、問2以外のがん検診を実施していますか。

(該当する番号を1つだけ○)

1 <u>実施している</u>	2 実施していない
-----------------	-----------

→ (具体的にご記入ください。)

	がんの種類	対象年齢	検査方法
<例>	前立腺がん	50歳以上	PSA検査

＜貴事業所でのがん検診実施後の対応についてお伺いします＞

問7 常用雇用者へ のがん検診の結果通知および要精密検査該当者への受診勧奨等についてお答えください。

(1) 常用雇用者のがん検診の結果について把握していますか。(該当する番号を1つだけ○)

1	すべての受診者の結果を把握している	
2	一部の受診者の結果を把握している	
3	把握していない	⇒ 問7(5)へ
4	その他()	⇒ 問8へ

(問7(1)で、「1」または「2」とお答えの方に)

▶(2) 個人のがん検診の結果の把握の方法についてお答えください。(該当する番号をすべて○)

1	がん検診を行う機関から提供を受けている
2	本人から提供を受けている
3	保険者から提供を受けている
4	その他()

(問7(1)で、「1」または「2」とお答えの方に)

▶(3) 要精密検査該当者への対応状況についてお答えください。(該当する番号を1つだけ○)

1	結果通知のほかに、精密検査受診の勧奨を1回行う	
2	結果通知のほかに、精密検査受診の勧奨を受診が確認できるまで行う	
3	結果通知のみを行っている	⇒ 問8へ
4	結果通知等は行っていない(精密検査受診の勧奨等は、一切行っていない)	⇒ 問8へ
5	その他()	⇒ 問8へ

(問7(3)で、「1」または「2」とお答えの方に)

▶(4) 精密検査の受診勧奨等の実施方法についてお答えください。(該当する番号をすべて○)

1	文書(郵送、社内便 等)	4	FAX
2	電子メール	5	面談
3	電話	6	その他()

⇒ 問8へお進みください

(問7(1)で、「3」とお答えの方に)

(5) がん検診の個人ごとの結果を把握していない理由についてお答えください。

(該当する番号をすべて○)

1	検診結果は個人情報となるため
2	把握するだけの体制がないため
3	把握するだけの時間がないため
4	希望者のみの選択実施であり個別の結果把握が困難なため
5	検診対象者数や受診者数が把握できていないため
6	その他()

(すべての方に)

問8 常用雇用者のがん検診の精密検査結果について把握していますか。

(該当する番号を1つだけ○)

1	すべて把握している	3	把握していない
2	一部把握している	4	その他()

＜貴事業所でのがん検診の受診者を増やす取組についてお伺いします＞

問9 貴事業所では、がん検診の受診者を増やす取組を実施していますか。

(該当する番号を1つだけ○)

1 実施している	⇒ 問9-1、問9-2へ
2 実施していない	⇒ 問9-3、問9-4へ(次のページ)

(問9で、「1 実施している」とお答えの方に)

問9-1 実施している取組について、あてはまるものを次の中からすべて選んでください。

また、そのうち、受診者の増加に最も効果的だと考える取組を1つだけ選んでください。

	回答例	実施している取組 (該当すべてに○)	回答例	受診者増加に最も効果的だと考える取組 (1つだけ○)
(1) がん検診受診費用の補助	1	1	1	1
(2) がん検診を実施する近隣の医療機関との提携	2	2	2	2
(3) がん検診を受けやすい勤務環境づくり (がん検診受診時間を就労扱いにするなど)	3	3	3	3
(4) がん検診受診の利便性の向上 (申込方法の簡素化など)	4	4	4	4
(5) 上司から部下へのがん検診の受診勧奨	5	5	5	5
(6) 保健事業を担当するスタッフ(衛生管理者など)からのがん検診の受診勧奨	6	6	6	6
(7) 手紙や電子メール等を使った従業員個人へのがん検診の受診勧奨や情報提供	7	7	7	7
(8) 広報誌やホームページ等を使った従業員全体へのがん検診の受診勧奨や情報提供	8	8	8	8
(9) 事業所内でのがん検診に関する勉強会・講演会・セミナーの開催	9	9	9	9
(10) 市町が作成したがん検診のチラシやパンフレット等を使った情報提供	10	10	10	10
(11) がん検診受診促進につながる動機付け (ポイントプログラム等)	11	11	11	11
(12) その他()	12	12	12	12

(問9で、「1 実施している」とお答えの方に)

問9-2 問9-1でのがん検診受診者の増加の取組のほか、実施している取組があればお答えください。

(該当する番号をすべて○)

1 運動や禁煙指導など、がん予防のためのプログラムの作成や活動を行った
2 がん検診に関する予算を増額した
3 「がん検診普及員」など、従業員の中からがん予防の取組を推進する人材を指名した
4 従業員の家族に対してがん検診受診の呼びかけ(チラシの配布等)を行った
5 顧客や取引先に対してがん検診受診の呼びかけ(チラシの配布等)を行った
6 行政と協働してがん予防を啓発するイベント等を実施した
7 他の企業や事業所と協働してがん予防を啓発するイベント等を実施した
8 その他()
9 特になし

⇒ 問10(9ページ)へお進みください

(問9で、「2 実施していない」とお答えの方に)
問9-3 理由としてあてはまるものを次の中から選んでください。
(該当する番号をすべて○)

- 1 がん検診に関する予算が不足している
- 2 衛生管理者など保健事業を担当するスタッフが不在、または不足している
- 3 近隣にがん検診を実施する医療機関がない、または少ない
- 4 経営層が、がん検診受診の重要性や必要性を理解していない
- 5 従業員が、がん検診受診の重要性や必要性を理解していない
- 6 従業員にがん検診の受診勧奨を行う手段がない
- 7 その他 ()
- 8 特に理由はない
- 9 わからない

(問9で、「2 実施していない」とお答えの方に)
問9-4 今後の取組の実施にあたって、行政に期待することを次の中から選んでください。
(該当する番号をすべて○)

- 1 経営層に向けた、がん検診受診の重要性などに関する講演会やセミナーの開催
- 2 従業員に対する効果的ながん検診の受診勧奨・情報提供方法の事例紹介
- 3 事業所でのがん検診実施のためのマニュアルの作成、配布
- 4 チラシ・ポスターによるがん検診の案内
- 5 ホームページによるがん検診の案内
- 6 マスメディアによるがん検診の案内
- 7 がん検診に関する情報やデータの提供
- 8 がん検診に積極的な事業所の表彰
- 9 その他 ()
- 10 特にない

(問2でがん検診の種類ごとに1つでも「実施していない」と回答された事業所にお伺いします。)

問10 貴事業所以外で実施しているがん検診の受診を促していますか。

(がん検診の種類ごとに、該当する番号をすべて○)

	促している (市町が実施する がん検診等の 内容の周知)	促している (個人での人間 ドック受診の 費用補助)	促している (その他の方法) 具体的に記入	促していない
①胃がん	1	2	3	4
②大腸がん	1	2	3	4
③肺がん	1	2	3	4
④乳がん	1	2	3	4
⑤子宮頸がん	1	2	3	4

(問2でがん検診の種類ごとに1つでも「実施していない」と回答された事業所にお伺いします。)

問11 がん検診を実施していない理由についてお答えください。

(がん検診の種類ごとに、該当する番号をすべて○)

	い診が 機ん た関 めが ね検 ない診 をを 依頼 でき る な 検	た と め が ん な い 検 診 を 受 け る 時 間 が	高 額 で あ る に 要 す る 費 用 が	煩 雑 で あ る に 関 す る 事 務 が	し 従 業 員 が な い た め が ん 検 診 を 希 望	い 法 に ん 義 務 付 け ら れ て い な い 衛 生	い 従 業 員 (対 象 者) が 少 な	そ の 他 具 体 的 に 記 入
①胃がん	1	2	3	4	5	6	7	8
②大腸がん	1	2	3	4	5	6	7	8
③肺がん	1	2	3	4	5	6	7	8
④乳がん	1	2	3	4	5	6	7	8
⑤子宮頸がん	1	2	3	4	5	6	7	8

<がん検診に関する県や市町への要望についてお伺いします>

問12 がん検診に関する県や市町村に対する要望についてお答えください。(該当する番号をすべて○)

- 1 自治体と職域が連携できる場や連携しやすい仕組みづくり
- 2 がん検診の受診を呼びかけるキャンペーンの推進
- 3 従業員にがん検診の重要性をわかりやすく伝える資料やデータ等の提供
- 4 取組が優良な事業所や健康保険組合の表彰
- 5 その他
〔 〕

＜貴事業所の「がん治療と仕事の両立支援」に関する取組についてお伺いします＞

問13 貴事業所において、がんが発見された従業員が仕事と治療を両立できるための制度等があればお答えください。

(該当する番号をすべて○)

1 社員や管理職、人事・総務などを対象とした研修の実施	10 業務内容や職種、勤務地などの変更
2 時間単位の年次有給休暇	11 法定給付に上乗せする給付や法定給付の期間を延長する給付期間のある傷病手当金
3 傷病休暇・病気休暇制度	12 事業所独自の賃金等補償制度 (補助金・見舞金等含む)
4 休暇期間延長制度	13 就労相談窓口の設置
5 時差出勤	14 その他
6 勤務時間の変更、短時間勤務制度	()
7 勤務日・勤務日数の変更	
8 在宅勤務制度(テレワーク)	
9 仮出勤・仮出社・試し出勤	

問14 貴事業所には、現在、がんを治療中の従業員の方はいらっしゃいますか。

(該当する番号を1つだけ○)

1 いる
2 いない
3 把握していない

→(問14で、「1 いる」とお答えの方に)

問15 がんを治療中の方の就労について、本人と相談のうえ、業務内容を決めていますか。

(該当する番号を1つだけ○)

1 相談のうえ決めている
2 特に相談していない

→(問15で、「1 相談のうえ決めている」とお答えの方に)

問16 主治医の意見書等の提出を求めていますか。

(該当する番号を1つだけ○)

1 提出を求めている
2 提出を求めている

<御回答いただいた方について、記入をお願いします。>

事業所名							
事業所所在地	〒 山口県 市町						
回答者様の氏名							
回答者様の所属							
回答者様の担当部門	<table border="0"> <tr> <td>1 人事部門</td> <td>4 健康管理部門</td> </tr> <tr> <td>2 総務部門</td> <td>5 事業主</td> </tr> <tr> <td>3 広報・CSR部門</td> <td>6 その他 ()</td> </tr> </table>	1 人事部門	4 健康管理部門	2 総務部門	5 事業主	3 広報・CSR部門	6 その他 ()
1 人事部門	4 健康管理部門						
2 総務部門	5 事業主						
3 広報・CSR部門	6 その他 ()						
電話番号	— —						
FAX番号 (FAXでの問い合わせを希望する場合)	— —						
e-mailアドレス (メールでの問い合わせを希望する場合)	@						

調査票に無記入箇所や不明な箇所があった場合、調査担当者より照会をさせていただく場合がございます。

質問は以上です。御協力いただき、ありがとうございました。

従業員のがん検診の受診状況等に関する調査

従業員向け

- この調査票では、「がん検診の受診」や「仕事とがん治療の両立」についての状況や意識などについてお伺いし、今後の山口県のがん対策に関する取組に反映させることを目的に実施するものです。
- 調査結果は、個人が特定されないよう統計処理を行います。
- この調査では、国が推奨する5つの部位のがん検診を中心にお伺いします。
(胃、大腸、肺、乳、子宮)
- 「がん検診」という名称の検診を受けた場合だけでなく、職場の定期健康診断や人間ドック等でがんの検査を受けた場合も含めてお答えください。

例：バリウムを飲みX線を撮る検査＝胃がん検診、
胸部のX線（レントゲン）を撮る検査＝肺がん検診
- 調査票は全部で 10 ページで、回答は 15分ほどで終わります。
- 回答はこの調査票に直接ご記入ください。
- ご回答期限 令和4年9月9日（金）

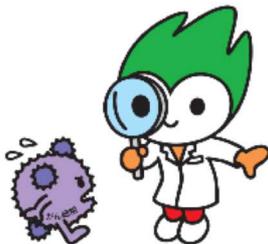
本調査の趣旨をご理解いただき、回答へのご協力をお願いいたします。

(調査受託者：返送・問い合わせ先)

株式会社東京商工リサーチ 山口支店
(〒745-0034 山口県周南市銀南街1 徳山センタービル4階)
電話番号：0834-22-1060 (平日9:00~17:00)
FAX：0834-32-3153
Eメール：yamaguchi.br@tsr-net.co.jp

(調査実施主体)

山口県 健康福祉部 医療政策課
(〒753-8501 山口県山口市滝町1番1号)



© 山口県



© 山口県

<がんに対する印象・認識についてお伺いします>

問1 あなたは、がんについてどのような印象を持っていますか。

(該当する番号を1つだけ○)

1	こわいと思わない
2	どちらかといえばこわいと思わない
3	どちらかといえばこわいと思う
4	こわいと思う
5	わからない

▶(問1で、「3 どちらかといえばこわいと思う」、「4 こわいと思う」とお答えの方に)

問1-1 あなたが、がんをこわいと思う理由は何ですか。(該当する番号をすべて○)

1	がんで死に至る場合があるから
2	がんそのものや治療により、痛みなどの症状が出る場合があるから
3	がんが治っても、後遺症が残る場合があるから
4	がんの治療費が高額になる場合があるから
5	がんによって仕事を長期間休むか、辞めざるをえない場合があるから
6	治療を受けるための医療機関を見つけるのが大変そうだから
7	治療や療養には、家族や友人などに負担をかける場合があるから
8	その他 ()

＜あなたの「がん検診」の受診状況についてお伺いします＞

問2 あなたは過去2年間に胃がん検診（胃X線検査または胃内視鏡検査）を受けましたか。

- 胃 X 線検査
バリウム（造影剤）と発泡剤（胃を膨らませる薬）を飲み、胃の中の粘膜を観察する検査です。
- 胃内視鏡検査
口または鼻から内視鏡（胃カメラ）を挿入し、胃の中を内視鏡で直接観察する検査です。

（該当する番号を1つだけ○）

- 1 受けた ⇒ 問2-1へ
- 2 受けていない ⇒ 問2-2へ

（問2で「1 受けた」とお答えの方に）

問2-1 あなたが胃がん検診を受けた理由は何ですか。（該当する番号をすべて○）

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------------|
| 1 健康診断や検診の対象年齢だったから | 13 費用が無料だったから |
| 2 気になる症状があったから | 14 費用が安かったから |
| 3 健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていたから | 15 家族ががんにかかったから |
| 4 職場や市町村からお知らせ・案内が来たから | 16 友人ががんにかかったから |
| 5 家族に受診を勧められたから | 17 ニュースなどで有名人ががんにかかったことを知ったから |
| 6 友人に受診を勧められたから | 18 自分の健康管理のため |
| 7 検診を勧める情報を見聞きしたから | 19 過去に自分ががんにかかったことがあるから |
| 8 自宅や職場の近くで受診できたから | 20 その他 |
| 9 かかりつけ医で受診できたから | () |
| 10 医師の指示や勧めがあったから | そのうち最も大きな理由 |
| 11 勤務時間中に受けられたから | (口の中に数字を記入) ⇒⇒⇒ <input type="text"/> |
| 12 早朝・夜間や休日に受診できたから | |

（問2で「2 受けていない」とお答えの方に）

問2-2 あなたが胃がん検診を受けなかった理由は何ですか。（該当する番号をすべて○）

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------------|
| 1 健康診断や検診の対象年齢ではないから | 13 うっかり受診するのを忘れてしまったから |
| 2 健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていなかったから | 14 忙しいため、がん検診を受ける時間がとれなかったから |
| 3 検査に痛みや苦しさがあると思うから | 15 自宅や職場のそばに受診できる場所がないから |
| 4 費用が高いから | 16 平日夜間や休日に受診できる医療機関が近くにないから |
| 5 がん検診に手間や時間を割きたくないから | 17 心配なときはいつでも医療機関を受診できるから |
| 6 がんの見落としなど、検診に不信感があるから | 18 健康に自信があるから |
| 7 がんが見つかることに不安や恐怖があるから | 19 面倒だったから |
| 8 がんが見つかることで今までの生活や環境が変わりそうだから | 20 恥ずかしいから |
| 9 職場や市町村からお知らせ・案内が来なかったから | 21 新型コロナの感染リスクが高まりそうだから |
| 10 どこでどのように受診すればよいか、わからなかったから | 22 その他 |
| | () |
| 11 どのような検査をされるのか知らないから | そのうち最も大きな理由 |
| 12 がん検診そのものを知らないから | (口の中に数字を記入) ⇒⇒⇒ <input type="text"/> |

問3 あなたは過去1年間に大腸がん検診（便潜血検査）を受けましたか。

- 大腸がん検診（便潜血検査）
便を採取して、便に混じった大腸からの出血を調べる検査です。

（該当する番号を1つだけ○）

- | | |
|----------|---------|
| 1 受けた | ⇒ 問3-1へ |
| 2 受けていない | ⇒ 問3-2へ |

（問3で「1 受けた」とお答えの方に）

問3-1 あなたが大腸がん検診を受けた理由は何ですか。（該当する番号をすべて○）

1 健康診断や検診の対象年齢だったから	13 費用が無料だったから
2 気になる症状があったから	14 費用が安かったから
3 健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていたから	15 家族ががんにかかったから
4 職場や市町村からお知らせ・案内が来たから	16 友人ががんにかかったから
5 家族に受診を勧められたから	17 ニュースなどで有名人ががんにかかったことを知ったから
6 友人に受診を勧められたから	18 自分の健康管理のため
7 検診を勧める情報を見聞きしたから	19 過去に自分ががんにかかったことがあるから
8 自宅や職場の近くで受診できたから	20 その他
9 かかりつけ医で受診できたから	()
10 医師の指示や勧めがあったから	そのうち最も大きな理由
11 勤務時間中に受けられたから	(口の中に数字を記入) ⇒⇒⇒
12 早朝・夜間や休日に受診できたから	<input type="text"/>

（問3で「2 受けていない」とお答えの方に）

問3-2 あなたが大腸がん検診を受けなかった理由は何ですか。（該当する番号をすべて○）

1 健康診断や検診の対象年齢ではないから	13 うっかり受診するのを忘れてしまったから
2 健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていなかったから	14 忙しいため、がん検診を受ける時間がとれなかったから
3 検査に痛みや苦しさがあると思うから	15 自宅や職場のそばに受診できる場所がないから
4 費用が高いから	16 平日夜間や休日に受診できる医療機関が近くにないから
5 がん検診に手間や時間を割きたくないから	17 心配なときはいつでも医療機関を受診できるから
6 がんの見落としなど、検診に不信感があるから	18 健康に自信があるから
7 がんが見つかることに不安や恐怖があるから	19 面倒だったから
8 がんが見つかることで今までの生活や環境が変わりそうだから	20 恥ずかしいから
9 職場や市町村からお知らせ・案内が来なかったから	21 新型コロナウイルスの感染リスクが高まりそうだから
10 どこでどのように受診すればよいか、わからなかったから	22 その他
11 どのような検査をされるのかわからないから	()
12 がん検診そのものを知らないから	そのうち最も大きな理由
	(口の中に数字を記入) ⇒⇒⇒
	<input type="text"/>

問 4 あなたは過去1 年間に肺がん検診（胸部X線検査）を受けましたか。

○ 肺がん検診（胸部X線検査）
胸部のX線（レントゲン）を撮る検査です。

（該当する番号を1つだけ○）

- | | |
|----------|---------|
| 1 受けた | ⇒ 問4-1へ |
| 2 受けていない | ⇒ 問4-2へ |

（問4で「1 受けた」とお答えの方に）

問4-1 あなたが肺がん検診を受けた理由は何ですか。（該当する番号をすべて○）

- | | |
|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 健康診断や検診の対象年齢だったから | 13 費用が無料だったから |
| 2 気になる症状があったから | 14 費用が安かったから |
| 3 健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていたから | 15 家族ががんにかかったから |
| 4 職場や市町村からお知らせ・案内が来たから | 16 友人ががんにかかったから |
| 5 家族に受診を勧められたから | 17 ニュースなどで有名人ががんにかかったことを知ったから |
| 6 友人に受診を勧められたから | 18 自分の健康管理のため |
| 7 検診を勧める情報を見聞きしたから | 19 過去に自分ががんにかかったことがあるから |
| 8 自宅や職場の近くで受診できたから | 20 その他 |
| 9 かかりつけ医で受診できたから | () |
| 10 医師の指示や勧めがあったから | そのうち最も大きな理由
(口の中に数字を記入) ⇒⇒⇒ |
| 11 勤務時間中に受けられたから | |
| 12 早朝・夜間や休日に受診できたから | |

（問4で「2 受けていない」とお答えの方に）

問4-2 あなたが肺がん検診を受けなかった理由は何ですか。（該当する番号をすべて○）

- | | |
|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 健康診断や検診の対象年齢ではないから | 13 うっかり受診するのを忘れてしまったから |
| 2 健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていなかったから | 14 忙しいため、がん検診を受ける時間がとれなかったから |
| 3 検査に痛みや苦しさがあると思うから | 15 自宅や職場のそばに受診できる場所がないから |
| 4 費用が高いから | 16 平日夜間や休日に受診できる医療機関が近くにないから |
| 5 がん検診に手間や時間を割きたくないから | 17 心配なときはいつでも医療機関を受診できるから |
| 6 がんの見落としなど、検診に不信感があるから | 18 健康に自信があるから |
| 7 がんが見つかることに不安や恐怖があるから | 19 面倒だったから |
| 8 がんが見つかることで今までの生活や環境が変わりそうだから | 20 恥ずかしいから |
| 9 職場や市町村からお知らせ・案内が来なかったから | 21 新型コロナの感染リスクが高まりそうだから |
| 10 どこでどのように受診すればよいか、わからなかったから | () |
| 11 どのような検査をされるのかわからないから | そのうち最も大きな理由
(口の中に数字を記入) ⇒⇒⇒ |
| 12 がん検診そのものを知らないから | |

(問5及び問6は女性の方にお伺いします。男性の方は問7へお進みください。)

問5 あなたは過去2年間に乳がん検診(マンモグラフィ検査)を受けましたか。

○乳がん検診(マンモグラフィ検査)
乳房を圧迫板で挟み、乳房専用のX線(レントゲン)装置で撮影する検査です。

(該当する番号を1つだけ○)

- | | |
|----------|---------|
| 1 受けた | ⇒ 問5-1へ |
| 2 受けていない | ⇒ 問5-2へ |

(問5で「1 受けた」とお答えの方に)

問5-1 あなたが乳がん検診を受けた理由は何ですか。(該当する番号をすべて○)

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------------|
| 1 健康診断や検診の対象年齢だったから | 13 費用が無料だったから |
| 2 気になる症状があったから | 14 費用が安かったから |
| 3 健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていたから | 15 家族ががんにかかったから |
| 4 職場や市町村からお知らせ・案内が来たから | 16 友人ががんにかかったから |
| 5 家族に受診を勧められたから | 17 ニュースなどで有名人ががんにかかったことを知ったから |
| 6 友人に受診を勧められたから | 18 自分の健康管理のため |
| 7 検診を勧める情報を見聞きしたから | 19 過去に自分ががんにかかったことがあるから |
| 8 自宅や職場の近くで受診できたから | 20 担当の医師や技師が同性だったから |
| 9 かかりつけ医で受診できたから | 21 その他 |
| 10 医師の指示や勧めがあったから | () |
| 11 勤務時間中に受けられたから | そのうち最も大きな理由 |
| 12 早朝・夜間や休日に受診できたから | (口の中に数字を記入) ⇒⇒⇒ <input type="text"/> |

(問5で「2 受けていない」とお答えの方に)

問5-2 あなたが乳がん検診を受けなかった理由は何ですか。(該当する番号をすべて○)

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------------|
| 1 健康診断や検診の対象年齢ではないから | 13 うっかり受診するのを忘れてしまったから |
| 2 健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていなかったから | 14 忙しいため、がん検診を受ける時間がとれなかったから |
| 3 検査に痛みや苦しさがあると思うから | 15 自宅や職場のそばに受診できる場所がないから |
| 4 費用が高いから | 16 平日夜間や休日に受診できる医療機関が近くにないから |
| 5 がん検診に手間や時間を割きたくないから | 17 心配なときはいつでも医療機関を受診できるから |
| 6 がんの見落としなど、検診に不信感があるから | 18 健康に自信があるから |
| 7 がんが見つかることに不安や恐怖があるから | 19 面倒だったから |
| 8 がんが見つかることで今までの生活や環境が変わりそうだから | 20 恥ずかしいから |
| 9 職場や市町村からお知らせ・案内が来なかったから | 21 担当の医師や技師が同性でなかった、またはその可能性があるから |
| 10 どこでどのように受診すればよいか、わからなかったから | 22 新型コロナウイルスの感染リスクが高まりそうだから |
| 11 どのような検査をされるのか知らないから | 23 その他 |
| 12 がん検診そのものを知らないから | () |
| | そのうち最も大きな理由 |
| | (口の中に数字を記入) ⇒⇒⇒ <input type="text"/> |

(問5と同様に女性の方にお伺いします。男性の方は問7へお進みください。)

問6 あなたは過去2年間に子宮頸がん検診(細胞診)を受けましたか。

○子宮頸がん検診(細胞診)
子宮頸部の細胞を採取する検査です。

(該当する番号を1つだけ○)

- | | |
|----------|---------|
| 1 受けた | ⇒ 問6-1へ |
| 2 受けていない | ⇒ 問6-2へ |

(問6で「1 受けた」とお答えの方に)

問6-1 あなたが子宮頸がん検診を受けた理由は何ですか。(該当する番号をすべて○)

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 1 健康診断や検診の対象年齢だったから | 13 費用が無料だったから |
| 2 気になる症状があったから | 14 費用が安かったから |
| 3 健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていたから | 15 家族ががんにかかったから |
| 4 職場や市町村からお知らせ・案内が来たから | 16 友人ががんにかかったから |
| 5 家族に受診を勧められたから | 17 ニュースなどで有名人ががんにかかったことを知ったから |
| 6 友人に受診を勧められたから | 18 自分の健康管理のため |
| 7 検診を勧める情報を見聞きしたから | 19 過去に自分ががんにかかったことがあるから |
| 8 自宅や職場の近くで受診できたから | 20 担当の医師や技師が同性だったから |
| 9 かかりつけ医で受診できたから | 21 その他 |
| 10 医師の指示や勧めがあったから | () |
| 11 勤務時間中に受けられたから | |
| 12 早朝・夜間や休日に受診できたから | |
- そのうち最も大きな理由
(口の中に数字を記入) ⇒⇒⇒

(問6で「2 受けていない」とお答えの方に)

問6-2 あなたが子宮頸がん検診を受けなかった理由は何ですか。(該当する番号をすべて○)

- | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|
| 1 健康診断や検診の対象年齢ではないから | 13 うっかり受診するのを忘れてしまったから |
| 2 健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていなかったから | 14 忙しいため、がん検診を受ける時間がとれなかったから |
| 3 検査に痛みや苦しさがあると思うから | 15 自宅や職場のそばに受診できる場所がないから |
| 4 費用が高いから | 16 平日夜間や休日に受診できる医療機関が近くにないから |
| 5 がん検診に手間や時間を割きたくないから | 17 心配なときはいつでも医療機関を受診できるから |
| 6 がんの見落としなど、検診に不信感があるから | 18 健康に自信があるから |
| 7 がんが見つかることに不安や恐怖があるから | 19 面倒だったから |
| 8 がんが見つかることでこれまでの生活や環境が変わりそうだから | 20 恥ずかしいから |
| 9 職場や市町村からお知らせ・案内が来なかったから | 21 担当の医師や技師が同性でなかった、またはその可能性があるから |
| 10 どこでどのように受診すればよいか、わからなかったから | 22 新型コロナウイルスの感染リスクが高まりそうだから |
| 11 どのような検査をされるのか知らないから | 23 その他 |
| 12 がん検診そのものを知らないから | () |
- そのうち最も大きな理由
(口の中に数字を記入) ⇒⇒⇒

(問7からは全員の方にお伺いします)

問7 今まで、がん検診をどのような機会に受けましたか。(受診回数の多い番号を1つだけ○)

1	職場におけるがん検診(定期健診・補助を受けての人間ドック等)
2	市町村が行うがん検診
3	全額自費で個人的に検診を受けた(人間ドック等)
4	その他()

問8 今まで、がん検診をどこで受けましたか。(受診回数の多い番号を1つだけ○)

1	病院・診療所・検診機関などの医療機関
2	市町村の施設(保健所・保健センター・役所等)
3	職場(職場内の検診会場)
4	その他()

問9 どのようなことがあれば、がん検診を受けたいと思いますか。(該当する番号をすべて○)

1	がん予防や気になる症状について、検診 受診時にアドバイス等が受けられる	10	無料で受診できる
2	休暇を取らずに勤務時間中に受診できる	11	安い費用で受診できる
3	自宅の近くで受診できる	12	短い時間で受診できる
4	職場もしくは職場の近くで受診できる	13	同性の医師や技師を希望できる
5	自宅や職場のある市町村以外の自治体で 受診できる	14	予約不要で受診できる
6	早朝・夜間や休日に受けられる	15	検診受診中に託児サービスを利用できる
7	電話・インターネット・はがき等で簡単 にがん検診の予約ができる	16	検査に伴う苦痛がない
8	かかりつけ医で受診できる	17	どんな条件でもがん検診を受診しようと 思わない
9	各がん検診を一度に受診できる	18	その他 ()

そのうち最も大きな理由
(口の中に数字を記入) ⇒⇒⇒

＜がん検診の受診を勧める情報についてお伺いします＞

問10 がん検診の受診を勧める情報が様々な方法で発信されていますが、あなたは、これまでにこのような情報を見聞きしたことがありますか。（該当する番号を1つだけ○）

1 ある	2 ない	⇒ 問 11 へ
------	------	----------

▶(問10 で、「1 ある」とお答えの方は、問 10 - 1 から問 10 - 2 にお答えください)

問10-1 がん検診の受診を勧める情報をどこで見聞きしましたか。
(該当する番号をすべて○)

1 テレビ	9 医療機関
2 ラジオ	10 薬局
3 県の広報（広報紙、県のホームページ）	11 公共施設（役所、保健所、公民館等） に設置したポスター、チラシ等
4 市町の広報（広報紙、市町のホームページ）	
5 インターネット（県・市町のホームページ以外）	12 まちなか、商業施設に設置したポスター
6 職場の広報や連絡等（広報紙、電子メール）	13 新聞
7 市町村から自宅（本人、家族）に郵送された検診案内	14 その他
8 職場で本人あてに配付された検診案内	

問10-2 がん検診の受診を勧める情報を見聞きして、実際に受診しようと思いましたが、または受診しましたか。（該当する番号を1つだけ○）

1 情報を見聞きする前から受診していた
2 情報を見聞きして受診しようと思い、実際に受診した
3 情報を見聞きして受診しようと思ったが、実際には受診しなかった
4 受診しようとは思わなかった

問11 県のがん対策の取組を知っていますか。（該当する番号をすべて○）

1 平日夜間や休日でのがん検診の実施
2 誘ってがん検診キャンペーン
3 がん患者に向けたウィッグなどの助成（アピアランスケア）
4 がん患者のための生殖機能（妊よう性）温存のための治療費への助成

問12 国が以下のようながん検診を推奨していることを知っていますか。

（該当する番号をすべて○）

1 知っている	2 知らなかった
---------	----------

＜国が推奨するがん検診＞

国は、がんにより亡くなる方を減らすために、科学的根拠に基づき、以下の5つのがんに関する検診を決められた方法、間隔で受診することを推奨しています。

がん検診の種類	検診方法 (問診とあわせて実施)	検診対象者	検診間隔
胃がん検診	胃部X線検査 または 胃内視鏡検査	50歳以上 ※当分の間、胃部X線検査については40歳代に対し実施可	2年に1回 ※当分の間、胃部X線検査については年1回実施可
大腸がん検診	便潜血検査	40歳以上	年1回
肺がん検診	胸部X線検査 喀痰細胞診 (喀痰細胞診は、50歳以上の喫煙指数(1日に吸うたばこの本数×喫煙している年数) 600以上の者)		
乳がん検診	マンモグラフィ	40歳以上の女性	2年に1回
子宮頸がん検診	子宮頸部の細胞診、視診、内診	20歳以上の女性	

<仕事と治療の両立についてお伺いします>

問13 あなたの職場は、がんの治療や検査をしながら働き続けられる環境だと思いますか。
(該当する番号を1つだけ○)

1 そう思う	3 どちらかといえばそう思わない
2 どちらかといえばそう思う	4 そう思わない

→(問13 で、「3 どちらかといえばそう思わない」「4 そう思わない」と お答えの方に)

問13-1 がんの治療や検査をしながら働き続けることを難しくさせている最も大きな理由は何だと思いますか。(該当する番号を1つだけ○)

1 代わりに仕事をする人がいない、または、いても頼みにくいから
2 職場が休むことを許してくれるかどうかわからないから
3 がんの治療・検査と仕事の両立が体力的に困難だから
4 休むと収入が減ってしまうから
5 がんの治療・検査と仕事の両立が精神的に困難だから
6 休むと職場での評価が下がるから
7 その他 ()

(すべての方に)

問14 働く意欲のあるがん患者が働き続けるようにするためには、どのような取組が必要だと思いますか。(該当する番号をすべて○)

1 病気の治療や通院のために短時間勤務が活用できること
2 1時間単位の休暇や長期の休暇が取れるなど柔軟な休暇制度
3 在宅勤務を取り入れること
4 がん患者と産業医と主治医の連携
5 企業向けセミナーなど、職場の理解を深めるための広報啓発
6 主治医が就労環境への配慮を求める意見書を提出すること
7 その他 ()

<あなた自身に関することについてお伺いします>

問15 性別（該当する番号を1つだけ○）

1 男性	2 女性
------	------

問16 年齢（数字をご記入ください）

_____ 歳（令和4年4月1日現在）

問17 お住まいの市町

_____ 市・町

問18 あなたは今の健康状態をどのように感じていますか。（該当する番号を1つだけ ○）

1 健康である	4 健康でない
2 どちらかといえば健康である	5 わからない
3 どちらかといえば健康でない	

問19 あなたの周りで、がんにかかった方はいらっしゃいますか。（該当する番号をすべて○）

1 あなた	5 子	9 友人
2 配偶者	6 孫	10 知人
3 父母	7 兄弟姉妹	11 同僚
4 祖父母	8 他の親族	12 いない、わからない

問20 仕事の業種（該当する番号を1つだけ○）

1 農業、林業	10 金融・保険業
2 漁業	11 不動産業、物品賃貸業
3 鉱業、採石業、砂利採取業	12 学術研究、専門・技術サービス業
4 建設業	13 宿泊業、飲食サービス業
5 製造業	14 生活関連サービス業、娯楽
6 電気・ガス・熱供給・水道業	15 教育、学習支援
7 情報通信業	16 医療、福祉
8 運輸業、郵便業	17 複合サービス業
9 卸売業、小売業	18 サービス業（他に分類されないもの）

問21 仕事の雇用形態（該当する番号を1つだけ ○）

1 期間を定めずに雇用されている
2 1か月以上の期間を定めて雇用されている
3 1か月未満の期間を定めて雇用されている

問22 あなたは現在、誰と同居していますか。（該当する番号をすべて ○）

1 配偶者	4 子	7 他の親族
2 父母	5 孫	8 その他（ _____ ）
3 祖父母	6 兄弟姉妹	9 同居していない

（問22で「1 配偶者」～「8 その他」とお答えの方にお伺いします。）

問23 あなたの同居人は、がん検診を受診していますか。（該当する番号を1つだけ ○）

1 受診している
2 受診していない
3 わからない

質問は以上です。御協力いただき、ありがとうございました。

令和4年度 事業所におけるがん検診等実態調査 報告書

令和4年11月

発行 山口県 健康福祉部 医療政策課
住所 〒753-8501
山口市滝町1番1号
電話 083-933-2961

調査実施機関 株式会社東京商工リサーチ